えびの市埋蔵文化財調査報告書　第32集

長江浦地区遺跡群

霧島演習場周辺農業用施設設置助成事業長江浦地区圃場整備事業に伴う発掘調査報告書

本　文　編

内丸遺跡
弁財天遺跡
馬場田遺跡
水流遺跡
役所田遺跡
小路下遺跡
浜川原遺跡

２００２

宮崎県えびの市教育委員会

えびの市埋蔵文化財調査報告書　第32集

長江浦地区遺跡群

霧島演習場周辺農業用施設設置助成事業長江浦地区圃場整備事業に伴う発掘調査報告書

本　文　編

内丸遺跡（うちまる）
弁財天遺跡（べんざいてん）
馬場田遺跡（ばばだ）
水流遺跡（つる）
役所田遺跡（やくしょでん）
小路下遺跡（おろのした）
浜川原遺跡（はまかわばる）

２００２

宮崎県えびの市教育委員会

序

えびの市は、宮崎県の南西場に位置し、北の九州山地と南の霧島山系に囲まれた狭長な盆地であります。県内で唯一西へ流れる川内川は盆地中央を蛇行し、大小20あまりの小河川が合流しています。河岸段丘は発達し、段丘面の殆どは周知の遺跡であり、当地が日向・肥後・薩摩の分岐点にあたることから、古くから様々な文化、文物が混交した独特の地域として発展してきました。

標高1700mを測る韓国岳を主峰とする霧島山系は大量の雨水をもたらし、市内各所にある豊富な湧水や小河川は、幾多の生命を育んできました。また、寒暖の差が大きいために農産物は良質で、特に米は、古くから真幸米として名を馳せていました。

平成元年度、防衛庁補助による長江浦地区の圃場整備事業が採択されましたが内丸遺跡が周知の遺跡として工区内に存在していました。工事に先行して県文化課が試掘調査を実施したところ、新たに６ヶ所の遺跡も発見し、記録保存の措置をとりました。

本書は、平成２年度に調査した内丸・馬場田（１次）・弁財天遺跡、平成３年度に調査した馬場田（２次）・水流遺跡、平成４年度に調査した役所田・小路下遺跡、さらには平成11年度に調査した浜川原遺跡、計７遺跡の発掘調査報告書であります。

長江川と弁財天・浜川原の湧水を根幹とし、氾濫原を開拓してきた人々や、それ以前の縄文時代後晩期の膨大な遺物を残した人々の歴史が明らかになりました。

本書が学術資料としてだけでなく、生涯教育や学校教育の場で活用され、埋蔵文化財の保護に対する理解と認識が深まれば幸いです。

なお、調査にあたりご指導・ご協力いただいた諸先生方や県文化課諸氏、調査に対してご理解ご協力いただいた西諸県農林振興局・県土地改良・工事関係者ならびに地権者・耕作者の諸氏、発掘作業・整理作業に従事していただいた作業員の方々に対しまして厚く御礼申し上げます。

平成１４年３月

えびの市教育委員会
教育長　松　田　忠　信

例　　言

1．本書は、平成２～４年度および11年度に実施した、霧島演習場周辺農業用施設設置助成事業長江浦地区圃場整備事業に伴う内丸遺跡・弁財天遺跡・馬場田遺跡・水流遺跡・役所田遺跡・小路下遺跡・浜川原遺跡の発掘調査報告書である。

2．調査はえびの市教育委員会が主体となり、内丸遺跡は平成２年９月17日から11月６日までと、平成３年１月７日から２月１日まで、弁財天遺跡は平成２年11月１日から平成３年１月23日まで、馬場田遺跡は同年２月１日から３月27日までと、10月14日から12月20日まで、水流遺跡は12月９日から平成４年１月28日まで、役所田遺跡は平成４年10月２５日から11月16日まで、小路下遺跡は同年11月９日から平成５年１月30日まで、浜川原遺跡は平成11年６月25日から11月27日まで実施した。

3．本報告作成のための整理作業は、平成12・13年度に実施した。

4．馬場田遺跡の調査の一部は、県文化課の東・飯田両氏に御協力いただき、水流遺跡については、対象地全域を飯田氏に調査していただいた。

5．本書掲載の遺構は、ＳＡ：竪穴住居・竪穴状遺構、ＳＢ：堀立柱建物跡、ＳＫ：土坑・土壙墓、ＳＤ：溝状遺構、ＳＸ：自然流路、ＳＺ：用途不明、として略している。

6．挿図記載の方位は、国土座標軸の北方位である。

7．浜川原遺跡は、（株）スカイサーベイに航空測量を委託し、遺構の全体図を作成した。

8．遺構の写真記録は担当調査員が、出土遺物の写真撮影は中野がおこなった。

9．本書の第９章の執筆は本市教育委員会の東が、その他の執筆と編集は中野がおこなった。

10．調査の関連資料および出土遺物は、えびの市歴史民俗資料館に保管、一部展示している。

調　査　組　織

特別調査員

上　村　俊　雄　　鹿児島大学教授（現在鹿児島国際大学教授）（平成２年度）
西　　健一郎　　九州大学文学部助手　　（平成２年度）
大　橋　康　二　　佐賀県立九州陶磁文化館係長（現在、副館長）（平成２年度）
宍　戸　　章　　宍戸地質調査研究所長（平成４年度・石材鑑定）

調査協力　宮崎県教育庁文化課

面　高　哲　郎
東　　憲　章　　平成３年２月に調査担当
飯　田　博　之　　平成３年11月～平成４年１月に調査担当

調査主体　えびの市教育委員会

教　育　長　　平　田　敏　正（平成２～４年度）
　　平　田　郁　郎（平成11年度）
　　松　田　忠　信（平成12年度～）
社会教育課長　　上別府　文　夫（平成２～３年度）
　　外　園　秀　雄（平成４年度）
　　馬越脇　泰　二（平成11年度～）
課長補佐　　野　間　寛　俊（平成２・４年度）
　　松　永　　章　（平成３年度）
　　赤　崎　正　史（平成11年度）
文化係長　　上加世田たず子（平成12年度～）
技師　　中　野　和　浩
同　　東　　真　一（浜川原遺跡担当）

平成２年度

発掘作業員　　網屋カチ、池上ミヨ子、市原千恵子、内村キミ、大内田春江、小菜キクエ、小菜ノブ、大溝光志、樗木トミ子、加治佐良子、上水流百合子、川口虎彦、楠元ミチエ、楠元ヨシ子、黒江弘子、白坂けい子、新原芳子、新屋敷節子、千田かず子、竹中トシ子、田中のり子、谷口薫、田中マサエ、谷口伸子、出水幸子、出水一美、永田テル子、西脇ミキ、萩原ケイ子、萩原モリエ、原口キミ子、東蕨勲、福岡好子、福満悦子、前田フサ子、前原美智子、宮前ハツミ、山下フミ、山本トミ、横山和子

遺構実測　　大内田、加治佐、黒江、白坂、新屋敷、田中のり子、出水一美、福満

実測補助　西脇、萩原ケイ子

整理作業員　川上茂子、谷口伸子、鶴田美恵子、長野真弓

平成3年度

発掘作業員　有馬一馬、稲次ミコ、内村キミ、榎園スミ子、大内田春江、奥松政子、小菜キクエ、小菜ノブ、樗木トミ子、川上茂子、川口虎彦、楠元ミチエ、栗下ミチコ、白坂けい子、千田かず子、竹内睦子、竹中トシ子、田中のり子、鶴田美恵子、樋嘉ヨネ、出水幸子、出水一美、寺田春日、永田テル子、萩原ケイ子、原口キミ子、東蕨ヨシ子、福満悦子、藤本ノリ、外屋ミチ子、前田フサ子、松岡ミキ、山下フミ

遺構実測　大内田、川上、竹内、田中、鶴田、出水一美、福満

実測補助　白坂、萩原、原口

整理作業員　加藤佳代子、川上、神田真知子、木野涼子、竹下美千代、鶴田、鳥集美代子、長野、仲西真奈美、平江イツ子、福満、村岡道子

平成4年度

発掘作業員　荒川キリ、石川イク、稲次ミコ、内村キミ、内村シズコ、内村ヨリ子、内村タミ、榎園スミ子、大内田春江、奥松政子、小菜キクエ、小菜ノブ、樗木トミ子、尾野上ハルミ、上水流百合子、上谷川貴美子、木脇ヒサエ、栗下美智子、里岡カズ子、千田カズ子、新屋敷節子、竹上ミエ子、田中のり子、田中マサエ、谷口薫、谷口佐知子、谷口光子、鶴田美恵子、樋嘉イリ子、樋嘉ヨネ、出水幸子、出水一美、徳重ムツ子、鳥集美代子、永田テル子、西鶴ヨシ子、萩原ケイ子、原口キミ子、東蕨ヨシ子、廣津レイ子、福満悦子、宝代トミ子、前田フサ子、松岡ミキ、的場マツエ、宮路ミホ、山内ユキエ、山下ユキ子、横山茂夫

遺構実測　大内田、新屋敷、田中のり子、鶴田、出水、福満

実測補助　上谷川、萩原、原口

整理作業員　大内田、加藤佳代子、川上茂子、黒肱真由美、黒肱令子、新屋敷、田中のり子、谷口佐知子、谷元幸子、鶴田、出水、長野真弓、山下貞子

平成11年度

発掘作業員　有村奈々子、有留カズ子、今村ヒトエ、入木シマ、梅木イツ、大木場登美子、小野まり子、小畑則子、小畑フジ子、上水流百合子、川上シズ、木原典子、小屋敷直子、菖蒲久子、新久保トミ子、新原敏子、新屋敷節子、末田ハツミ、杉元富子、杉元八重子、園田菊野、鶴田ヨシエ、出水一美、堂園イソ、中川ハルエ、中尾タミ、中尾ミエ、永田テル子、永田美智子、西脇ミキ、野田キミエ、浜川マサ子、原口キ

ミ子、春口ミス、平野アツ子、樋渡文絵、福永静枝、福満サヨ、宝代トミ子、外屋ミチ子、星指利江子、堀迫サミ、堀迫ツヤ子、松岡ヨシ子、松下ヤエ子、三角園友市、蓑輪和子、宮田ハツ子、山内サチ、山口ミツ、山崎フジ子、山里マスコ、山下秋子、山下一男、山宮ミエ、山本ユキエ、吉村サダコ、吉村ハヤ、米倉トシ子

遺構実測　小屋敷、新屋敷、出水、樋渡、蓑輪

実測補助　木原、永田美智子、西脇、原口、星指

整理作業員　大田由美子、川上茂子、新浜脇征子、西郷ゆかり、玉利節子、長野真弓、丸尾さおり、吉次ムツ子、米倉千春

平成12年度

整理作業員　入木和代、大田由美子、川上茂子、坂元星奈、新浜脇征子、玉利節子、徳澄みどり、長野真弓、福元ゆかり、丸尾さおり、茂田かおる、本坊美佐子、米倉千春

平成13年度

整理作業員　入木和代、大田由美子、川上茂子、坂元星奈、新浜脇征子、徳澄みどり、丸尾さおり、茂田かおる

本　文　目　次

第１章　はじめに……1
第２章　遺跡の位置と歴史的環境……1
第３章　内丸遺跡
　第１節　はじめに……7
　第２節　基本的層序……7
　第３節　古代～近世の調査……9
　第４節　古墳時代……10
　第５節　縄文時代……24
　第６節　まとめ……49
第４章　弁財天遺跡
　第１節　はじめに……51
　第２節　基本的層序……51
　第３節　古代～中世の調査……52
　第４節　近世……94
　第５節　出土遺物……94
　第６節　まとめ……110
第５章　馬場田遺跡
　第１節　はじめに……111
　第２節　基本的層序……111
　第３節　古代～近世の調査……112
　第４節　古墳時代……122
　第５節　縄文時代……133
　第６節　まとめ……234
第６章　水流遺跡
　第１節　はじめに……235
　第２節　基本的層序……235
　第３節　縄文～弥生時代の調査……236
　第４節　古代～中世……236
　第５節　近世以降……238
　第６節　まとめ……238
第７章　役所田遺跡
　第１節　はじめに……245

第２節　基本的層序……246
第３節　弥生時代以降の調査……246
第４節　縄文時代……251
第５節　まとめ……465
第８章　小路下遺跡
第１節　はじめに……467
第２節　基本的層序……467
第３節　Ⅲ区の調査……471
第４節　Ⅳ区……478
第５節　Ⅴ区……498
第６節　Ⅵ区……504
第７節　Ⅶ区……511
第８節　Ⅷ区……518
第９節　Ⅸ区……520
第10節　Ⅹ区……534
第11節　Ⅺ区……542
第12節　まとめ……562
第９章　浜川原遺跡
第１節　はじめに……563
第２節　基本的層序……564
第３節　古代以降の調査……564
第４節　古墳時代……570
第５節　弥生時代……600
第６節　縄文時代……600
第７節　まとめ……622
第10章　総括……623

挿　図　目　次

第１図　遺跡の位置と周辺の遺跡位置図……２
第２図　長江浦地区遺跡群位置図……３
第３図　遺跡の位置と周辺の地形……４
第４図　村境坑実測図……５

内丸遺跡

第１図　内丸遺跡　地区割図……7
第２図　古代～近世遺構分布図……8
第３図　Ⅱ区中央南側セクション西壁層序…9
第４図　ＳＢ-01遺構実測図……9
第５図　ＳＤ-01～10断面層序図……10
第６図　縄文～古墳時代　遺構分布図……11
第７図　ＳＡ-01 遺構実測図……12
第８図　ＳＡ-02 遺構実測図……13
第９図　ＳＡ-01 出土遺物実測図（１）……14
第10図　ＳＡ-01 出土遺物実測図（２）、
　　ＳＡ-02 出土遺物実測図（１）……15
第11図　ＳＡ-02 出土遺物実測図（２）……16
第12図　ＳＡ-02 出土遺物実測図（３）……17
第13図　ＳＡ-02 出土遺物実測図（４）……18
第14図　ＳＡ-03 遺構実測図……19
第15図　ＳＡ-03 出土遺物実測図（１）……20
第16図　ＳＡ-03 出土遺物実測図（２）……21
第17図　ＳＡ-03 出土遺物実測図（３）……22
第18図　ＳＫ-01 遺構実測図……22
第19図　ＳＫ-01 出土遺物実測図……23
第20図　調査区出土遺物実測図……24
第21図　ＳＫ-12・26・31 遺構実測図……26
第22図　ＳＫ-13・17・25・31・58遺構
　　実測図……27
第23図　ＳＫ-40・41 遺構実測図……28
第24図　ＳＫ出土縄文土器実測図（１）……29
第25図　ＳＫ出土縄文土器実測図（２）……30
第26図　ＳＫ出土縄文土器実測図（３）……31
第27図　調査区出土縄文土器実測図（１）……32
第28図　調査区出土縄文土器実測図（２）……33
第29図　調査区出土縄文土器実測図（３）……34
第30図　調査区出土縄文土器実測図（４）……35
第31図　調査区出土縄文土器実測図（５）……36
第32図　調査区出土石器実測図（１）……37
第33図　調査区出土石器実測図（２）……38
第34図　調査区出土石器実測図（３）……39
第40図　調査区出土石器実測図（４）……40

弁財天遺跡

第１図　弁財天遺跡　地区割図……51
第２図　遺構全体図……53・54
第３図　Ⅰ・Ⅲ区遺構分布図……55・56
第４図　ＳＸ-01 層序・断面図……57・58
第５図　Ⅰ区西中央部逆茂木遺構実測図……59
第６図　Ⅰ区南西隅逆茂木遺構実測図……60
第７図　Ⅱ区遺構分布図……61
第８図　ＳＤ-02 断面層序図……61
第９図　ＳＢ-01～04 遺構実測図……62
第10図　ＳＢ-05～08 遺構実測図……63
第11図　ＳＢ-09・10 遺構実測図……64
第12図　ＳＢ-11～13 遺構実測図……65
第13図　ＳＢ-14・15 遺構実測図……66
第14図　ＳＢ-16・17 遺構実測図……67
第15図　ＳＢ-18～20 遺構実測図……68
第16図　ＳＢ-21・22 遺構実測図……69
第17図　ＳＢ-23～25 遺構実測図……70
第18図　ＳＢ-26～30 分布状態……71
第19図　ＳＢ-26～30 遺構実測図……72
第20図　ＳＫ-05 遺構実測図……73
第21図　ＳＫ-02・03 遺構実測図……74
第22図　ＳＫ-04・25 遺構実測図……75
第23図　ＳＫ-01 遺構実測図……76
第24図　ＳＫ-06 遺構実測図……76

第25図　ＳＫ-07 遺構実測図……77
第26図　ＳＸ-01 出土遺物実測図（１）……78
第27図　ＳＸ-01 出土遺物実測図（２）……79
第28図　ＳＸ-01 出土遺物実測図（３）……80
第29図　ＳＸ-01 出土遺物実測図（４）……81
第30図　ＳＸ-01 出土遺物実測図（５）……82
第31図　ＳＸ-01 出土遺物実測図（６）……83
第32図　ＳＸ-01 出土遺物実測図（７）……84
第33図　ＳＸ-01 出土遺物実測図（８）……85
第34図　Ⅰ区Ⅱ～Ⅳａ層出土遺物実測図……86
第35図　Ⅰ区遺構内出土遺物実測図……87
第36図　ＳＸ-01 中央南側突出部出土遺物実測図……87
第37図　Ⅰ区遺構・Ⅱ～Ⅲ層出土輸入陶磁器実測図……88
第38図　Ⅱ区遺構内出土遺物実測図……89
第39図　Ⅱ区出土中世国産陶器・布目瓦実測図……90
第40図　ＳＫ-06 出土遺物実測図……91
第41図　Ⅱ区出土輸入陶磁器・近世国産陶磁器実測図……91
第42図　Ⅲ区遺構内出土遺物実測図（１）……92
第43図　Ⅲ区遺構内出土遺物実測図（２）……93
第44図　ＳＫ-05 出土遺物実測図……93
第45図　Ⅲ区出土輸入陶磁器実測図……94
第46図　ＳＫ-01 ほか出土銭貨・銅製品実測図……95
第47図　Ⅰ区出土石器・石製品実測図（１）……96
第48図　Ⅰ区出土石器・石製品実測図（２）……97
第49図　Ⅲ区出土石器・石製品実測図……98

馬場田遺跡

第１図　馬場田遺跡　地区割図……111
第２図　遺構分布図……113・114
第３図　Ⅰ区南壁層序実測図……115
第４図　Ⅰ区北壁、ＳＡ-01－ＳＤ-02断面層序、ＳＫ-01 遺構実測図……116
第５図　ＳＤ-05 断面層序図……117
第６図　ＳＡ-05 遺構実測図……117
第７図　ＳＢ-01 遺構実測図……118
第８図　ＳＢ-02～04 遺構実測図……119
第９図　ＳＡ-01 遺構実測図……120
第10図　ＳＡ-02 遺構実測図……121
第11図　ＳＡ-03 遺構実測図……122
第12図　ＳＡ-04 遺構実測図……123
第13図　ＳＡ-06 遺構実測図……124
第14図　ＳＡ-07 遺構実測図……125
第15図　ＳＡ-08 遺構実測図……126
第16図　ＳＡ-09 遺構実測図……126
第17図　ＳＡ-10～13 遺構実測図……127
第18図　ＳＡ-14 遺構実測図……128
第19図　ＳＡ-15 遺構実測図……129
第20図　ＳＡ-16・17 遺構実測図……130
第21図　ＳＡ-18 遺構実測図……130
第22図　ＳＡ-19 遺構実測図……131
第23図　ＳＡ-21・22 遺構実測図……132
第24図　ＳＡ-22 遺構実測図……133
第25図　ＳＫ-04・09 遺構実測図……133
第26図　ＳＫ-03 遺構実測図……134
第27図　調査区出土縄文土器実測図（１）……136
第28図　調査区出土縄文土器実測図（２）……137
第29図　調査区出土縄文土器実測図（３）……138
第30図　調査区出土縄文土器実測図（４）……139
第31図　調査区出土縄文土器実測図（５）……140

第32図　調査区出土縄文土器実測図（６）‥‥141
第33図　調査区出土縄文土器実測図（７）‥‥142
第34図　調査区出土縄文土器実測図（８）‥‥143
第35図　調査区出土縄文土器実測図（９）‥‥144
第36図　調査区出土縄文土器実測図(10)‥‥145
第37図　調査区出土縄文土器実測図(11)‥‥146
第38図　調査区出土縄文土器実測図(12)‥‥147
第39図　調査区出土縄文土器実測図(13)‥‥148
第40図　調査区出土縄文土器実測図(14)‥‥149
第41図　調査区出土縄文土器実測図(15)‥‥150
第42図　調査区出土縄文土器実測図(16)‥‥151
第43図　調査区出土縄文土器実測図(17)‥‥152
第44図　調査区出土縄文土器実測図(18)‥‥153
第45図　調査区出土縄文土器実測図(19)‥‥154
第46図　調査区出土縄文土器実測図(20)‥‥155
第47図　調査区出土縄文土器実測図(21)‥‥156
第48図　調査区出土縄文土器実測図(22)‥‥157
第49図　調査区出土縄文土器実測図(23)‥‥158
第50図　調査区出土縄文土器実測図(24)‥‥159
第51図　調査区出土縄文土器実測図(25)‥‥160
第52図　調査区出土縄文土器実測図(26)‥‥161
第53図　調査区出土縄文土器実測図(27)‥‥162
第54図　調査区出土縄文土器実測図(28)‥‥163
第55図　調査区出土縄文土器実測図(29)‥‥164
第56図　調査区出土縄文土器実測図(30)‥‥165
第57図　ＳＡ-01 出土遺物実測図、ＳＡ-02出土遺物実測図（１）‥‥‥‥‥‥‥‥166
第58図　ＳＡ-02 出土遺物実測図（２）、ＳＡ-03 出土遺物実測図（１）‥‥‥‥‥167
第59図　ＳＡ-03 出土遺物実測図（２）、ＳＡ-04 出土遺物実測図、ＳＡ-06 出土遺物実測図（１）‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥168
第60図　ＳＡ-06 出土遺物実測図（２）‥‥‥169
第61図　ＳＡ-06 出土遺物実測図（３）、ＳＡ-07 出土遺物実測図（１）‥‥‥‥‥170
第62図　ＳＡ-07 出土遺物実測図（２）‥‥‥171
第63図　ＳＡ-07 出土遺物実測図（３）‥‥‥172
第64図　ＳＡ-07 出土遺物実測図（４）、ＳＡ-07か12 出土遺物・ＳＡ-08・09・11出土遺物実測図（１）‥‥‥‥‥‥173
第65図　ＳＡ-11 出土遺物実測図（２）、ＳＡ-11か13 出土遺物実測図（１）‥‥174
第66図　ＳＡ-11か13 出土遺物実測図（２）、ＳＡ-12・13・15 出土遺物実測図‥‥175
第67図　ＳＡ-15 出土遺物実測図（２）、ＳＡ-19・20・22・23・05出土遺物実測図‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥176
第68図　ＳＤ-02・03・04出土遺物実測図、ＳＤ-05 出土遺物実測図（１）‥‥‥‥‥177
第69図　ＳＤ-05 出土遺物実測図（２）、ＳＫ・ＰＰ出土土師器・ＳＡ出土土器片加工円盤実測図‥‥‥‥‥‥‥‥‥178
第70図　Ⅲ層ほか出土弥生土器・土師器実測図（１）‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥179
第71図　Ⅲ層ほか出土土師器実測図（２）‥‥180
第72図　Ⅲ層ほか出土土師器実測図（３）‥‥181
第73図　Ⅲ層ほか出土土師器実測図（４）‥‥182
第74図　Ⅲ層ほか出土土師器実測図（５）‥‥183
第75図　Ⅲ層ほか出土土師器実測図（６）‥‥184
第76図　Ⅲ層ほか出土土師器実測図（７）‥‥185
第77図　Ⅲ層ほか出土土師器・土師質土器・黒色土器実測図‥‥‥‥‥‥‥‥‥186
第78図　Ⅲ層ほか出土土師質土器・中世国産陶器・布目瓦・布痕土器・土器片錘・土器片加工円盤実測図（１）‥187
第79図　Ⅲ層ほか出土土器片加工円盤（２）、土錘実測図‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥188
第80図　調査区出土須恵器・東播系須恵器

実測図……189
第81図　調査区出土輸入陶磁器実測図（１）・190
第82図　調査区出土輸入陶磁器実測図（２）、
近世国産陶磁器実測図……191
第83図　調査区出土打製石鏃・石錐・石匙・
石斧片加工品実測図……192
第84図　調査区出土スクレイパー・切目石
錘・打欠石錘実測図（１）……193
第85図　調査区出土打欠石錘実測図（２）……194
第86図　調査区出土石斧実測図……195
第87図　調査区出土円形打製石器・敲き石
すり石実測図（１）……196
第88図　調査区出土すり石実測図（２）……197
第89図　調査区出土すり石実測図（３）……198
第90図　調査区出土すり石（４）・敲き石
スクレイパー・砥石実測図（１）……199
第91図　調査区出土砥石（２）・石鍋・
温石・台石実測図（１）……200
第92図　調査区出土台石・石皿実測図
（２）……201
第93図　調査区出土台石・石皿実測図
（３）……202

水流遺跡

第１図　水流遺跡　地区割図……235
第２図　Ⅳ区遺構分布図……236
第３図　Ⅳ・Ⅴ区断面層序……237
第４図　Ⅳ区ＳＫ-01 遺構実測図……238
第５図　Ⅴ区全体図……238
第６図　調査区出土遺物実測図（１）……239
第７図　調査区出土遺物実測図（２）……240
第８図　山の神祭祀具実測図……241

役所田遺跡

第１図　役所田遺跡　地区割図……245
第２図　Ⅰ区遺構分布図……247・248
第３図　Ⅰ区断面層序図……249・250
第４図　ＰＰ-01・ＳＫ-01 遺構実測図……251
第５図　ＳＡ-01・03 遺構実測図……252
第６図　ＳＫ-11・ＳＺ-01 遺構実測図……253
第７図　ＳＫ-02・05・06・12・13・15
遺構実測図……255
第８図　ＳＫ-14・17・18・19・21 遺構
実測図……256
第９図　ＳＫ-16・24 遺構実測図……257
第10図　ＳＫ-22・23 遺構実測図……258
第11図　出土遺物実測図　縄文土器（１）……261
第12図　出土遺物実測図　縄文土器（２）……262
第13図　出土遺物実測図　縄文土器（３）……263
第14図　出土遺物実測図　縄文土器（４）……264
第15図　出土遺物実測図　縄文土器（５）……265
第16図　出土遺物実測図　縄文土器（６）……266
第17図　出土遺物実測図　縄文土器（７）……267
第18図　出土遺物実測図　縄文土器（８）……268
第19図　出土遺物実測図　縄文土器（９）……269
第20図　出土遺物実測図　縄文土器(10)……270
第21図　出土遺物実測図　縄文土器(11)……271
第22図　出土遺物実測図　縄文土器(12)……272
第23図　出土遺物実測図　縄文土器(13)……273
第24図　出土遺物実測図　縄文土器(14)……274
第25図　出土遺物実測図　縄文土器(15)……275
第26図　出土遺物実測図　縄文土器(16)……276
第27図　出土遺物実測図　縄文土器(17)……277
第28図　出土遺物実測図　縄文土器(18)……278

第29図　出土遺物実測図　縄文土器(19)‥‥279
第30図　出土遺物実測図　縄文土器(20)‥‥280
第31図　出土遺物実測図　縄文土器(21)‥‥281
第32図　出土遺物実測図　縄文土器(22)‥‥282
第33図　出土遺物実測図　縄文土器(23)‥‥283
第34図　出土遺物実測図　縄文土器(24)‥‥284
第35図　出土遺物実測図　縄文土器(25)‥‥285
第36図　出土遺物実測図　縄文土器(26)‥‥286
第37図　出土遺物実測図　縄文土器(27)‥‥287
第38図　出土遺物実測図　縄文土器(28)‥‥288
第39図　出土遺物実測図　縄文土器(29)‥‥289
第40図　出土遺物実測図　縄文土器(30)‥‥290
第41図　出土遺物実測図　縄文土器(31)‥‥291
第42図　出土遺物実測図　縄文土器(32)‥‥292
第43図　出土遺物実測図　縄文土器(33)‥‥293
第44図　出土遺物実測図　縄文土器(34)‥‥294
第45図　出土遺物実測図　縄文土器(35)‥‥295
第46図　出土遺物実測図　縄文土器(36)‥‥296
第47図　出土遺物実測図　縄文土器(37)‥‥297
第48図　出土遺物実測図　縄文土器(38)‥‥298
第49図　出土遺物実測図　縄文土器(39)‥‥299
第50図　出土遺物実測図　縄文土器(40)‥‥300
第51図　出土遺物実測図　縄文土器(41)‥‥301
第52図　出土遺物実測図　縄文土器(42)‥‥302
第53図　出土遺物実測図　縄文土器(43)‥‥303
第54図　出土遺物実測図　縄文土器(44)‥‥304
第55図　出土遺物実測図　縄文土器(45)‥‥305
第56図　出土遺物実測図　縄文土器(46)‥‥306
第57図　出土遺物実測図　縄文土器(47)‥‥307
第58図　出土遺物実測図　縄文土器(48)‥‥308
第59図　出土遺物実測図　縄文土器(49)‥‥309
第60図　出土遺物実測図　縄文土器(50)‥‥310
第61図　出土遺物実測図　縄文土器(51)‥‥311
第62図　出土遺物実測図　縄文土器(52)‥‥312
第63図　出土遺物実測図　縄文土器(53)‥‥313
第64図　出土遺物実測図　縄文土器(54)‥‥314
第65図　出土遺物実測図　縄文土器(55)‥‥315
第66図　出土遺物実測図　縄文土器(56)‥‥316
第67図　出土遺物実測図　縄文土器(57)‥‥317
第68図　出土遺物実測図　縄文土器(58)‥‥318
第69図　出土遺物実測図　縄文土器(59)‥‥319
第70図　出土遺物実測図　縄文土器(60)‥‥320
第71図　出土遺物実測図　縄文土器(61)‥‥321
第72図　出土遺物実測図　縄文土器(62)‥‥322
第73図　出土遺物実測図　縄文土器(63)‥‥323
第74図　出土遺物実測図　縄文土器(64)‥‥324
第75図　出土遺物実測図　縄文土器(65)‥‥325
第76図　出土遺物実測図　縄文土器(66)‥‥326
第77図　出土遺物実測図　縄文土器(67)‥‥327
第78図　出土遺物実測図　縄文土器(68)‥‥328
第79図　出土遺物実測図　縄文土器(69)‥‥329
第80図　出土遺物実測図　縄文土器(70)‥‥330
第81図　出土遺物実測図　縄文土器(71)‥‥331
第82図　出土遺物実測図　縄文土器(72)‥‥332
第83図　出土遺物実測図　縄文土器(73)‥‥333
第84図　出土遺物実測図　縄文土器(74)‥‥334
第85図　出土遺物実測図　縄文土器(75)‥‥335
第86図　出土遺物実測図　縄文土器(76)‥‥336
第87図　出土遺物実測図　縄文土器(77)‥‥337
第88図　出土遺物実測図　縄文土器(78)‥‥338
第89図　出土遺物実測図　縄文土器(79)‥‥339
第90図　出土遺物実測図　縄文土器(80)‥‥340
第91図　出土遺物実測図　縄文土器(81)‥‥341
第92図　出土遺物実測図　縄文土器(82)‥‥342
第93図　出土遺物実測図　縄文土器(83)‥‥343
第94図　出土遺物実測図　縄文土器(84)‥‥344
第95図　出土遺物実測図　縄文土器(85)‥‥345
第96図　出土遺物実測図　縄文土器(86)‥‥346

第97図　出土遺物実測図　縄文土器(87)‥‥347
第98図　出土遺物実測図　縄文土器(88)‥‥348
第99図　出土遺物実測図　縄文土器(89)‥‥349
第100図　出土遺物実測図　縄文土器(90)‥‥350
第101図　出土遺物実測図　縄文土器(91)‥‥351
第102図　出土遺物実測図　縄文土器(92)‥‥352
第103図　出土遺物実測図　縄文土器(93)‥‥353
第104図　出土遺物実測図　縄文土器(94)‥‥354
第105図　出土遺物実測図　縄文土器(95)‥‥355
第106図　出土遺物実測図　縄文土器(96)‥‥356
第107図　出土遺物実測図　縄文土器(97)‥‥357
第108図　出土遺物実測図　縄文土器(98)‥‥358
第109図　出土遺物実測図　縄文土器(99)‥‥359
第110図　出土遺物実測図　縄文土器(100)‥360
第111図　出土遺物実測図　縄文土器(101)‥361
第112図　出土遺物実測図　縄文土器(102)‥362
第113図　出土遺物実測図　縄文土器(103)‥363
第114図　出土遺物実測図　縄文土器(104)‥364
第115図　出土遺物実測図　縄文土器(105)‥365
第116図　出土遺物実測図　縄文土器(106)‥366
第117図　出土遺物実測図　縄文土器(107)‥367
第118図　出土遺物実測図　縄文土器(108)‥368
第119図　出土遺物実測図　縄文土器(109)‥369
第120図　出土遺物実測図　縄文土器(110)‥370
第121図　出土遺物実測図　縄文土器(111)‥371
第122図　出土遺物実測図　縄文土器(112)‥372
第123図　出土遺物実測図　縄文土器(113)‥373
第124図　出土遺物実測図　縄文土器(114)‥374
第125図　出土遺物実測図　縄文土器(115)‥375
第126図　出土遺物実測図　縄文土器(116)‥376
第127図　出土遺物実測図　縄文土器(117)‥377
第128図　出土遺物実測図　縄文土器(118)‥378
第129図　出土遺物実測図　縄文土器(119)‥379
第130図　出土遺物実測図　縄文土器(120)‥380
第131図　出土遺物実測図　縄文土器(121)‥381
第132図　出土遺物実測図　縄文土器(122)‥382
第133図　出土遺物実測図　縄文土器(123)‥383
第134図　出土遺物実測図　縄文土器(124)‥384
第135図　出土遺物実測図　縄文土器(125)‥385
第136図　出土遺物実測図　弥生土器・土師器・土師質土器・中世国産陶器(1)‥‥386
第137図　出土遺物実測図　中世国産陶器(2)・輸入陶磁器・金属製品・土製品・土器片加工円盤(1)‥‥‥‥‥‥‥‥‥387
第138図　土器片加工円盤(2)‥‥‥‥‥‥‥‥388
第139図　土器片加工円盤(3)‥‥‥‥‥‥‥‥389
第140図　土器片加工円盤(4)‥‥‥‥‥‥‥‥390
第141図　出土遺物実測図　石器・石製品(1)・391
第142図　出土遺物実測図　石器・石製品(2)・392
第143図　出土遺物実測図　石器・石製品(3)・393
第144図　出土遺物実測図　石器・石製品(4)・394
第145図　出土遺物実測図　石器・石製品(5)・395
第146図　出土遺物実測図　石器・石製品(6)・396
第147図　出土遺物実測図　石器・石製品(7)・397
第148図　出土遺物実測図　石器・石製品(8)・398
第149図　出土遺物実測図　石器・石製品(9)・399
第150図　出土遺物実測図　石器・石製品(10)・400
第151図　出土遺物実測図　石器・石製品(11)・401
第152図　出土遺物実測図　石器・石製品(12)・402
第153図　出土遺物実測図　石器・石製品(13)・403
第154図　出土遺物実測図　石器・石製品(14)・404
第155図　出土遺物実測図　石器・石製品(15)・405
第156図　出土遺物実測図　石器・石製品(16)・406
第157図　出土遺物実測図　石器・石製品(17)・407
第158図　出土遺物実測図　石器・石製品(18)・408

小路下遺跡

第１図　小路下遺跡　地区割図……467
第２図　遺構全体図……468
第３図　Ⅲ区遺構分布図・西壁層序図…469・470
第４図　ＳＡ-01遺構実測図……471
第５図　ＳＢ-01～10　遺構実測図……472
第６図　ＳＫ-01～03　遺物実測図……474
第７図　Ⅲ区出土遺物実測図（１）……475
第８図　Ⅲ区出土遺物実測図（２）……476
第９図　Ⅲ区出土遺物実測図（３）……477
第10図　Ⅲ区出土遺物実測図（４）……478
第11図　Ⅳ区遺構分布図・西壁・北壁
　　層序図……479・480
第12図　ＳＢ-11～14遺構実測図……481
第13図　ＳＢ-15～17遺構実測図……482
第14図　ＳＢ-18・19遺構実測図……483
第15図　ＳＫ-14～17遺構実測図……484
第16図　ＳＫ-15～17出土遺物実測図……485
第17図　ＳＫ-20遺構実測図・出土遺物
　　実測図……486
第18図　ＳＫ-９・13・21・24～27・28・29・31・
　　33・35・38　遺構実測図……487
第19図　Ⅳ区出土遺物実測図（１）……488
第20図　Ⅳ区出土遺物実測図（２）……489
第21図　Ⅳ区出土遺物実測図（３）……490
第22図　Ⅳ区出土遺物実測図（４）……491
第23図　Ⅳ区出土遺物実測図（５）……492
第24図　Ⅳ区出土遺物実測図（６）……493
第25図　Ⅳ区出土遺物実測図（７）……494
第26図　Ⅳ区出土遺物実測図（８）……495
第27図　Ⅳ区出土遺物実測図（９）……496
第28図　Ⅳ区出土遺物実測図(10)……497
第29図　Ⅳ区出土遺物実測図(11)……498
第30図　Ⅴ区遺構分布図・西壁・
　　ＳＤ-01北壁層序図……499・500
第31図　ＳＢ-20～22遺構実測図……501
第32図　Ⅴ区出土遺物実測図（１）……502
第33図　Ⅴ区出土遺物実測図（２）……503
第34図　Ⅴ区出土遺物実測図（３）……504
第35図　Ⅵ区遺構分布図……505・506
第36図　ＳＫ-01・02遺構分布図……507
第37図　ＳＤ-02・ＳＫ-05遺構実測図……508
第38図　Ⅵ区出土遺物実測図（１）……509
第39図　Ⅵ区出土遺物実測図（２）……510
第40図　Ⅵ区出土遺物実測図（３）……511
第41図　Ⅶ区遺構分布図・北壁・東壁・ほか
　　断面層序図……513・514
第42図　ＳＡ-01・02遺構実測図……515
第43図　ＳＢ-23～29遺構実測図……516
第44図　ＳＢ-30遺構実測図……517
第45図　Ⅶ区出土遺物実測図（１）……517
第46図　Ⅶ区出土遺物実測図（２）……518
第47図　Ⅷ区遺構分布図……519
第48図　ＳＢ-31・32遺構実測図……520
第49図　Ⅷ区出土遺物実測図……520
第50図　Ⅸ区遺構分布図・
　　ＳＤ-02断面図……521・522
第51図　ＳＡ-01・02遺構実測図……523
第52図　ＳＡ-03遺構実測図……524
第53図　ＳＡ-04遺構実測図……525
第54図　ＳＡ-05・06遺構実測図……526
第55図　ＳＡ-07遺構実測図……527
第56図　竪穴状遺構　切り合い層序図……528
第57図　ＳＢ-34～36遺構実測図……529
第58図　Ⅸ区出土遺物実測図（１）……530
第59図　Ⅸ区出土遺物実測図（２）……531
第60図　Ⅸ区出土遺物実測図（３）……532

第61図　Ⅹ区遺構分布図・西壁層序図 …535・536
第62図　ＳＡ-01遺構実測図 ……537
第63図　ＳＡ-02･03遺構実測図……538
第64図　ＳＢ-37～40遺構実測図 ……539
第65図　ＳＢ-41･42遺構実測図……540
第66図　ＳＫ-01遺構実測図 ……540
第67図　ＳＺ-01遺構実測図 ……541
第68図　Ⅹ区出土遺物実測図……542
第69図　Ⅺ区遺構分布図・西壁西南部
断面層序図……543・544
第70図　ＳＡ-01遺構実測図 ……545
第71図　ＳＢ-43～45遺構実測図 ……546
第72図　ＳＫ-01･02･05遺構実測図 ……547
第73図　Ⅺ区出土遺物実測図……548

浜川原遺跡

第１図　浜川原遺跡　地区割図……563
第２図　遺構全体図……565・566
第３図　Ⅱ区西壁断面層序実測図……567・568
第４図　ＳＫ-14遺構実測図 ……569
第５図　Ⅲａ層出土遺物実測図……570
第６図　ＳＡ-01遺構実測図 ……571
第７図　ＳＡ-02遺構実測図 ……572
第８図　ＳＡ-03・04遺構実測図 ……573・574
第９図　ＳＡ-01･02出土遺物実測図……575
第10図　ＳＡ-02･03出土遺物実測図……576
第11図　ＳＡ-03出土遺物実測図 ……577
第12図　ＳＡ-05･06遺構実測図……579
第13図　ＳＡ-07遺構実測図 ……580
第14図　ＳＡ-08･10遺構実測図……581
第15図　ＳＡ-05出土遺物実測図 ……582
第16図　ＳＡ-05･07出土遺物実測図……583
第17図　ＳＡ-07出土遺物実測図 ……584
第18図　ＳＡ-07･08出土遺物実測図……585
第19図　ＳＡ-09･11･12遺構実測図 ……586
第20図　ＳＡ-13遺構実測図 ……587
第21図　ＳＫ-01～06遺構実測図 ……588
第22図　ＳＫ-07～13遺構実測図 ……589
第23図　ＳＡ-09･10出土遺物実測図……590
第24図　ＳＡ-10･11出土遺物実測図……591
第25図　ＳＡ-13・ＳＫ出土遺物実測図 ……592
第26図　調査区出土遺物実測図（１）……593
第27図　調査区出土遺物実測図（２）……594
第28図　調査区出土遺物実測図（３）……595
第29図　調査区出土遺物実測図（４）……596
第30図　調査区出土遺物実測図（５）……597
第31図　調査区出土遺物実測図（６）……598
第32図　調査区出土遺物実測図（７）……599
第33図　調査区出土遺物実測図（８）……600
第34図　調査区出土遺物実測図（９）……601
第35図　調査区出土遺物実測図(10)……602
第36図　調査区出土遺物実測図(11)……603
第37図　弥生土器実測図（１）……604
第38図　弥生土器実測図（２）……605
第39図　縄文土器実測図（１）……606
第40図　縄文土器実測図（２）……607
第41図　縄文土器実測図（３）……608
第42図　石器製作址出土遺物実測図……608
第43図　調査区出土石器実測図（１）……609
第44図　調査区出土石器実測図（２）……610
第45図　調査区出土石器実測図（３）……611

表 目 次

内丸遺跡

表１　出土遺物観察表（１）……41
表２　出土遺物観察表（２）……42
表３　出土遺物観察表（３）……43
表４　出土遺物観察表（４）……44
表５　出土遺物観察表（５）……45
表６　出土遺物観察表（６）……46
表７　出土遺物観察表（７）……47
表８　出土遺物観察表（８）……48
表９　出土遺物観察表（９）……49

弁財天遺跡

表１　出土遺物観察表（１）……99
表２　出土遺物観察表（２）……100
表３　出土遺物観察表（３）……101
表４　出土遺物観察表（４）……102
表５　出土遺物観察表（５）……103
表６　出土遺物観察表（６）……104
表７　出土遺物観察表（７）……105
表８　出土遺物観察表（８）……106
表９　出土遺物観察表（９）……107
表10　出土遺物観察表(10)……108
表11　出土遺物観察表(11)……108
表12　出土遺物観察表(12)……109
表13　出土遺物観察表(13)……109

馬場田遺跡

表１　出土遺物観察表（１）……203
表２　出土遺物観察表（２）……204
表３　出土遺物観察表（３）……205
表４　出土遺物観察表（４）……206
表５　出土遺物観察表（５）……207
表６　出土遺物観察表（６）……208
表７　出土遺物観察表（７）……209
表８　出土遺物観察表（８）……210
表９　出土遺物観察表（９）……211
表10　出土遺物観察表(10)……212
表11　出土遺物観察表(11)……213
表12　出土遺物観察表(12)……214
表13　出土遺物観察表(13)……215
表14　出土遺物観察表(14)……216
表15　出土遺物観察表(15)……217
表16　出土遺物観察表(16)……218
表17　出土遺物観察表(17)……219
表18　出土遺物観察表(18)……220
表19　出土遺物観察表(19)……221
表20　出土遺物観察表(20)……222
表21　出土遺物観察表(21)……223
表22　出土遺物観察表(22)……224
表23　出土遺物観察表(23)……225
表24　出土遺物観察表(24)……226
表25　出土遺物観察表(25)……227
表26　出土遺物観察表(26)……228
表27　出土遺物観察表(27)……229
表28　出土遺物観察表(28)……230
表29　出土遺物観察表(29)……231
表30　出土遺物観察表(30)……232

表31　出土遺物観察表(31)……233
表32　出土遺物観察表(32)……234
表33　出土遺物観察表(33)……235

水流遺跡

表１　出土遺物観察表(１)……242
表２　出土遺物観察表(２)……242
表３　出土遺物観察表(３)……243

役所田遺跡

表１　出土遺物観察表(１)……409
表２　出土遺物観察表(２)……410
表３　出土遺物観察表(３)……411
表４　出土遺物観察表(４)……412
表５　出土遺物観察表(５)……413
表６　出土遺物観察表(６)……414
表７　出土遺物観察表(７)……415
表８　出土遺物観察表(８)……416
表９　出土遺物観察表(９)……417
表10　出土遺物観察表(10)……418
表11　出土遺物観察表(11)……419
表12　出土遺物観察表(12)……420
表13　出土遺物観察表(13)……421
表14　出土遺物観察表(14)……422
表15　出土遺物観察表(15)……423
表16　出土遺物観察表(16)……424
表17　出土遺物観察表(17)……425
表18　出土遺物観察表(18)……426
表19　出土遺物観察表(19)……427
表20　出土遺物観察表(20)……428
表21　出土遺物観察表(21)……429
表22　出土遺物観察表(22)……430
表23　出土遺物観察表(23)……431
表24　出土遺物観察表(24)……432
表25　出土遺物観察表(25)……433
表26　出土遺物観察表(26)……434
表27　出土遺物観察表(27)……435
表28　出土遺物観察表(28)……436
表29　出土遺物観察表(29)……437
表30　出土遺物観察表(30)……438
表31　出土遺物観察表(31)……439
表32　出土遺物観察表(32)……440
表33　出土遺物観察表(33)……441
表34　出土遺物観察表(34)……442
表35　出土遺物観察表(35)……443
表36　出土遺物観察表(36)……444
表37　出土遺物観察表(37)……445
表38　出土遺物観察表(38)……446
表39　出土遺物観察表(39)……447
表40　出土遺物観察表(40)……448
表41　出土遺物観察表(41)……449
表42　出土遺物観察表(42)……450
表43　出土遺物観察表(43)……451
表44　出土遺物観察表(44)……452
表45　出土遺物観察表(45)……453
表46　出土遺物観察表(46)……454
表47　出土遺物観察表(47)……455
表48　出土遺物観察表(48)……456
表49　出土遺物観察表(49)……457
表50　出土遺物観察表(50)……458
表51　出土遺物観察表(51)……458
表52　出土遺物観察表(52)……459

表53　出土遺物観察表(53)……459
表54　出土遺物観察表(54)……460
表55　出土遺物観察表(55)……461
表56　出土遺物観察表(56)……462
表57　出土遺物観察表(57)……463
表58　出土遺物観察表(58)……464
表59　出土遺物観察表(59)……465

小路下遺跡

表１　出土遺物観察表(１)……549
表２　出土遺物観察表(２)……550
表３　出土遺物観察表(３)……551
表４　出土遺物観察表(４)……552
表５　出土遺物観察表(５)……553
表６　出土遺物観察表(６)……554
表７　出土遺物観察表(７)……555
表８　出土遺物観察表(８)……556
表９　出土遺物観察表(９)……556
表10　出土遺物観察表(10)……557
表11　出土遺物観察表(11)……558
表12　出土遺物観察表(12)……559
表13　出土遺物観察表(13)……560
表14　出土遺物観察表(14)……561
表15　出土遺物観察表(15)……561
表16　出土遺物観察表(16)……561

浜川原遺跡

表１　遺物観察表(１)輸入陶磁器・国産陶磁器……612
表２　遺物観察表(２)土器(１)……612
表３　遺物観察表(３)土器(２)……613
表４　遺物観察表(４)土器(３)……614
表５　遺物観察表(５)土器(４)……615
表６　遺物観察表(６)土器(５)……616
表７　遺物観察表(７)土器(６)……617
表８　遺物観察表(８)土器(７)……618
表９　遺物観察表(９)土器(８)……619
表10　遺物観察表(10)土器(９)……620
表11　遺物観察表(11)土製品……620
表12　遺物観察表(12)石器……621

第１章　はじめに

本市の中央南側には、盆地中央を西流する川内川へ注ぐ長江川とその氾濫原がある。当地区において、平成元年度、防衛庁補助による109haを対象とする圃場整備の計画がもたれた。周知の遺跡は内丸遺跡のみであったが、県文化課による試掘調査の結果、段丘面の殆どに遺跡が包蔵していることがわかった。そこで、西諸県農林振興局と県文化課、市教育委員会で埋蔵文化財の保護について協議を重ねた結果、順次、工事に先行して発掘調査を実施し、記録保存をすることになった。

第２章　遺跡の位置と歴史的環境

長江浦地区遺跡群は、霧島山系に端を発する市内最長の支流である長江川を軸として、微高地や段丘に点在する遺跡群の総称である。行政区では、川の左岸が大字西長江浦で、北から役所田遺跡・小路下遺跡(1)・馬場田遺跡・水流遺跡・内丸遺跡(2)が、右岸は大字東長江浦で浜川原遺跡(3)の調査地がある。霧島山系の湧水は多く、中でも小池（第1図Ａ地点）と出水観世音池（Ｂ地点）、浜川原池（Ｃ地点）、弁財天池（Ｄ地点）の４大湧水池があり、古くから恩恵を被っている。左岸は低丘陵や微高地が多いために遺跡が密集する。反面、右岸は痩せ尾根が張り出し、中世の山城が点在する。左岸北端には溝園城跡が占地し、その両側には灰塚地下式横穴墓群を含む縄文～平安時代の灰塚遺跡(4)や西矢倉城跡、池山城跡、広大な岡元遺跡などがある。灰塚遺跡の北西２㎞には短甲７領・冑３鉢などが出土している島内地下式横穴墓群(5)が、３㎞東には確認総数400基を越え、短甲２領・冑１鉢などが出土している小木原地下式横穴墓群(6)が、その２㎞対岸には苧畑地下式横穴墓群が分布する。その他、単独ながら、松山遺跡(7)と内小野遺跡(8)・天神免遺跡(9)で小型の地下式横穴墓が検出されている。

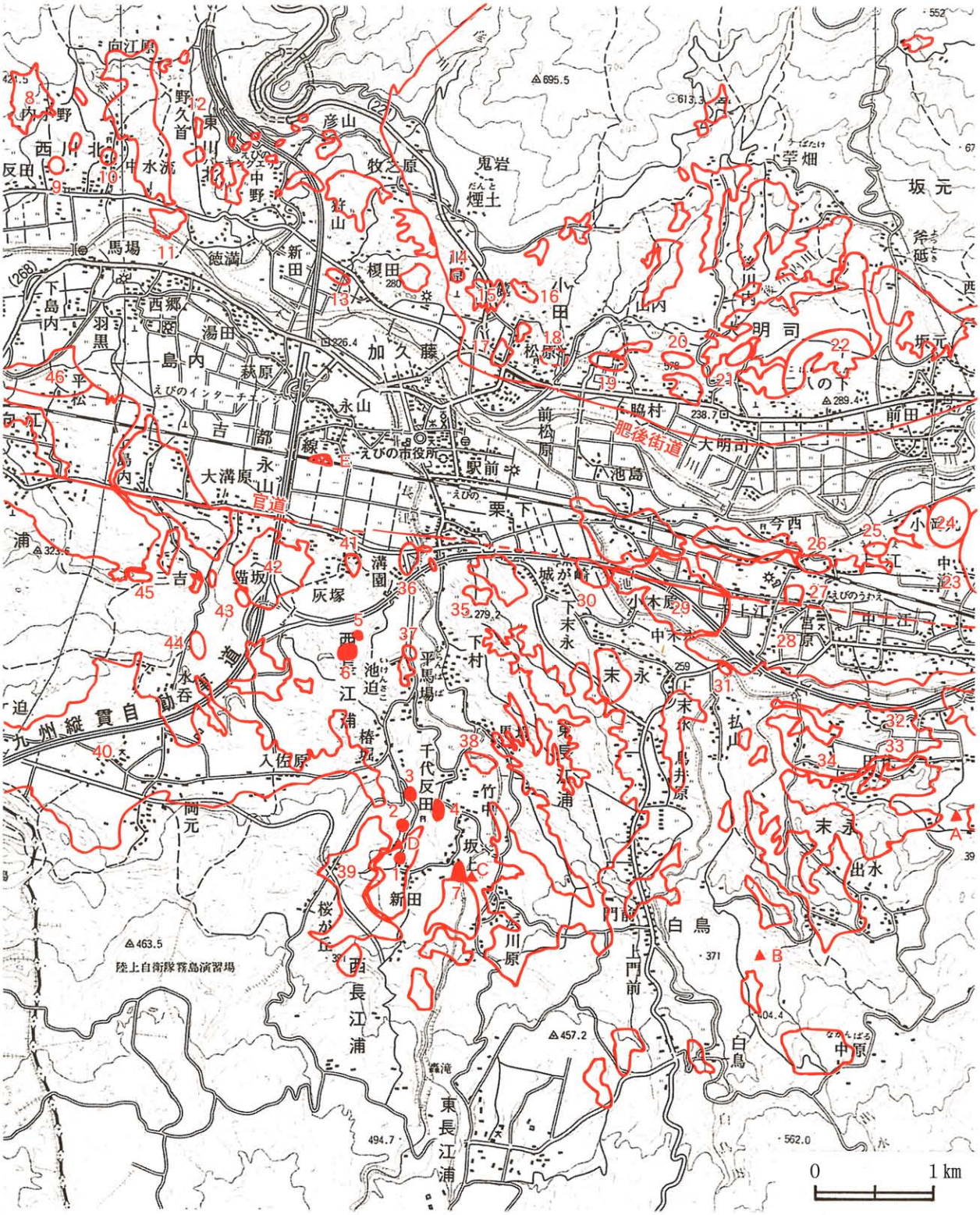
墳墓群に相応する集落はなかなか発見されず、同一段丘には存在していない。妙見遺跡(10)では41軒の竪穴住居を検出しているが、墓域は不明である。又、総数350軒前後と推定される内小野遺跡集団の墓域は、島内地下式横穴墓群に比定される。

古代の官道は京町(11)－小林線が一部踏襲し、一直線に走る。『延喜式』にみえる真祈（まさき）駅は、現在の大字永山字「真崎」（Ｅ地点）もしくは９～10世紀代と推定される法光寺跡およびその周辺に比定されているが、後者の可能性が最も高いと思われる。

７～８世紀代の遺跡は無いに等しいが、９世紀後半には爆発的に遺跡が増加し、近世まで継続する集落が多い。小木原遺跡群蕨Ｃ地区では、官道を再整備したと推定される15～16世紀代の石敷き道路跡が検出され、中世末までは官道および再整備道が主要道であったと思われる。

近世になると川内川右岸に肥後街道が敷かれ、主要道となる。

平成９年７月、川内川の川岸から丸木杭が発見された（第４図・写真１）。残存長は1.40ｍ、最大径0.30ｍの材で、下半は金属工具による面取りがなされ、先端には30㎝・幅２㎝・厚さ５～６㎜



1：内丸遺跡　2：弁財天遺跡　3：馬場田遺跡　4：水流遺跡　5：役所田遺跡　6：小路下遺跡　7：浜川原遺跡　8：内小野遺跡　9：東福城跡　10：新城跡　11：徳満城跡　12：妙見遺跡　13：園田城跡(消滅)　14：浄慶城跡　15：加久藤城跡　16：新城跡　17：小城跡　18：平城跡(消滅)　19：小城跡　20：掃部城跡　21：宮之城跡　22：苧畑地下式横穴墓群　23：建山地下式横穴墓群　24：田之上城跡　25：古城跡　26：上江城跡　27：法光寺跡　28：原田・上江遺跡群　29：小木原地下式横穴墓群　30：鳥越城跡　31：桑田遺跡　32：松山遺跡　33：上田代遺跡　34：竹之内遺跡　35：柿ノ木城跡　36：稲荷城跡　37：小屋敷城跡　38：畑田城跡　39：新田遺跡　40：岡元遺跡　41：溝園城跡　42：灰塚地下式横穴墓群　43：西矢倉城跡　44：池山城跡　45：見吉城跡　46：島内地下式横穴墓群　A～D：湧水池　E：字「真崎」　F：村境杭出土地点

第１図　遺跡の位置と周辺の遺跡位置図（１：50,000）

1：内丸遺跡　2：馬場田遺跡　3：弁財天遺跡　4：水流遺跡　5：役所田遺跡　6：小路下遺跡　7：浜川原遺跡

第２図　長江浦地区遺跡群　位置図（１：25,000）

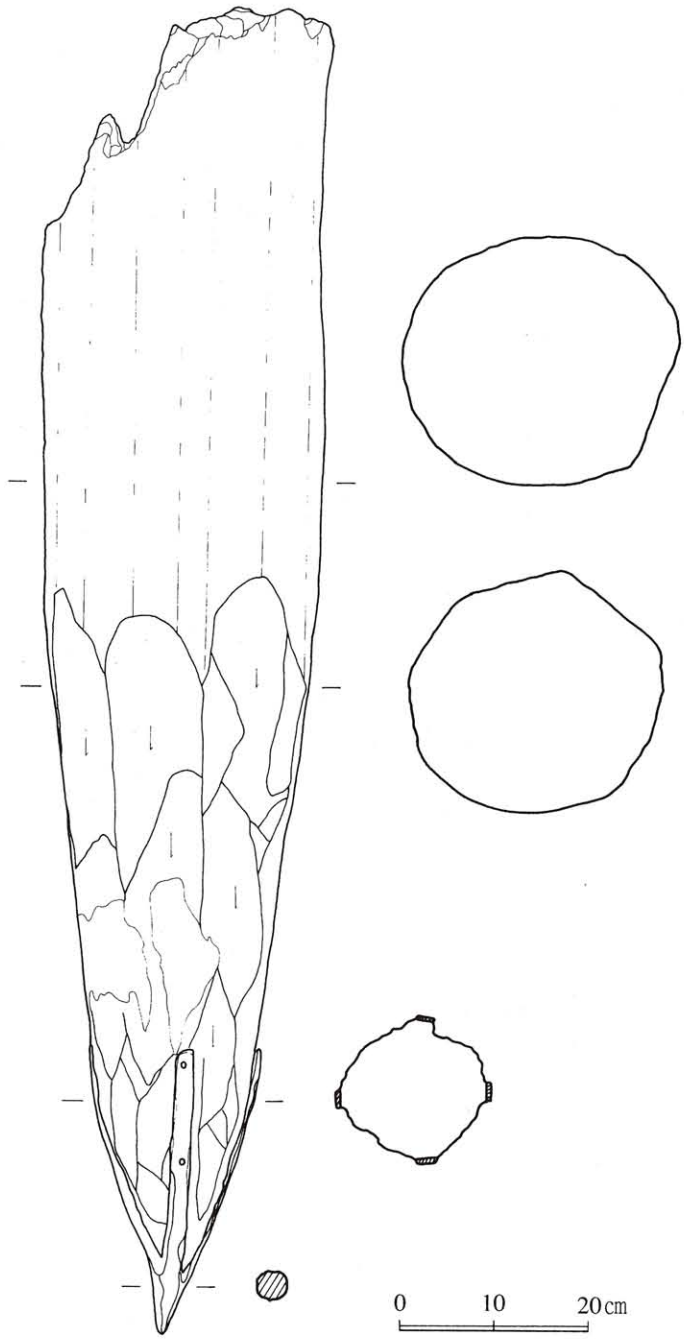
1：内丸遺跡　2：弁財天遺跡　3：馬場田遺跡　4：水流遺跡　5：浜川原遺跡

第３図　遺跡の位置と周辺の地形（１：5,000）

：湿地

の４つ又にわかれた鉄製の石突きが釘止めされている。発見地は旧村境に近く、村境を示す境界杭[12]もしくは正徳３年（1713）に構築された堂本井堰の基礎杭か或は昭和27年（1952）に改築された時の杭の可能性がある。西長江浦地区の西側は旧村境であり、将来的に類例が出土する可能性を留意するべく、事例提示した。

写真１　村境杭と先端部拡大



第４図　村境杭　実測図

註

(1) えびの市教育委員会　1993　『長江浦地区遺跡群役所田遺跡・小路下遺跡』　えびの市埋蔵文化財調査報告書第11集

(2) えびの市教育委員会　1991　『長江浦地区遺跡群内丸・弁財天・馬場田遺跡』　えびの市埋蔵文化財調査報告書第８集、えびの市教育委員会　1992　『長江浦地区遺跡群水流・馬場田遺跡』　えびの市埋蔵文化財調査報告書第９集

(3) えびの市教育委員会　2000　『浜川原遺跡』　えびの市埋蔵文化財調査報告書第25集

(4) 宮崎県教育委員会　1973　『九州縦貫自動車道埋蔵文化財調査報告書（２）灰塚遺跡』

(5) えびの市教育委員会『島内地下式横穴墓群』　2001　えびの市埋蔵文化財調査報告書第29集　など

(6) 宮崎県教育委員会　1972『九州縦貫自動車道埋蔵文化財調査報告（１）』、えびの市教育委員会　1990　『永田原遺跡・小木原遺跡群地区・口ノ坪遺跡』　えびの市埋蔵文化財調査報告書第６集、えびの市教育委員会　1996　『小木原遺跡群蕨地区・久見迫Ｂ地区・地主原地区、原田・上江遺跡群六部市遺跡・蔵元遺跡・中満遺跡・法光寺遺跡Ⅰ・Ⅱ』　えびの市埋蔵文化財調査報告書第16集、宮崎県　1993　『宮崎県史　資料編　考古２』　など

(7) えびの市教育委員会　1997　『田代地区遺跡群上田代遺跡・松山遺跡・竹之内遺跡、妙見原遺跡』　えびの市埋蔵文化財調査報告書第20集

(8) えびの市教育委員会　2000　『内小野遺跡』　えびの市埋蔵文化財調査報告書第24集

(9) えびの市教育委員会　2001　『天神免遺跡』　えびの市埋蔵文化財調査報告書第28集

(10) 宮崎県教育委員会　1994　『九州自動車道（人吉～えびの間）建設工事にともなう埋蔵文化財調査報告書第２集　野久首遺跡・平原遺跡・妙見遺跡』

(11) 本市の起こりは、明治22年（1889）、飯野・加久藤・真幸の３郷が村となり、昭和15年（1940）飯野村が町制を施行、昭和25年（1950）には真幸町が、昭和30年（1955）には加久藤町が誕生し、昭和41年（1966）、３町が合併して昭和45年（1970）えびの市となった。

(12) 宮崎県総合博物館の宗像哲男氏に御教示頂いた。

第３章　内丸遺跡

第３章　内丸遺跡

第1節　はじめに

内丸遺跡は、えびの市大字西長江浦字内丸、一辻、新田下、田中に広がる南北800ｍ、東西最大幅350ｍの丘陵先端面に立地する。調査区は標高271ｍの遺跡の北よりにあたり、北150ｍ地点に豊富な湧水を確保する、良好な立地条件にある。

調査区は、排土処理の都合により２区に分け、Ⅰ区を平成２年９月17日から11月６日まで、Ⅱ区を平成３年１月７日から２月１日まで調査した。

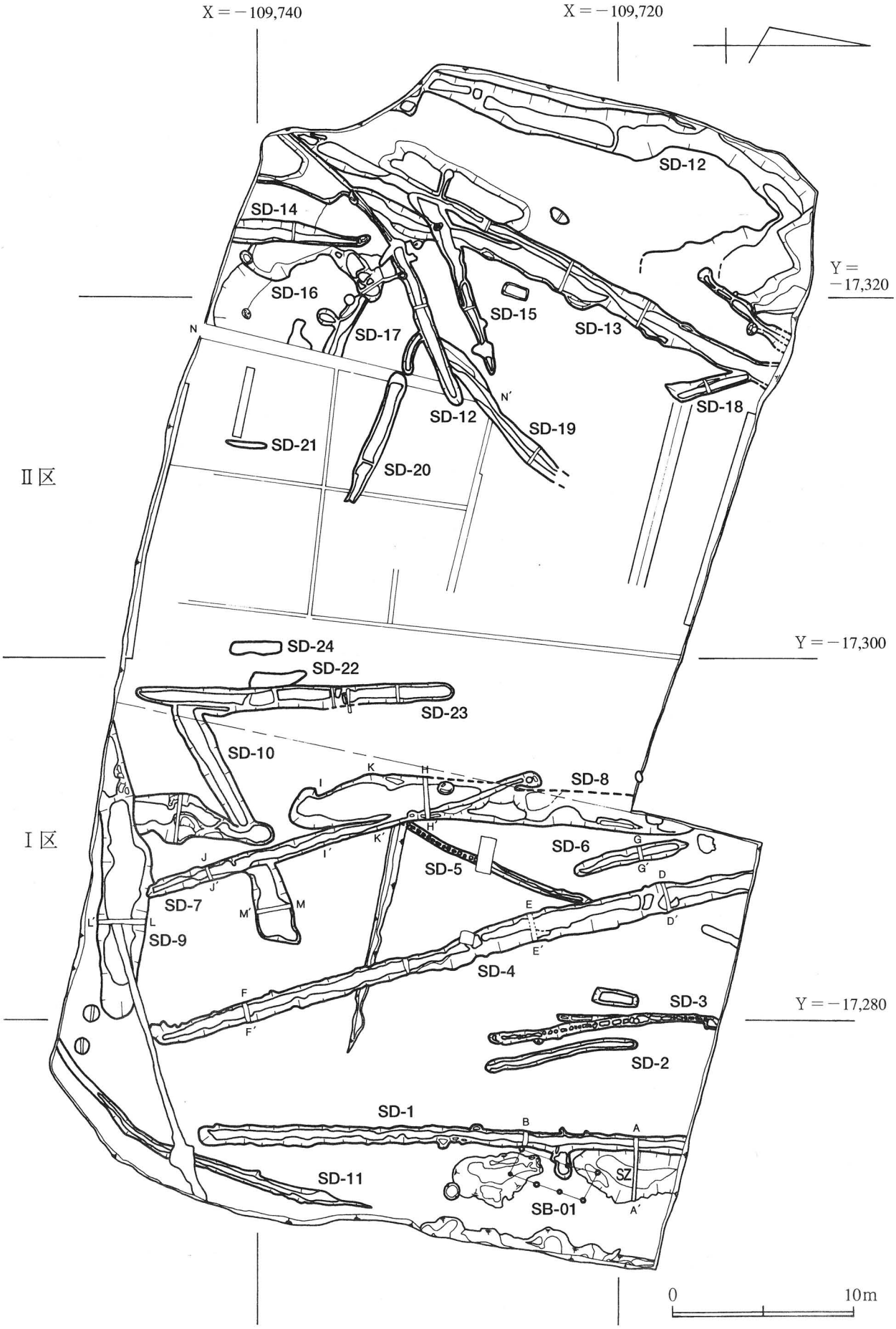
第２節　基本的層序

層序は上から、Ⅰ層：耕作土、Ⅱ層：床土・旧耕作土・近世以降の灰色土、Ⅲａ層：黒灰色土（中世～古代）、Ⅲｂ層：淡黒灰色土＋Ⅳａ層（古代～古墳時代）、Ⅳａ層：アカホヤ火山灰２次堆積層；淡黄褐色～黄褐色微砂質土、Ⅳｂ層：アカホヤ火山灰＋淡緑灰色微細砂質土に分別した。

Ⅳａ層は40㎝前後堆積し、縄文時代前期から後期の遺物を含み、上層～上面においては、古墳時代までの遺物が混在する。

Ⅰ区の殆どは、後世の開墾により、Ⅲ層が遺存していない。

第１図　内丸遺跡　地区割図（１：2,500）

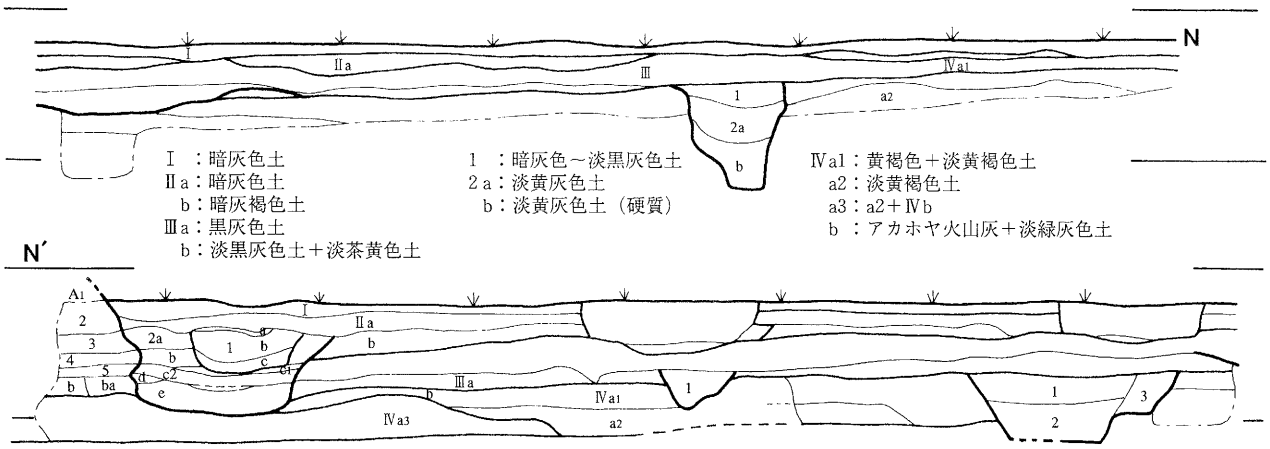


第２図　古代～近世　遺構分布図

第３節　古代～近世の調査

Ⅰ区南半～Ⅱ区にかけてはⅢ層が遺存し、若干の遺物も含む。Ⅱ区の中央南側セクション断面（第３図）を見ると、Ⅳa1層上面とⅢｂ・Ⅱｂ層上面を遺構面とする溝状遺構がある。Ⅳa層上面での遺構検出において、24条の溝状遺構と、掘立柱建物跡１棟を確認した。

Ⅳa層上面から切り込む17号溝が最も古く、９～10世紀代と思われる。これに併行する20号溝や直行する13号・05号溝は12～13世紀、北方向の01・08・23号とそれに直行する09号溝が中世に、北



畦畔

A1：暗灰色土
2：暗灰色土
3：暗灰色～淡黒灰色土
4：淡黒灰色土
5：暗灰色土
6a：４＋５層
ｂ：５と同じ

SD-12

1a：淡灰色＋微砂
ｂ：暗灰色土
ｃ：淡灰色微細砂＋暗灰色土（互層）
2a：暗灰色土
ｂ：淡黒杯色土
c1：淡黒灰色～暗灰色土
c2：暗灰色土（混Ⅳ層粒・微細砂）
ｄ：灰色土
ｅ：黒灰色＋灰色＋灰褐色土（混Ⅳ層ブロック～粗細粒）

SD-17

1：淡灰黄色土
2：Ⅰ＋Ⅳb層粒
3：淡茶灰色～淡灰黄色土

0　1　2 m

第３図　Ⅱ区　中央南側セクション西壁層序

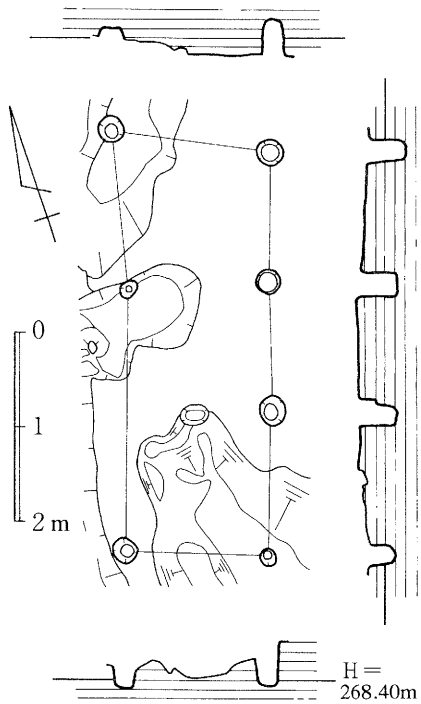
北西方向の02・03・04・07号とそれに直行する09・10・12・15号溝は近世後半～近代に属し、11号溝は近現代である。上記以外の溝状遺構は、主として中世後半に属すると思われる。03号と05号溝は幅0.5～0.7ｍを測り、底面には凹凸面が連続する特殊な機能を持つが、硬化面は無く、道路状遺構としては想定し難い。

ＳＢ-01（第４図）

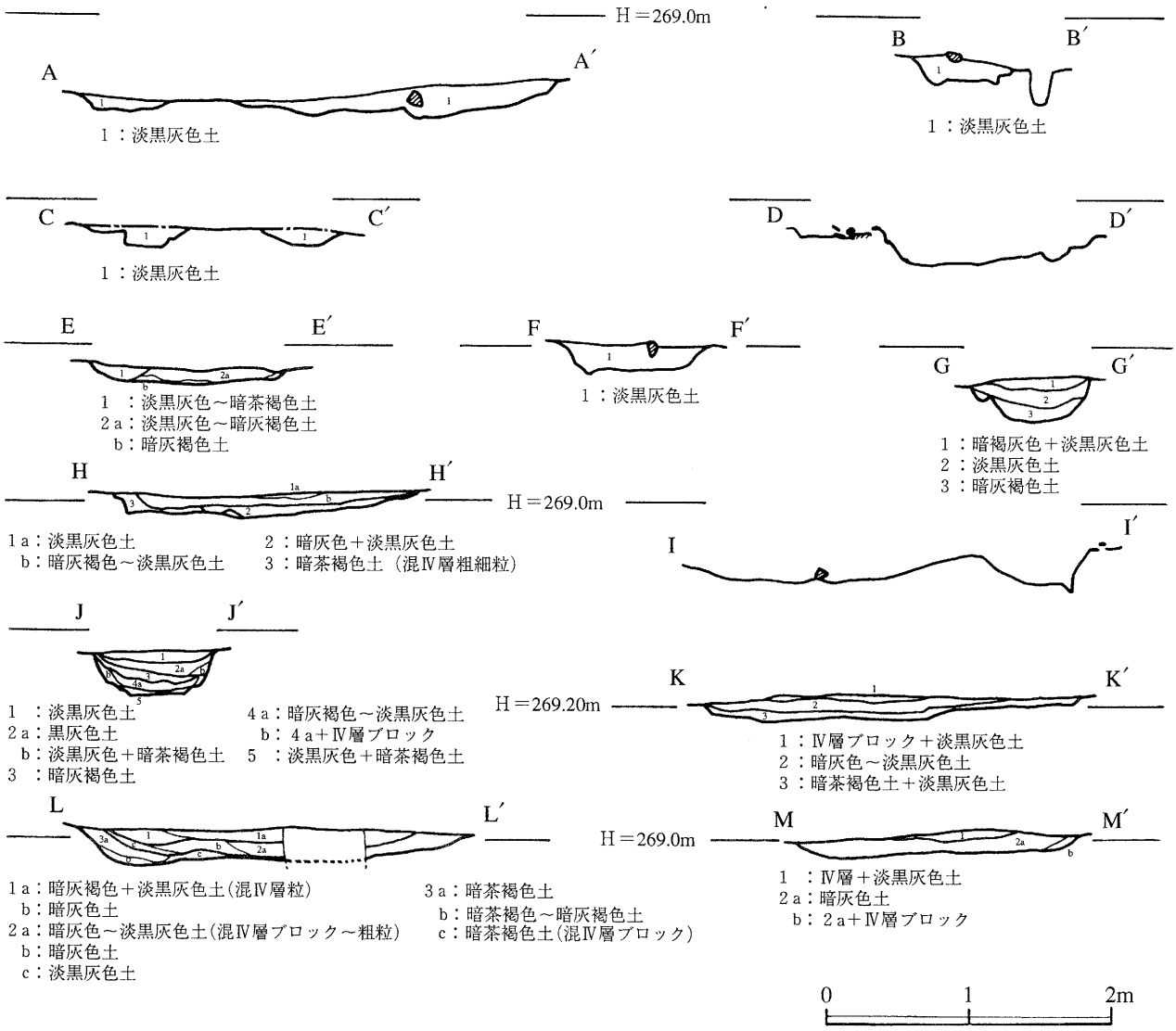
調査区の北東部で検出した、梁行１間（1.5～1.7ｍ）、桁行３間（4.26～4.46m）の建物跡である。

主軸方位はＮ17°Ｅで、05号溝と同一方向である。

柱穴は直径28cm前後、深さ40cm内外を測るが、柱痕跡は確認できなかった。覆土から、15～16世紀の建物と思われる。



第４図　ＳＢ-01　遺構実測図

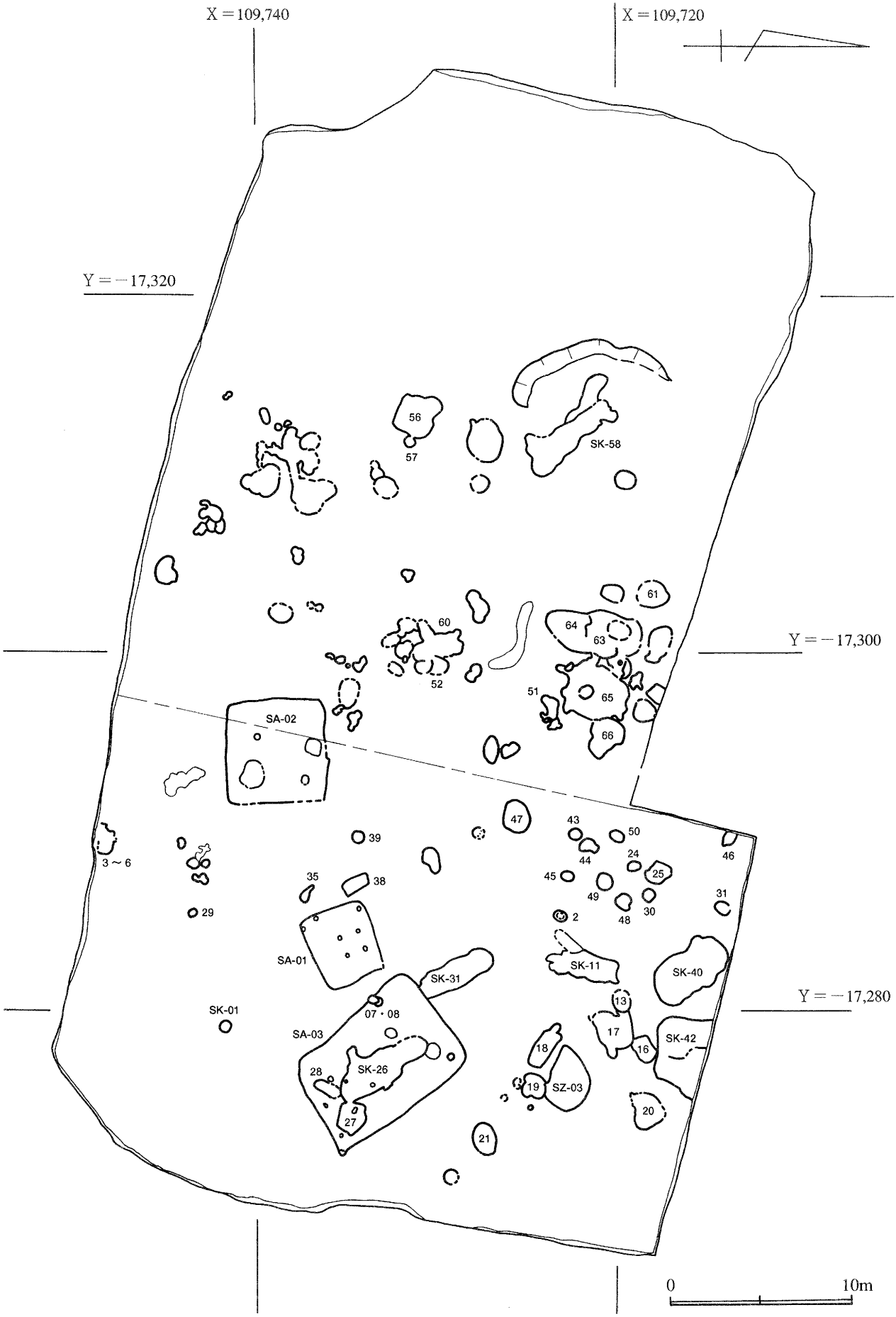


第５図　SD-01～10　断面層序図

その他、遺物包含層の出土であるが、布目瓦片（第20図-**207**）が１点出土している。本書第４章掲載の弁財天遺跡で同類の瓦が出土しており、中世後半の所産と考えられ、ＳＢ-01に使用された可能性もある。

第４節　古墳時代

Ⅳa層から掘り込む竪穴住居３棟を検出した。覆土中央部は若干凹み、Ⅲb層が覆っているために、Ⅲb層の掘り込みで終了しかけたが、Ⅲ層およびⅣ層上面での土師器や縄文土器の量から竪穴住居数棟を予見していたこともあり、若干掘り下げたり、サブトレンチを設けて遺構の有無を確認した。その結果、Ⅳa層とは若干異なる色調を覆土とするプランを検出した。結果的にはⅣa層を剥ぐことで確実なプランが検出された。

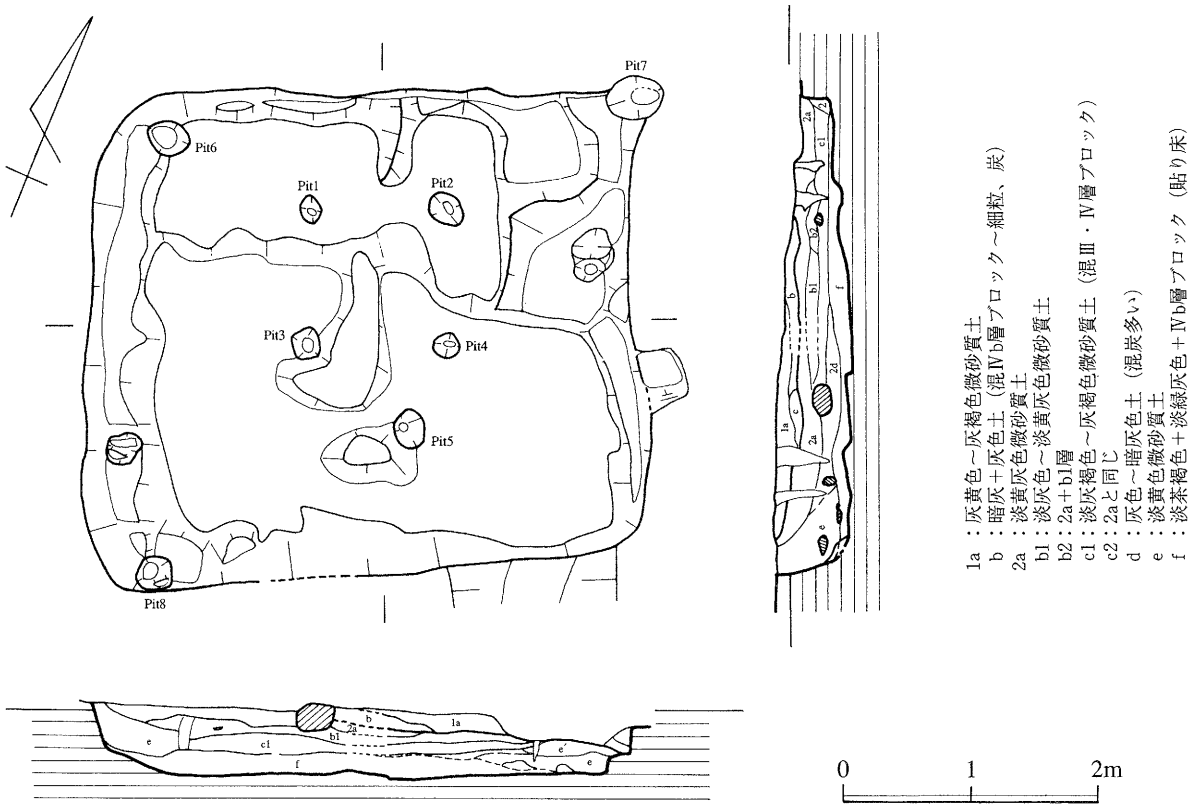


第６図　縄文～古墳時代　遺構分布図

ＳＡ-01（第７図）

長軸4.2～4.35ｍ、短軸3.64～3.92ｍの隅丸長方形を呈し、長軸は南西－北東方向に向く。掘削当初は深さ50～60㎝に荒削りされ、主柱穴４基（pit１～４）が北寄りに設置されてのち、10～15㎝厚の貼り床が施される。その結果、床面には2f層上面のフラットな面になる。主柱穴は直径20㎝内外、深さ20㎝内外を測り、南東隅を除くコーナーと中央やや南よりに補助的な柱穴（pit５、深さ20㎝）が穿たれる。pit６は深さ15㎝、pit７は深さ61㎝、pit８は深さ80㎝を測る。pit３－４－５あたりには炭化物が集中しており、屋内炉を想定させる。

出土遺物は全て流れ込みで相当量の土師器壷・甕・高坏・丹塗り高坏のほか、朱玉１点（**36**）、管玉１点（**37**）がある。朱玉は34×27㎜の楕円形を呈し、厚さ５～６㎜を測る。



第７図　ＳＡ-01　遺構実測図

ＳＡ-02（第8図）

Ⅰ・Ⅱ区の境、１号住居から西へ６ｍ離れた位置で検出。東西6.16ｍ、南北5.42～5.58ｍの方形を呈し、深さは、遺構面から30～42㎝を測る。床面は礫の多い地層で、主柱穴も判然としない。

pit１は１辺85㎝内外の略方形を呈し、深さは25㎝前後を測る。pit２は54×42㎝の楕円形を呈し、深さ25㎝を測る。pit３は41×47㎝の楕円形を呈し、深さ30㎝を測る。pit４は長軸1.51ｍ、短軸1.06ｍの不整備楕円形を呈し、長径70㎝の礫が埋っていた。pit５は直径18～20㎝の円型で、深さ23㎝を測る。pit６は直径28㎝内外の円形を呈し、深さ24㎝を測る。pit７・９は深さ10㎝あまりで、柱穴とは言い難い。pit８は西壁に接する半円形で、深さ23㎝を測る。

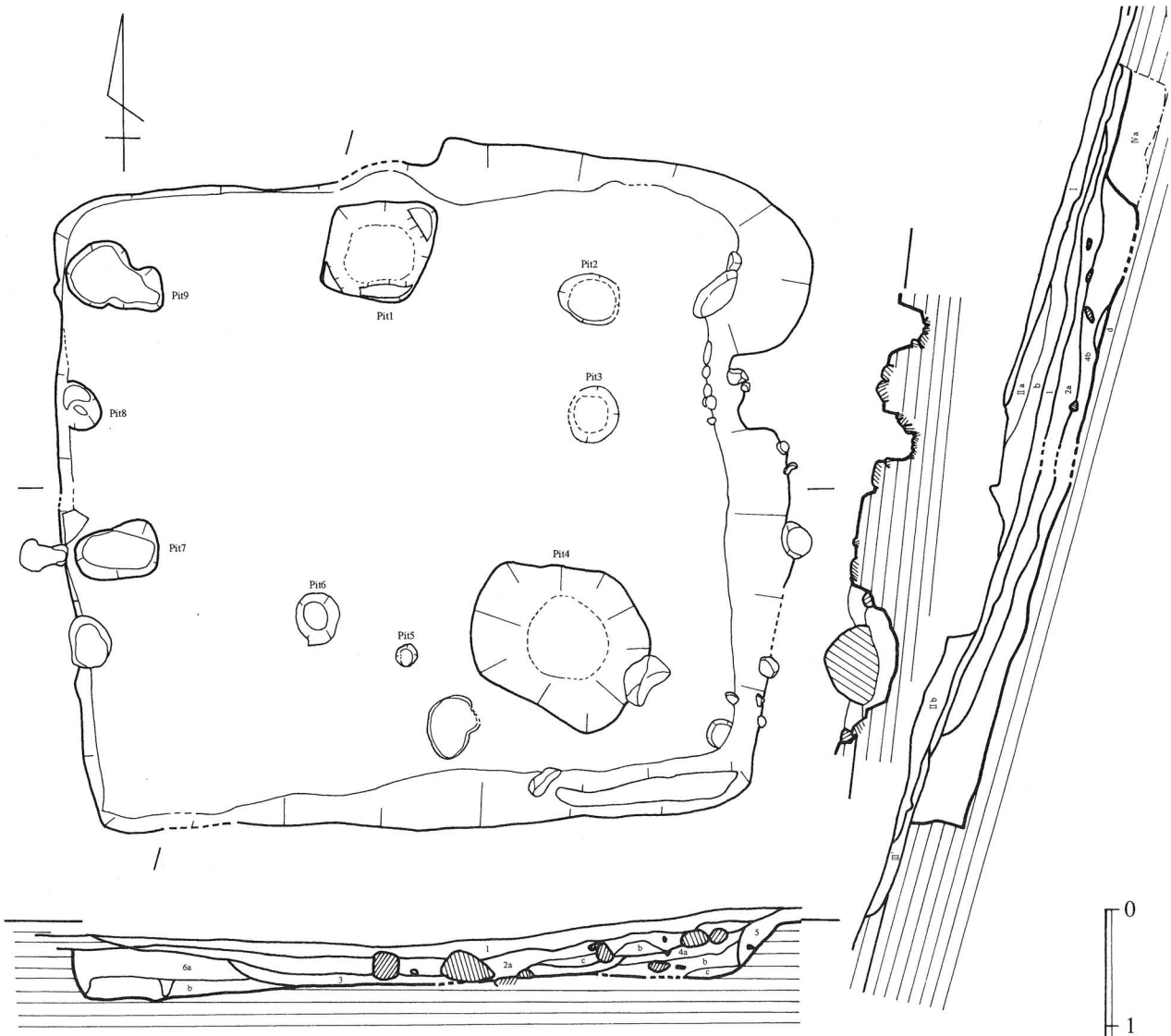
pit１と４は異常に大きく、住居構築以前の掘り込みの可能性があり、対角線上に並ぶpit３と６が主柱穴と思われる。

出土遺物は全て流れ込みで、大量の土師器や丹塗り土師器のほか、須恵器の瑳（**112**）とガラス小玉１点（**113**）が出土した。瑳は床面付近から出土したが、03号住居からも同一個体片が出土しており、住居の廃棄時期がほぼ同時期であることの証左となる。

当遺構の西側では須恵器の高坏（**205**）が出土しており、帰属性が高い。

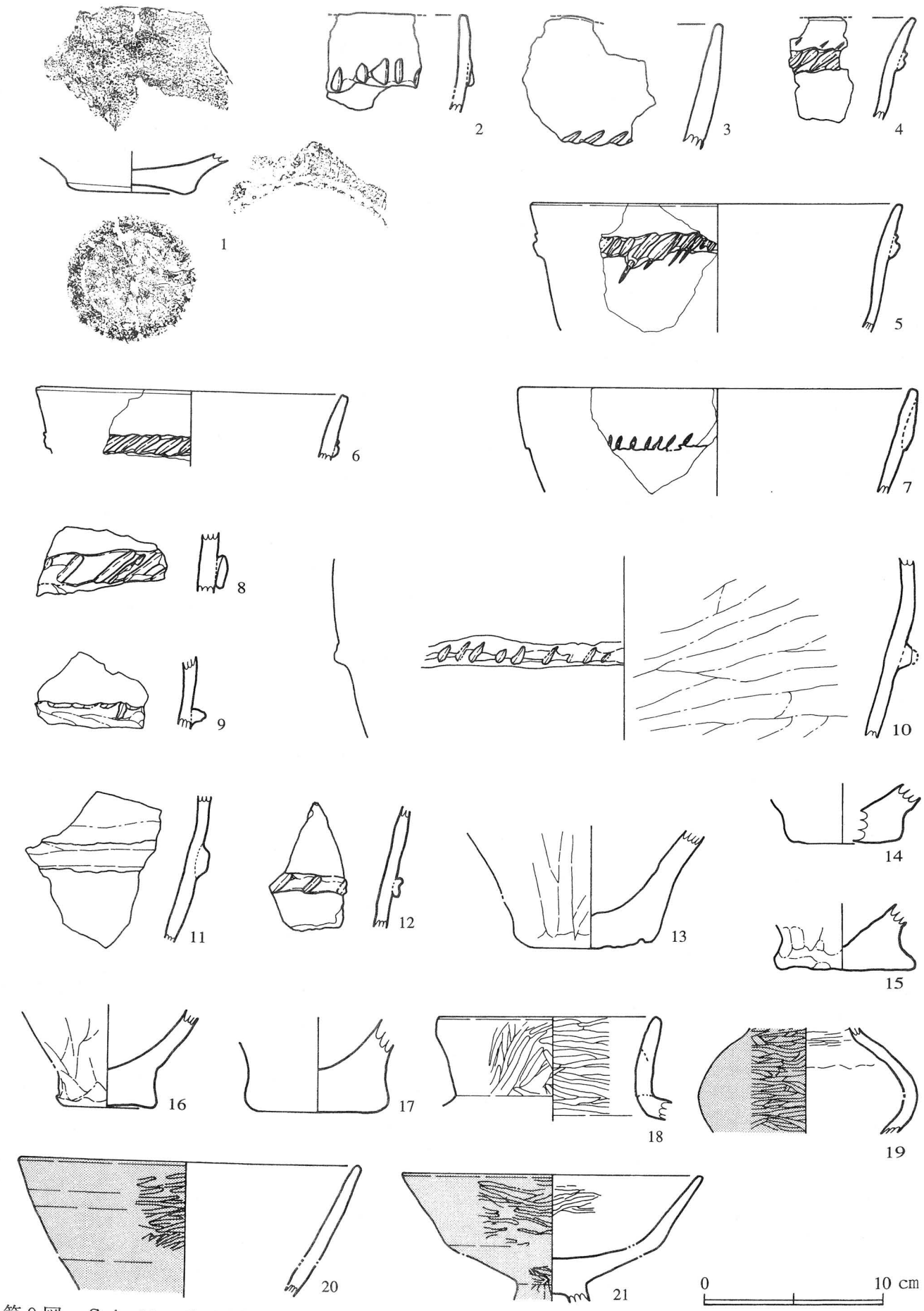
ＳＡ-03（第14図）

明瞭な掘り肩が検出されず、サブトレンチを入れながら２度の拡幅をした結果、長辺7.6～9.0m

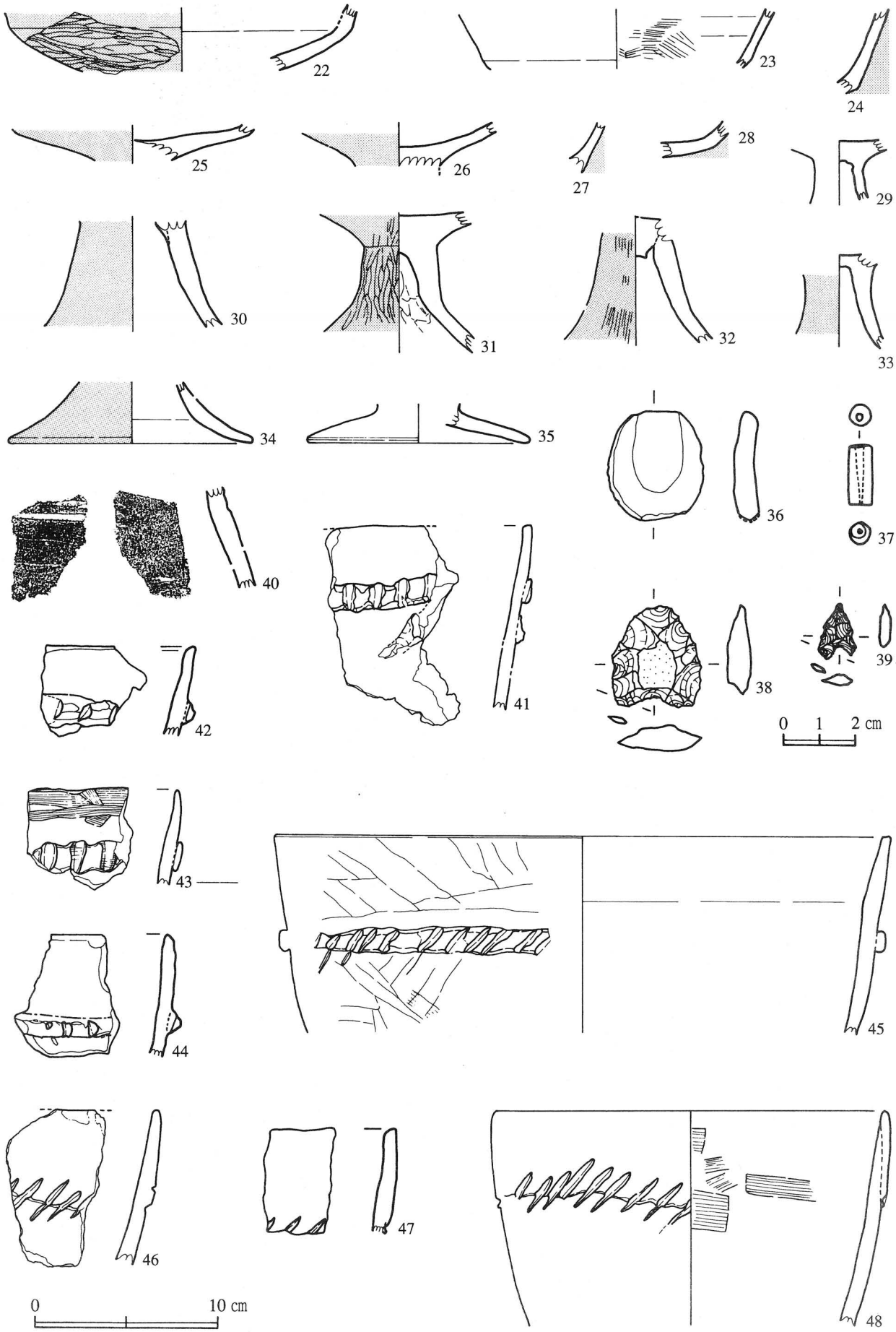


1 ：暗茶褐色＋茶褐色微砂質土
2a：灰褐色～暗茶褐色微砂質土～暗茶褐色～暗黄褐色
b：暗黄灰色微砂質土（混Ⅳa層ブロック）
c：2a＋2b層
3 ：淡黒灰色土＋暗茶褐色微砂質土（混炭多い）
4a：暗黄灰色＋淡灰褐色微砂質土（混Ⅳb層ブロック）
4b：黄灰色微砂質土（混Ⅳb層粒少量）
c：灰黄色微砂質土（混Ⅳb層粒微量）
d：淡茶褐色微砂質土（混Ⅳb層粒多量）
5 ：淡黄褐色微砂質土
6a：淡黄灰色微砂質土（混Ⅳb層ブロック）
b：Ⅳb層＋Ⅳa層（貼り床か）

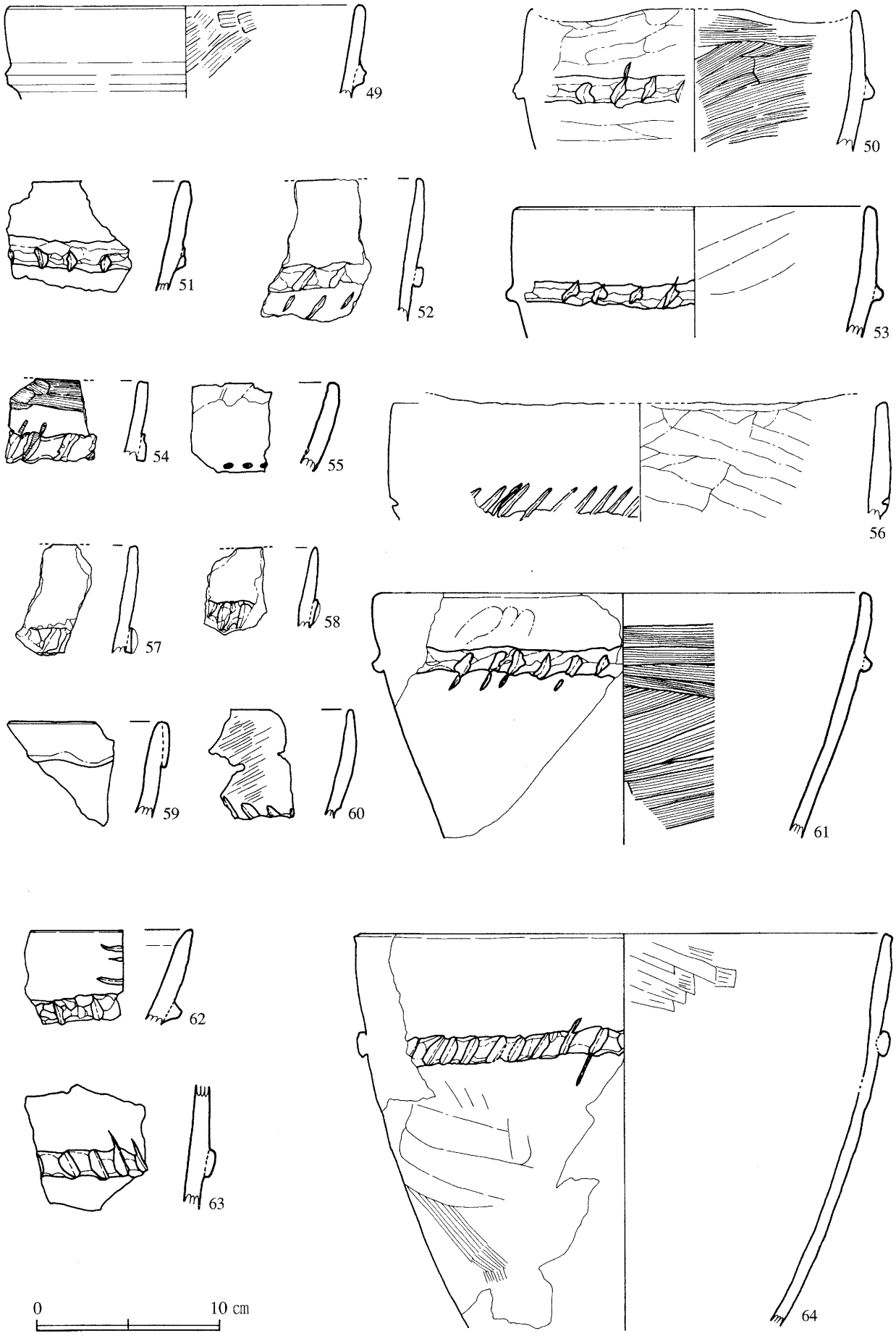
第８図　ＳＡ-02　遺構実測図



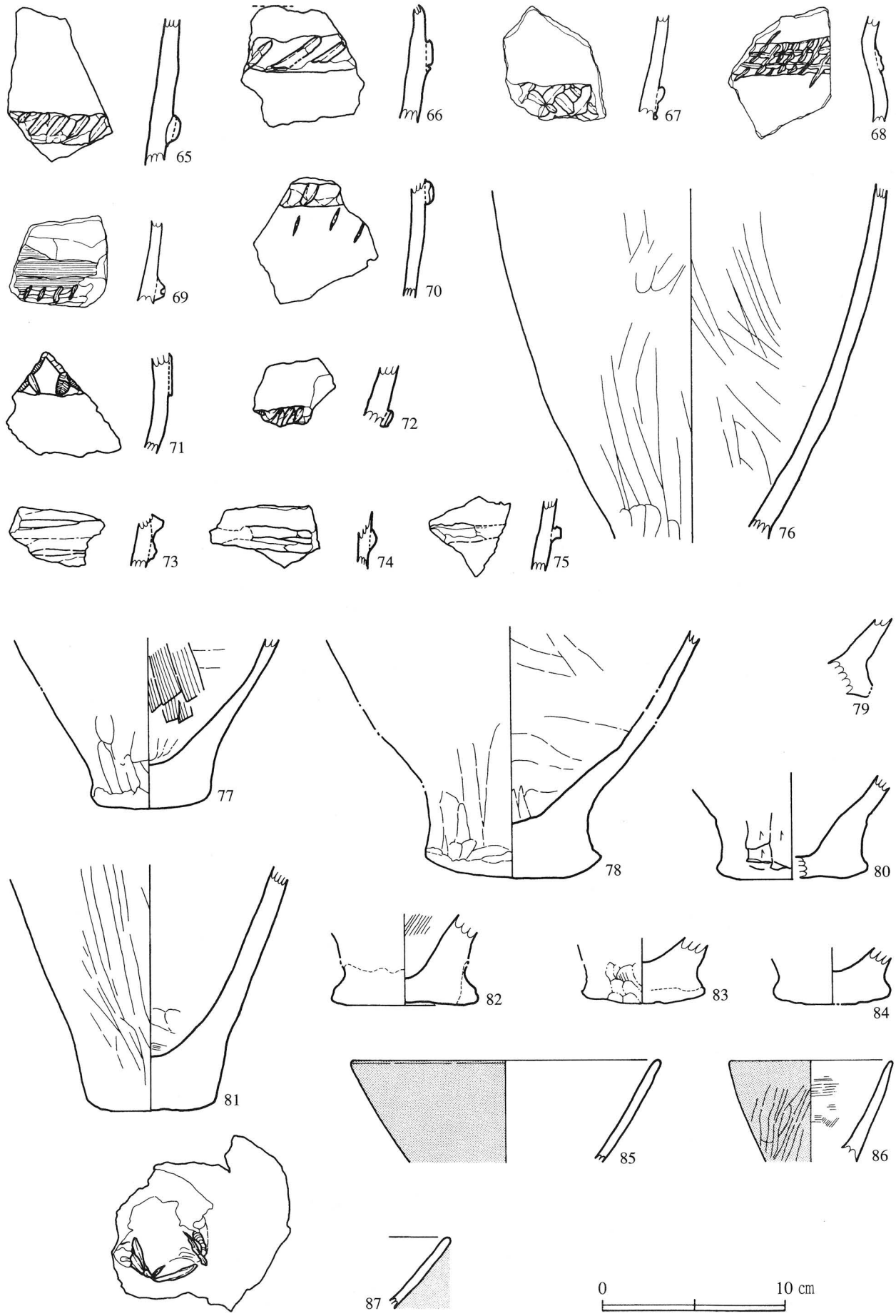
第９図　ＳＡ-01　出土遺物実測図（１）



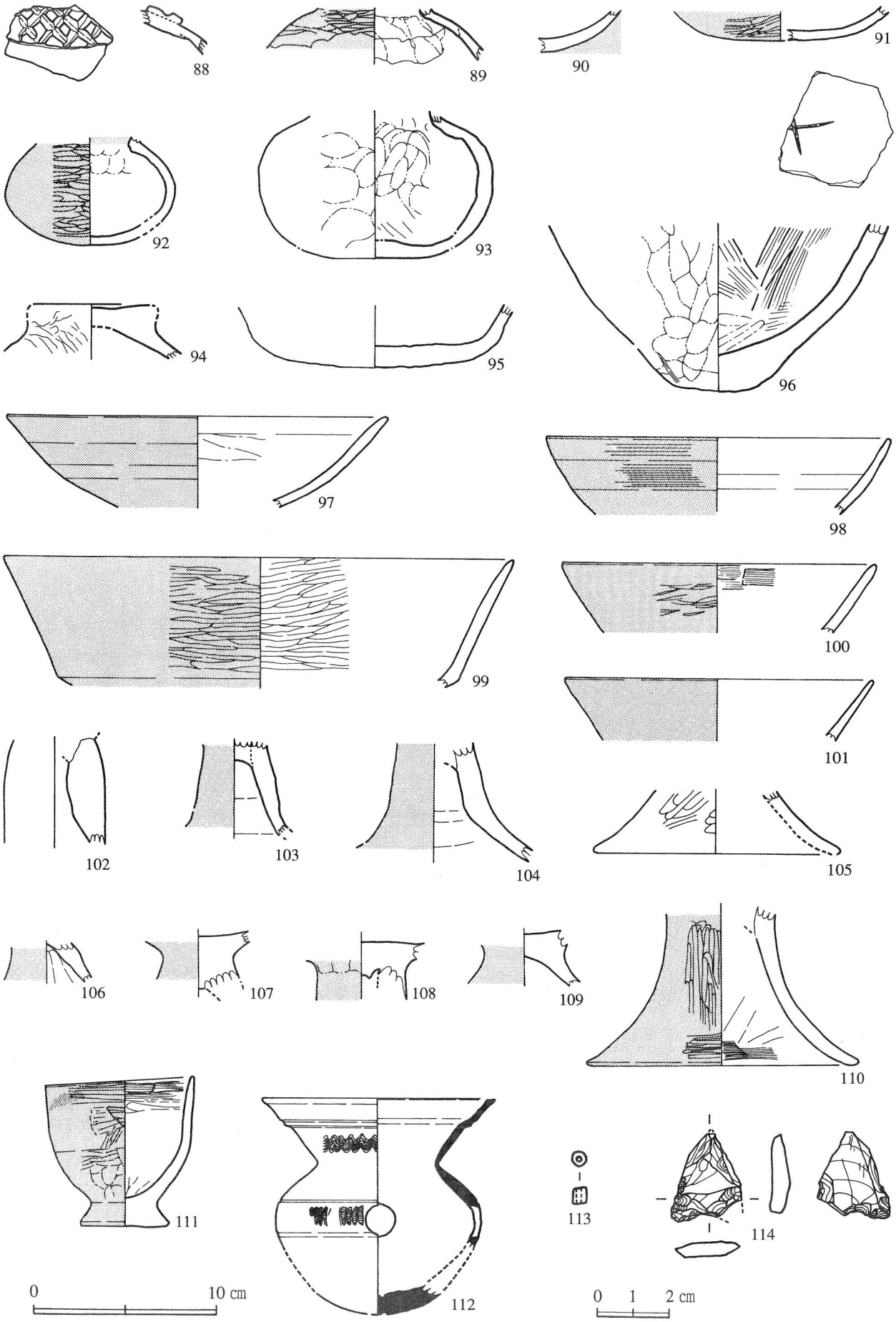
第10図　ＳＡ-01　出土遺物実測図（２）、ＳＡ-02　出土遺物実測図（１）　　22～39：**ＳＡ-01**



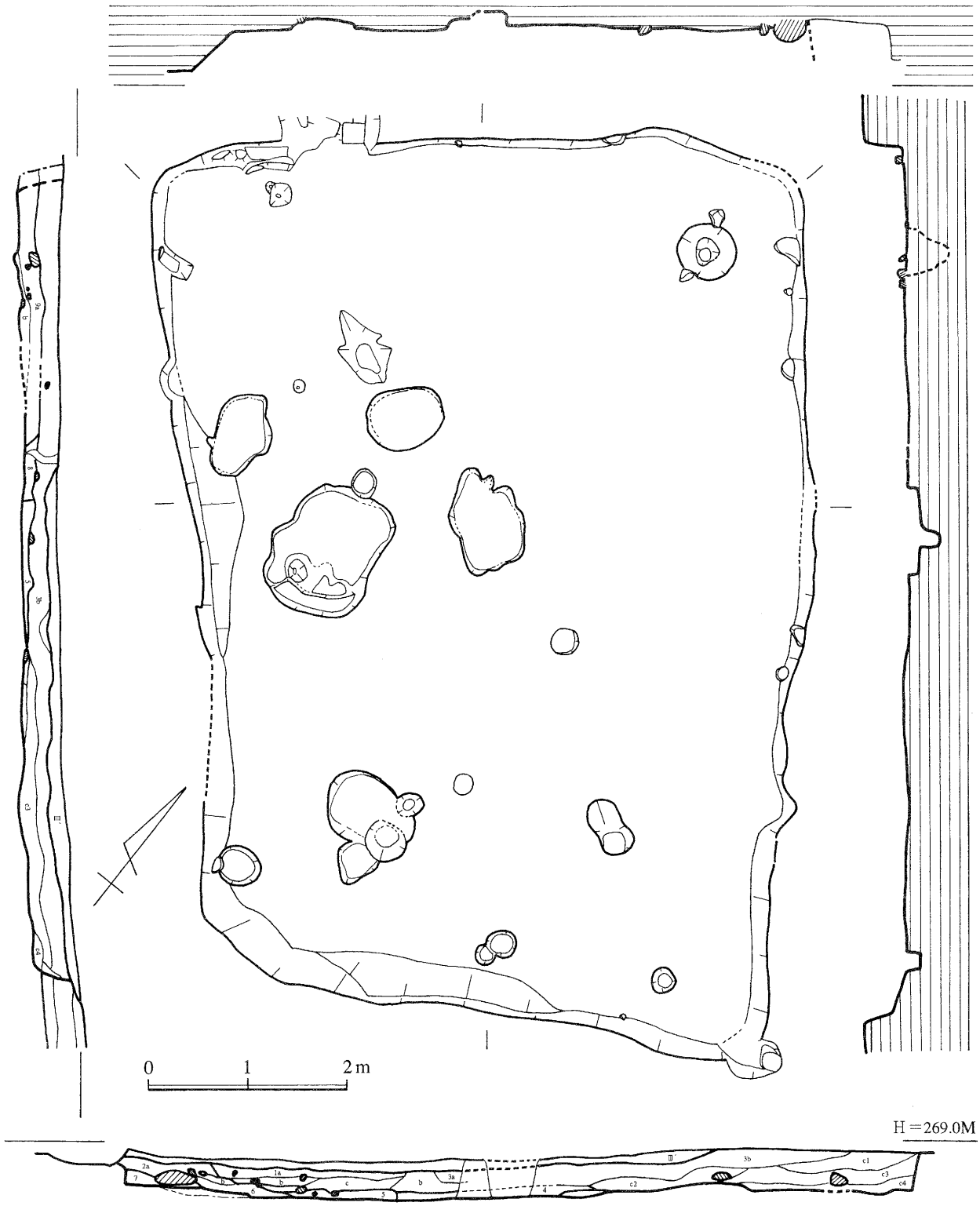
第11図　ＳＡ-02　出土遺物実測図（２）



第12図　ＳＡ-02　出土遺物実測図（.3）

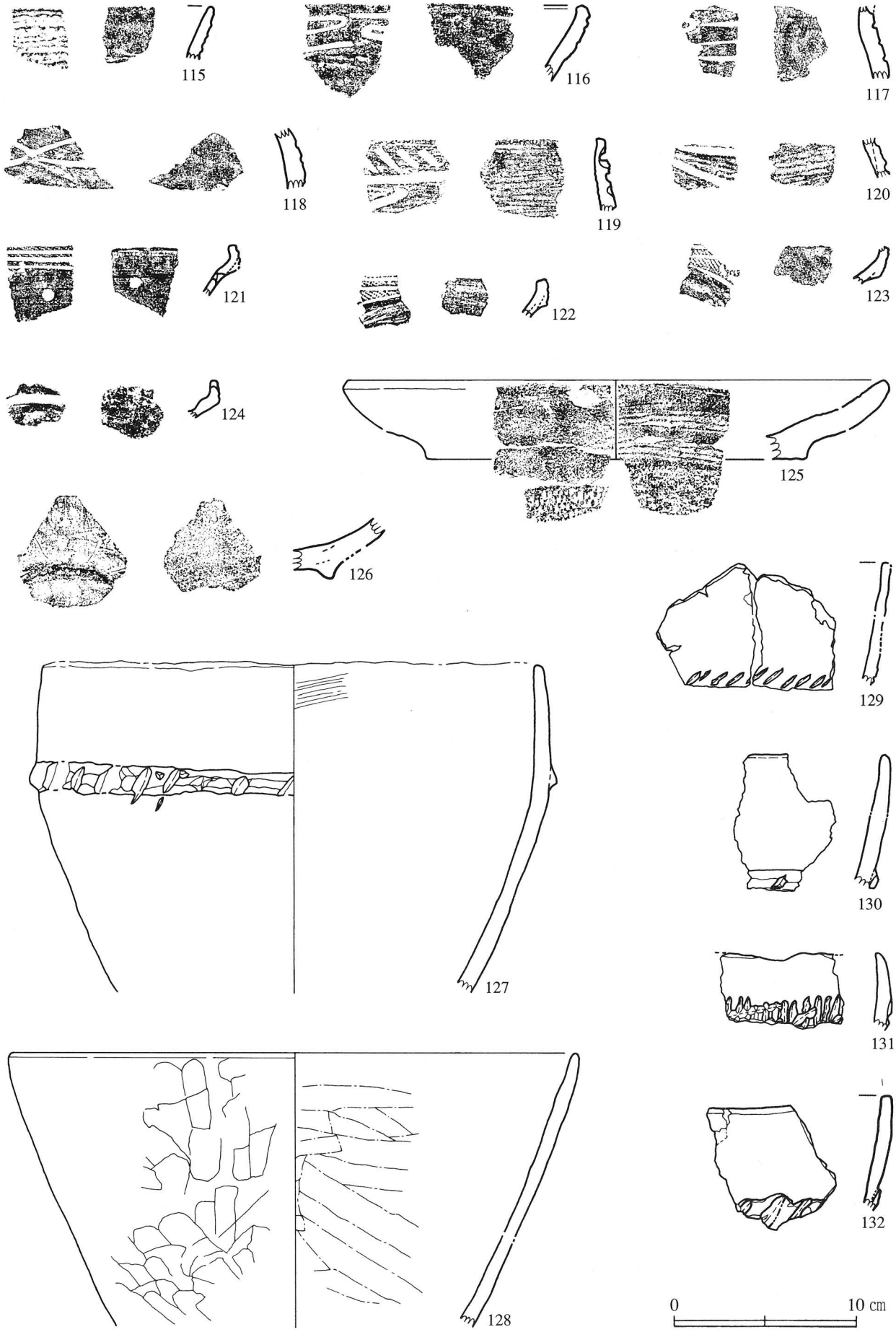


第13図　ＳＡ-02　出土遺物実測図（４）

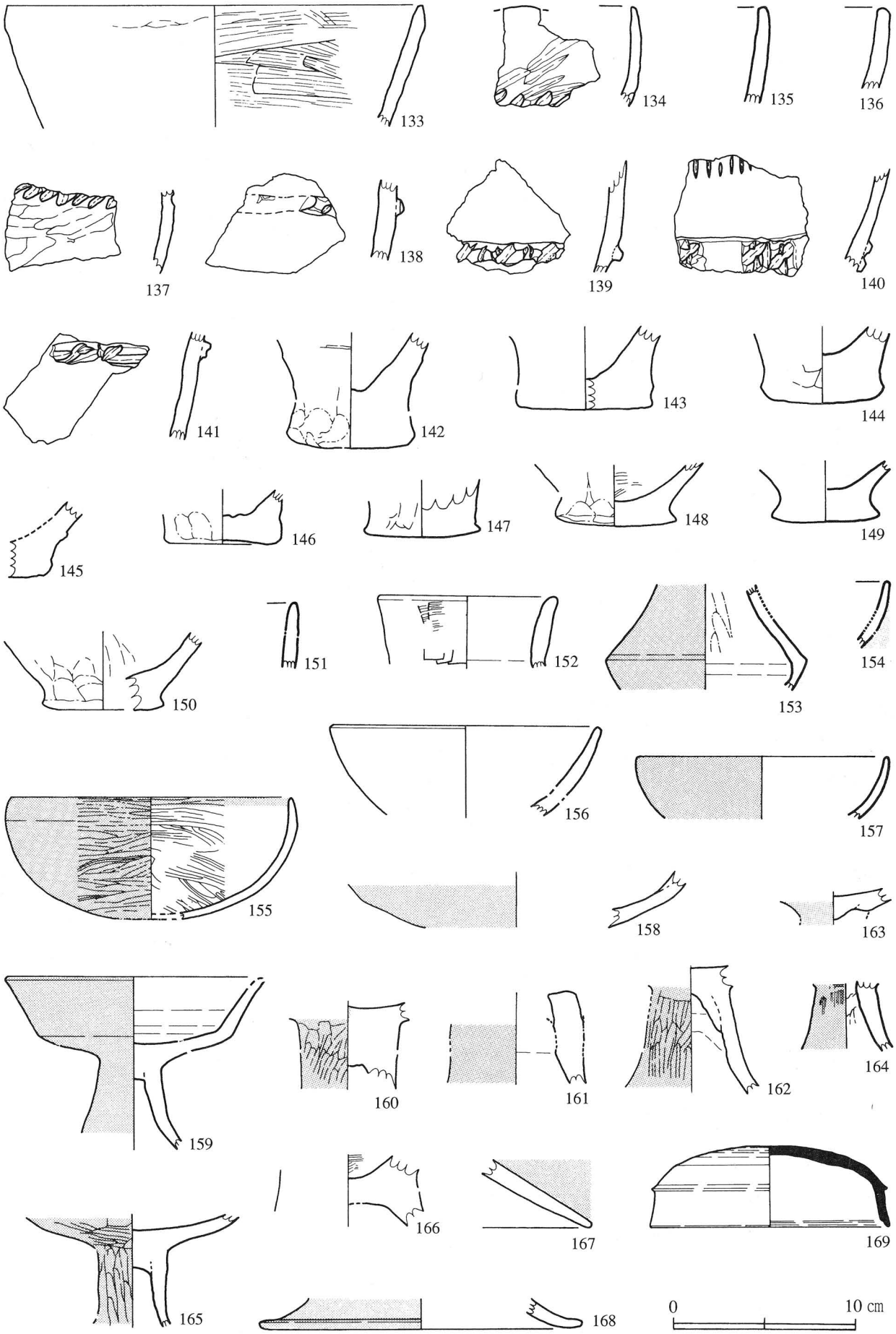


Ⅲ′：淡黒灰色土＋淡黄灰色微砂質土
1a：暗黄灰色微砂質土
b：暗黄褐色微砂質土
c：暗黄褐色～灰褐色微砂質土（混Ⅳb層粒）
2b：1cと同じ
b：暗黄褐色微砂質土（混Ⅳb層粒）
3a：Ⅲ′＋3b層
b：淡灰黄色微砂質土
3c1：淡灰黄色微砂質土（混Ⅳb層粒）
c2：灰色砂質土
c3：灰黄色微砂質土
c4：灰黄色～灰褐色微砂質土
4　：暗灰色～淡黒灰色土（混炭、Ⅳb層粒）
5　：灰色～暗黄灰色微砂質土
6　：灰色＋暗黄灰色微砂質土
7　：灰褐色微砂質土
8　：暗黄灰色～暗黄褐色微砂質土
9a：暗黄灰色微砂質土
b：8と同じ

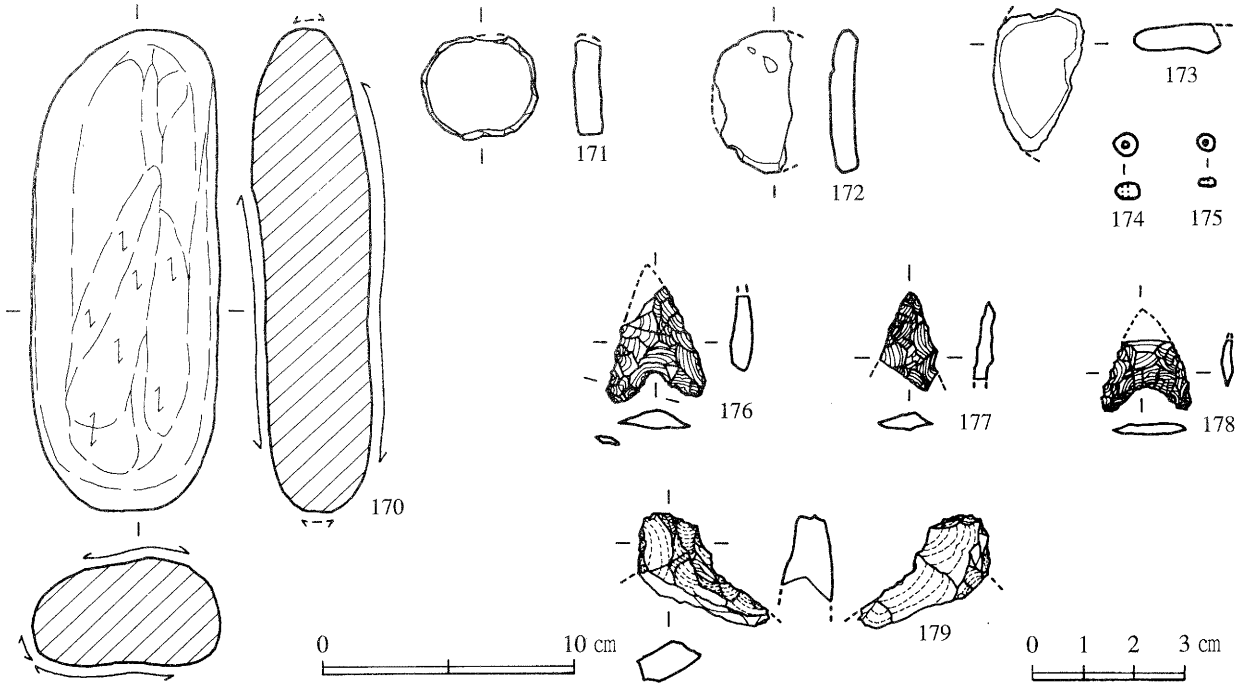
第14図　ＳＡ-03　遺物実測図



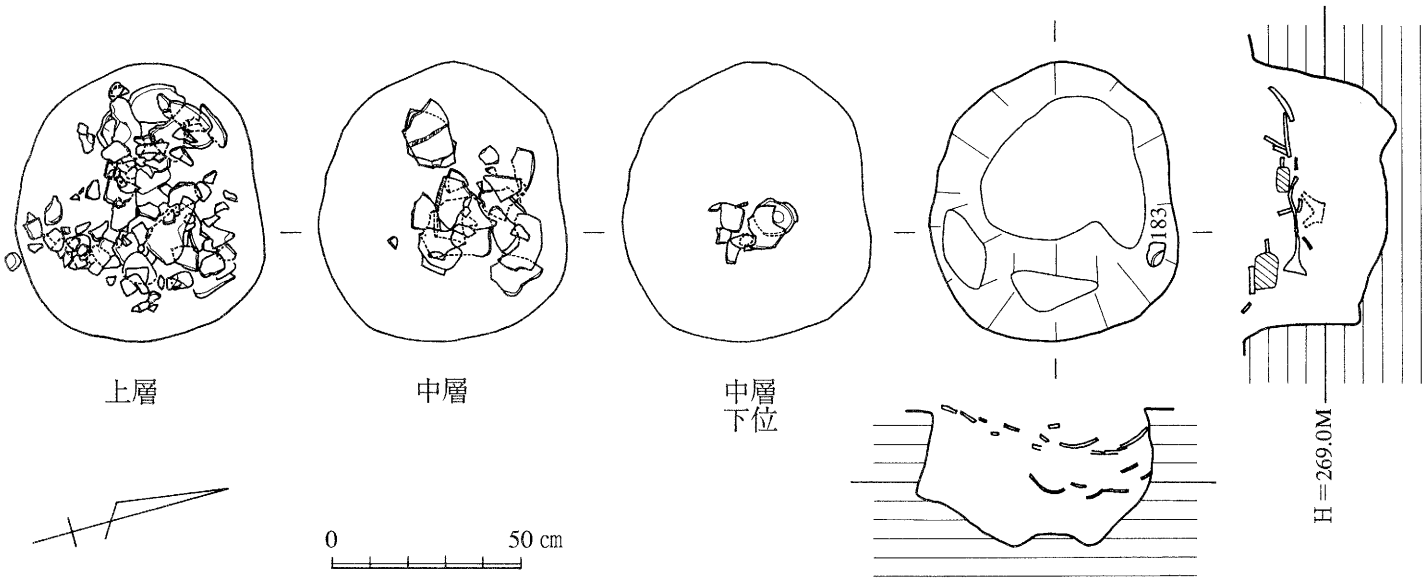
第15図　ＳＡ-03　出土遺物実測図（１）



第16図　ＳＡ-03　出土遺物実測図（２）



第17図　ＳＡ-03　出土遺物実測図（３）



第18図　ＳＫ-01　遺構実測図

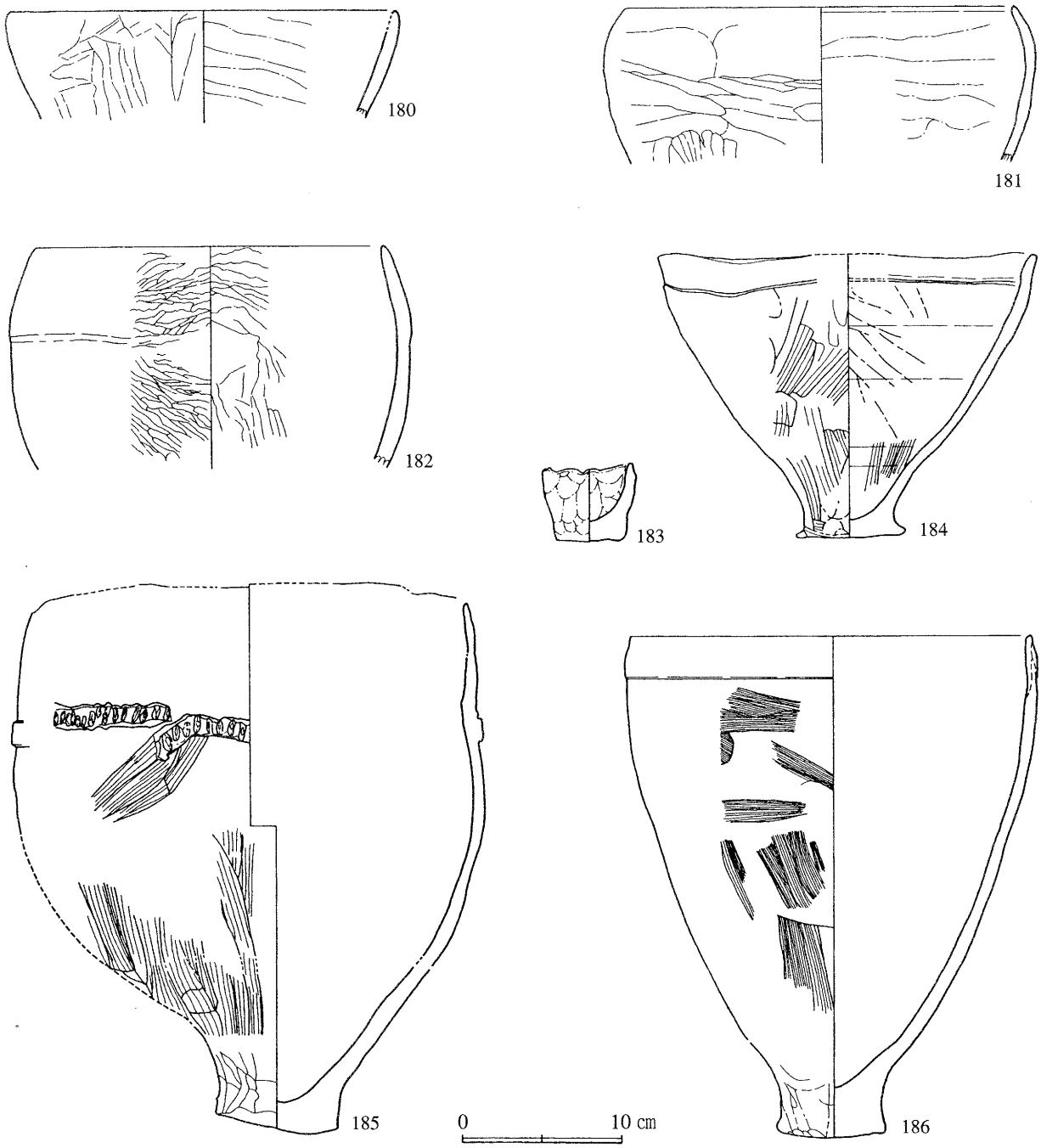
短辺5.8～6.6ｍの不整長方形を呈することがわかった。深さは40～50cmを測り、中央には炭を含む土層が広がり、不整形の炉址が検出された。

貼り床は無く、主柱穴も判然としない。

出土遺物は少なく、土師器と丹塗り土師器のほか、須恵器の坏蓋１点（**169**）・朱玉２点（**192・193**）とガラス玉２点（**194・195**）が出土している。

ＳＫ-01（第18図）

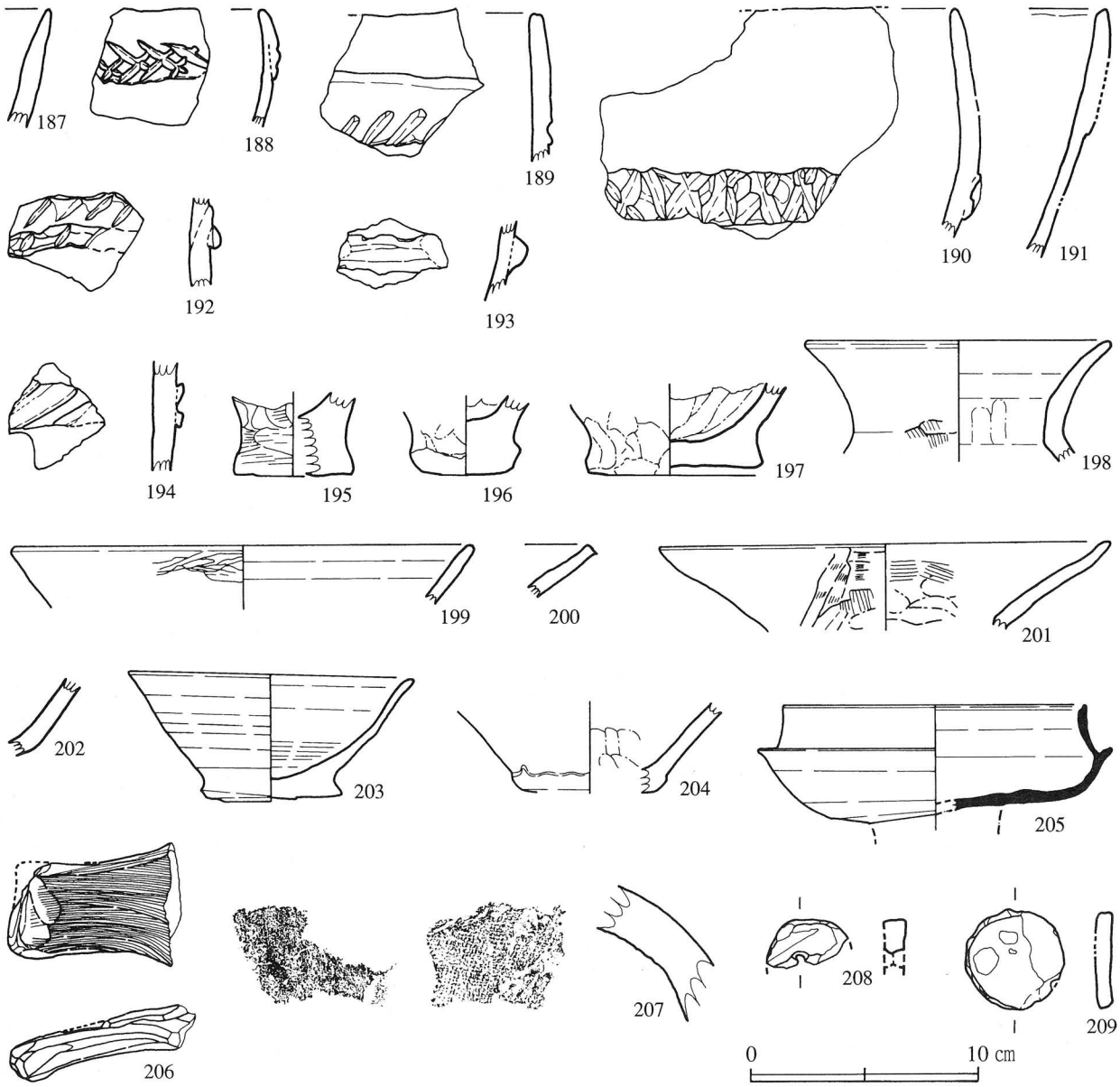
ＳＡ-01から南西へ5.8ｍ・ＳＡ-03西隅から西北西へ4.3ｍの地点で、土器溜めを検出した。



第19図　ＳＫ-01　出土遺物実測図

長径74㎝・短径63㎝の不整円形を呈し、最深部は37㎝を測る。底面には凹凸があり、粗掘りのまま機能している。

遺物は中位から上部に、大きく２回に分けられて投棄された状態である。接合すると、完形に近い甕３点（**184～186**）と、甕の口縁部（**180～182**）に復元された。壁面中位には、廃棄前に祭祀をしたと思われる手捏ね土器（**183**）がめり込むように入っていた。



第20図　調査区出土遺物実測図

第５節　縄文時代

縄文土器を含むⅣa層に酷似する覆土の土坑が存在するので、Ⅳa層を若干掘り下げて精査したところ、約70基の土坑を検出した（第６図）。

土坑は、ＳＫ-12・26・31・40・42・58のような長径５ｍ前後の大型タイプ、ＳＫ-17・20・56・63・64・66のような長径２ｍ前後の中型タイプ、ＳＫ-13・49周辺に多い長径80㎝前後の小型タイプがある。西側のⅣ層には大量の礫が混ざるので、遺構が少ない。

ＳＫ-12（第21図）

長さ４ｍ、幅1.4～1.6ｍの不整楕円形を呈する。最深部は中央部で90㎝を測り、北寄りに長さ1.6ｍ程の平坦面がある。南側は約20度の傾斜で、出入りの為に緩やかに掘削してある。

出土遺物は少なく30点あまりが散在し、全て流れ込みと思われる。図化できたのは４点（第24図**210・212・214・216**）である。210は前期の深浦式系の深鉢で、破片数点が覆土から出土し、他のⅣａ層出土の破片と接合した。後期後半の遺構と思われるが、機能は不明である。

ＳＫ-26（第21図）

ＳＡ-03内中央部で検出した、長さ5.5ｍ・幅1.4～２ｍの楕円形を呈する。最深部は北寄りにあり、86㎝を測る。底面平坦面は1.2ｍほどである。南は10度位の緩やかな傾斜であるが、東～北側にかけては急角度の掘り込みである。

出土遺物は少なく、４点（**236～239**）を図化した。全て流れ込みであり、後期後半の遺構と思われるが、機能は不明である。

ＳＫ-31（第21図）

ＳＡ-03に南端部を切られている。残存長は4.4ｍ、幅は１～1.4ｍを測り、長楕円形を呈する。最深部は北端にあり70㎝を測るが、底面は一様でなく、４～５基の土坑が重複していた可能性もある。出土遺物は、微量の土器片がある。

ＳＫ-40（第22図）

長径4.64ｍ・短径2.4ｍの楕円形を呈し、大小10個あまりの柱穴を有する。最深部は68㎝を測るが、底面は一様ではない。

出土遺物はやや多い（**242～253**）が、流れ込みである。

ＳＫ-41（第22図）

検出長は３ｍあまり、幅は3.6～4.6ｍ、最深部は90㎝を測る。東半部は一段下げられ北に向かって深くなる。

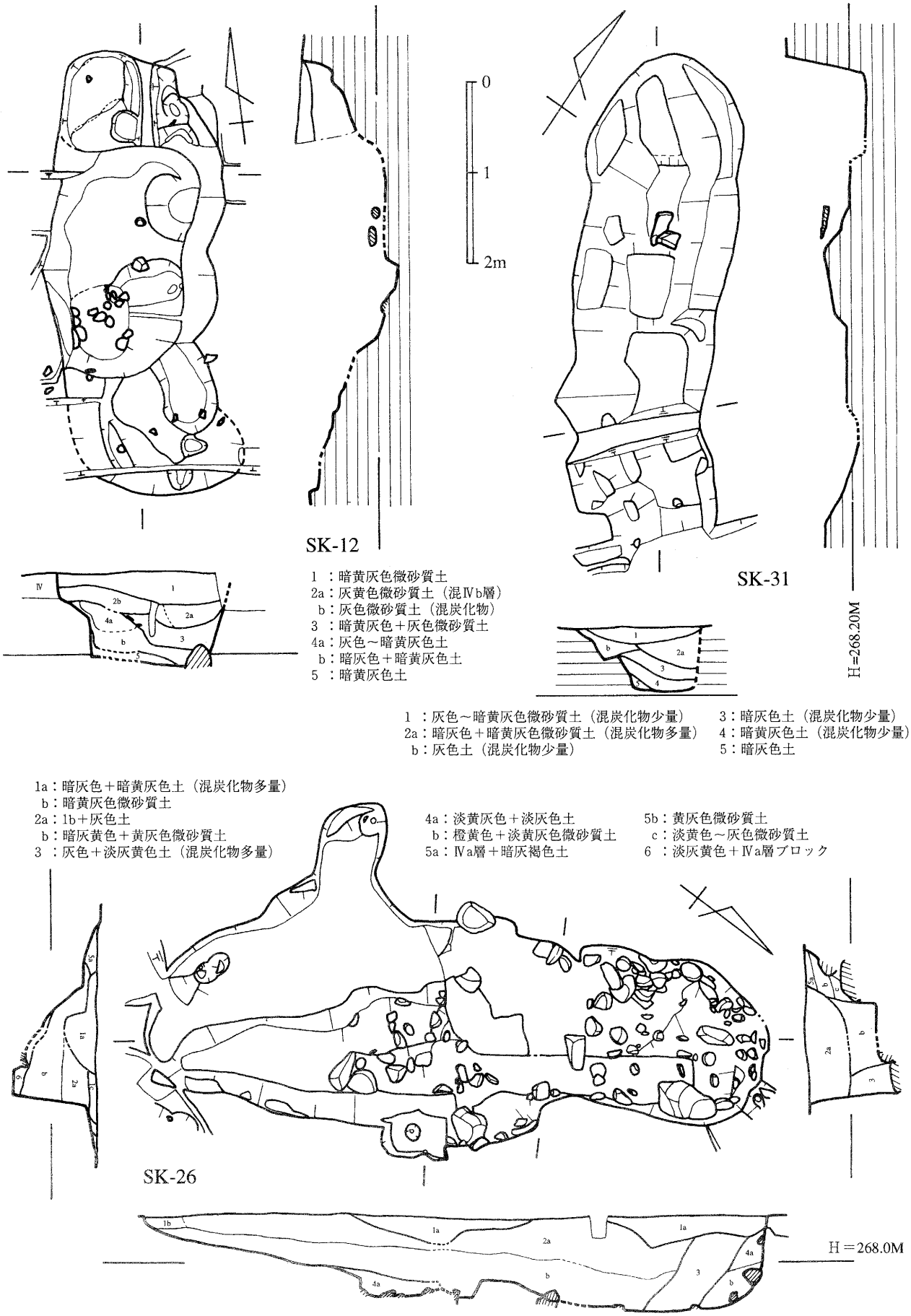
出土遺物は微量で、図化していないが、後期後半の所産と思われる。

ＳＫ-13（第23図）

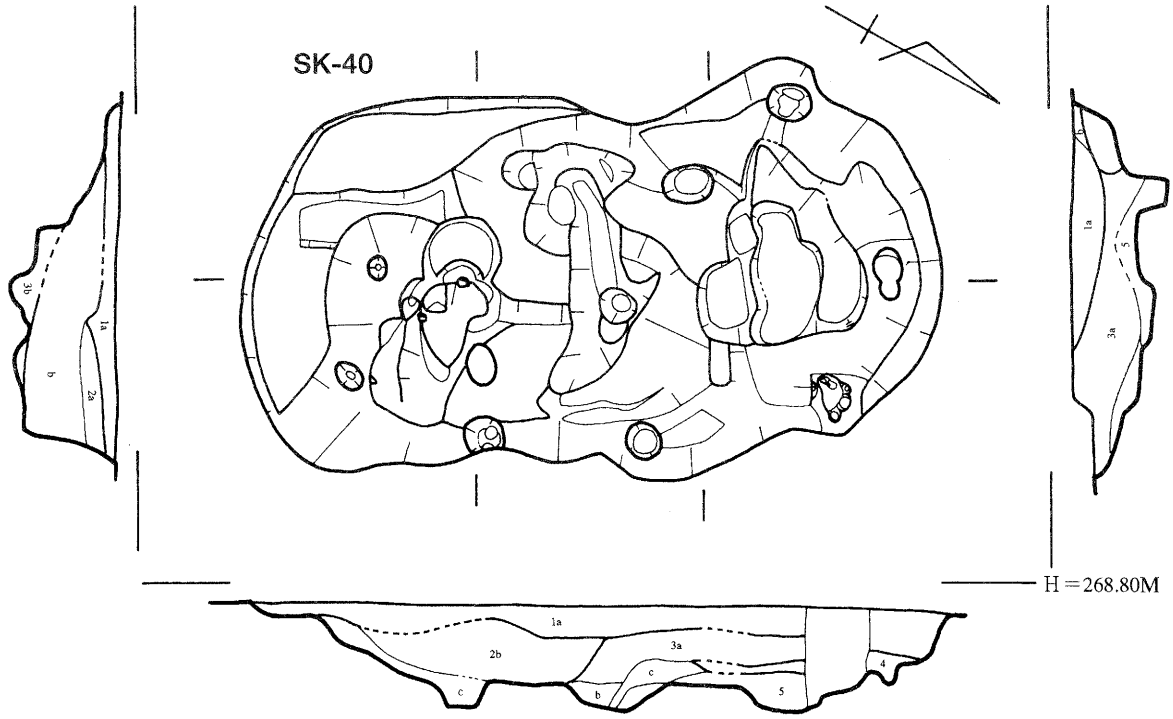
直径１ｍ前後の不整円形を呈し、深さ50㎝内外を測る。南側の壁は袋状を呈し、土坑の中で唯一貯蔵穴と推定できる遺構である。出土遺物は流れ込みであるが、５点（**213・215・217・218・221**）の土器と磨製石斧１店（**442**）などが出土し、後期後半の遺構と思われる。

ＳＫ-25（第23図）

１辺1.2ｍ前後の隅丸略方形を呈し、深さ70～76㎝を測る。底面には、不整形な小pitがある。出土遺物は少ないが、丹塗りの台付皿などが出土している。形状から、貯蔵穴の可能性がある。



第21図　ＳＫ・11・26・31　遺構実測図

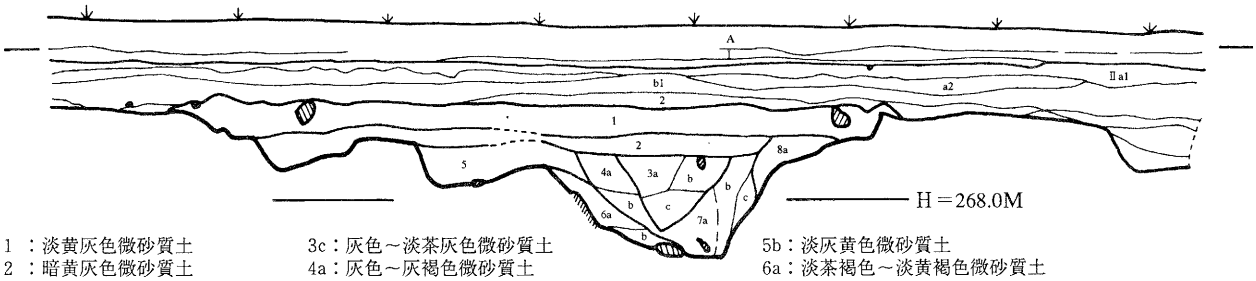


1a：暗黄灰色＋淡黄灰色微砂質土（混Ⅳb層ブロック）
b：暗黄灰色微砂質土

2a：淡灰黄色微砂質土
b：暗灰色～灰色微砂質土（混Ⅳb層粒、炭多い）
c：黄灰色微砂質土
3a：灰黄色＋淡黄灰色微砂質土（混Ⅳ層ブロック）

3b：灰黄色～淡黄灰色微砂質土
c：淡黄色～淡黄灰色微砂質土
4 ：淡灰色～淡灰黄色微砂質土
5 ：Ⅳ層＋4

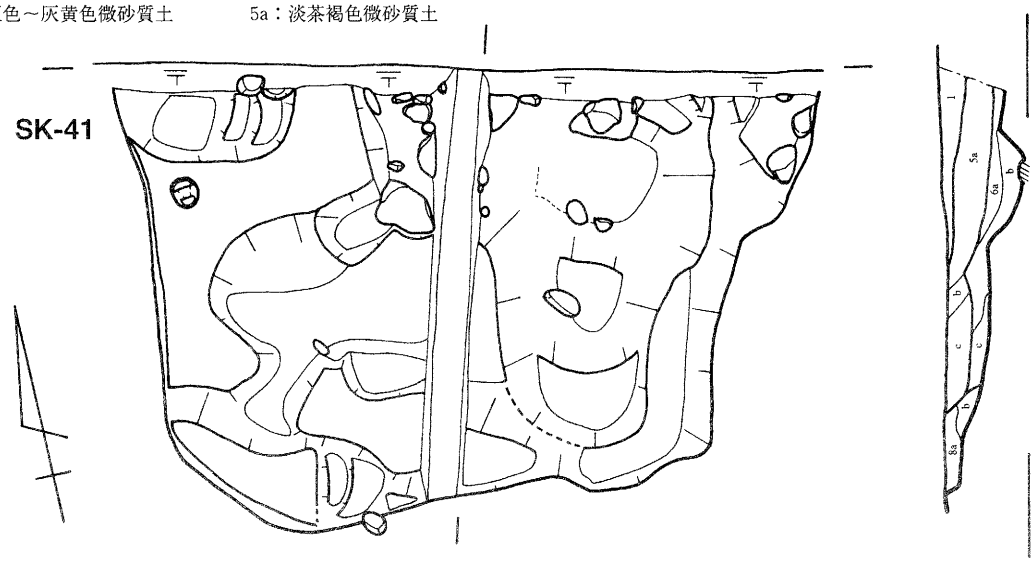
0　1　2m



1 ：淡黄灰色微砂質土
2 ：暗黄灰色微砂質土
3a：2と同じ（混Ⅳb層ブロック）
b：灰色～灰黄色微砂質土

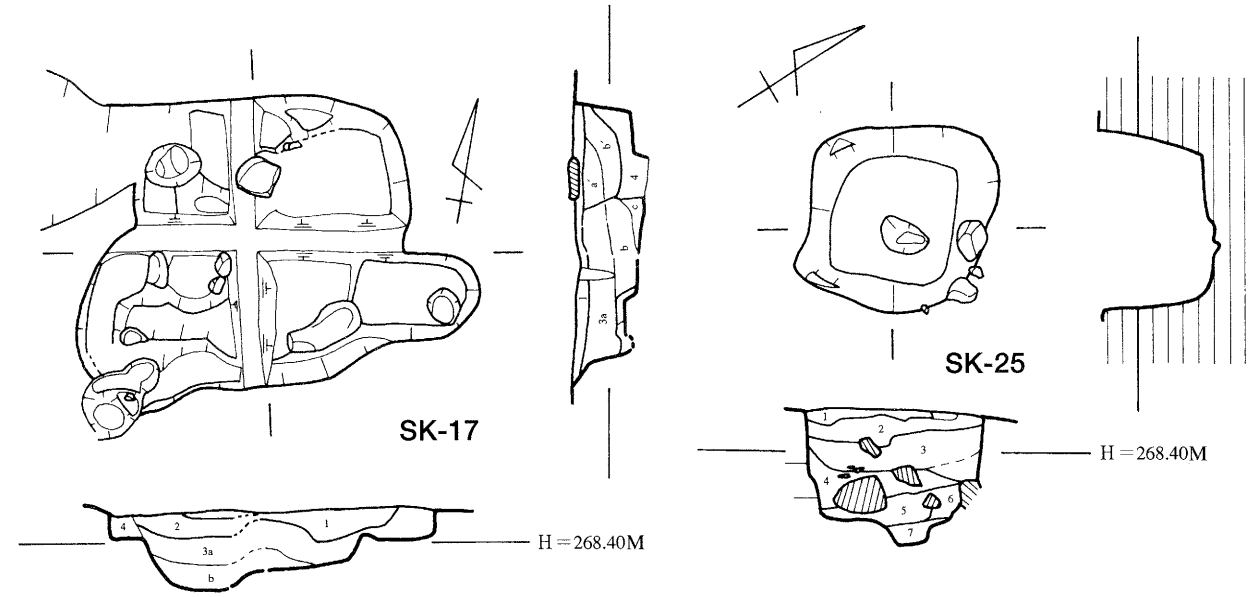
3c：灰色～淡茶灰色微砂質土
4a：灰色～灰褐色微砂質土
b：暗灰褐色微砂質土
5a：淡茶褐色微砂質土

5b：淡灰黄色微砂質土
6a：淡茶褐色～淡黄褐色微砂質土
b：暗茶褐色微砂質土



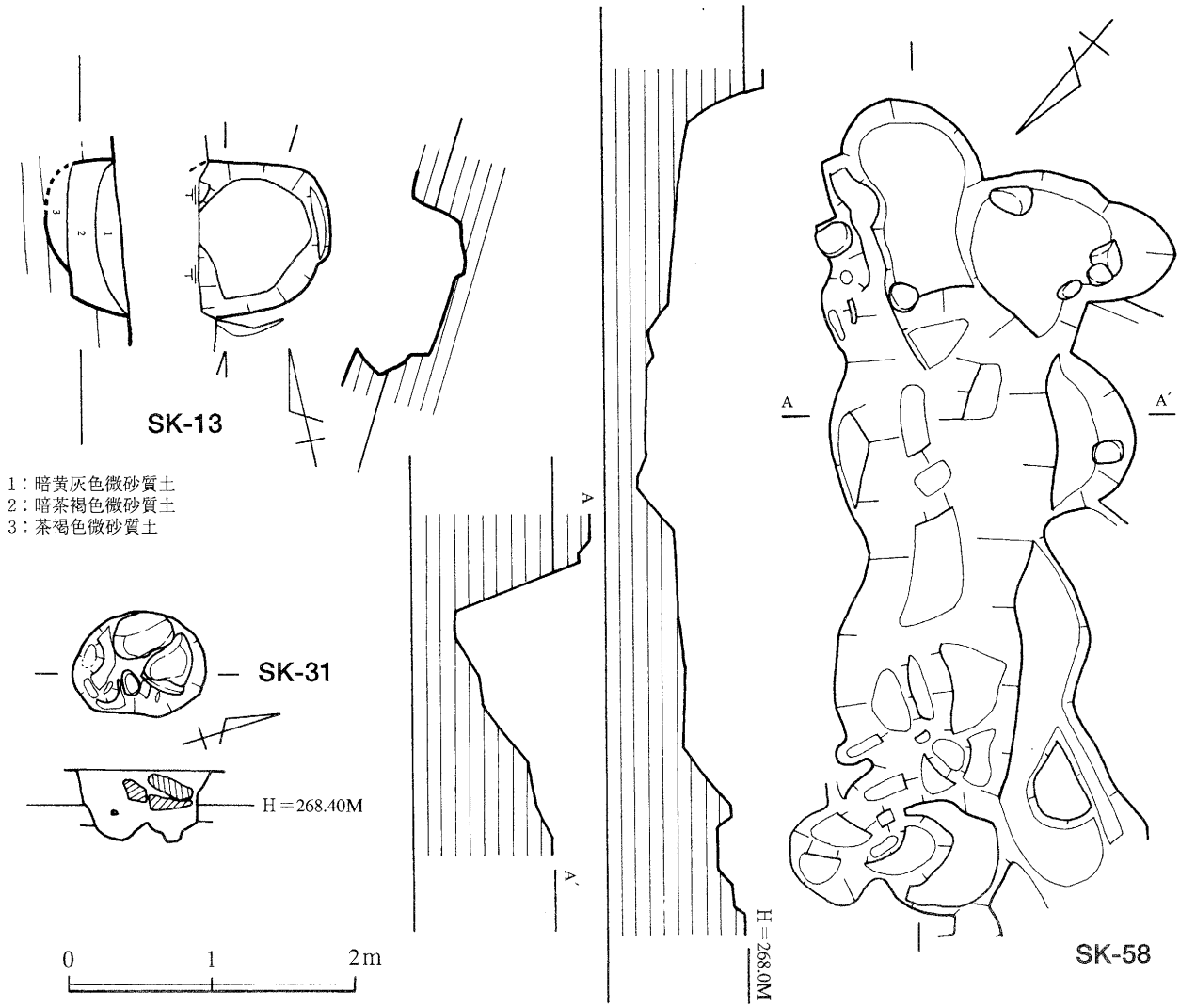
7a：暗褐灰色微砂質土
b：淡黄灰色＋淡茶灰色微砂質土
c：淡茶灰色微砂質土
8a：淡灰黄色微砂質土
b：淡黄色～淡黄灰色微砂質土

第22図　ＳＫ-40・41　遺構実測図



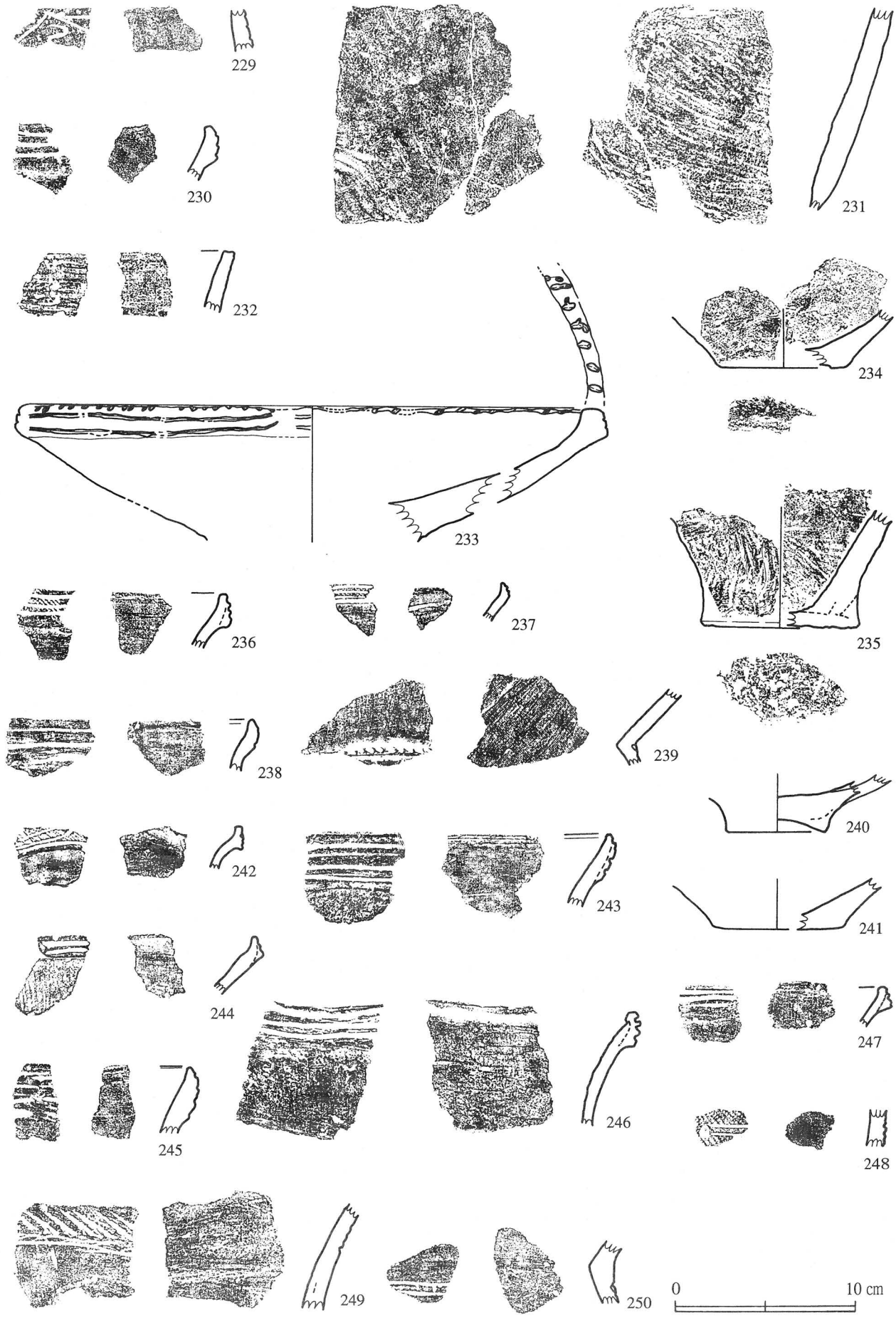
1 ：灰黄色微砂質土
2 ：Ⅳa層ブロック＋暗黄灰色微砂質土
3a：暗灰黄色＋灰黄色微砂質土（混Ⅳa・b層ブロック）
b：暗灰黄色微砂質土
c：灰黄色微砂質土
4 ：Ⅳa層＋暗灰黄色微砂質土

1：暗黄灰色微砂質土
2：暗灰色～暗灰褐色微砂質土
3：暗黄灰色～茶褐色微砂質土
4：暗黄灰色微砂質土（混炭化物多量）
5：暗灰褐色微砂質土
6：橙黄色微砂質土
7：灰褐色微砂質土（混粗細砂）

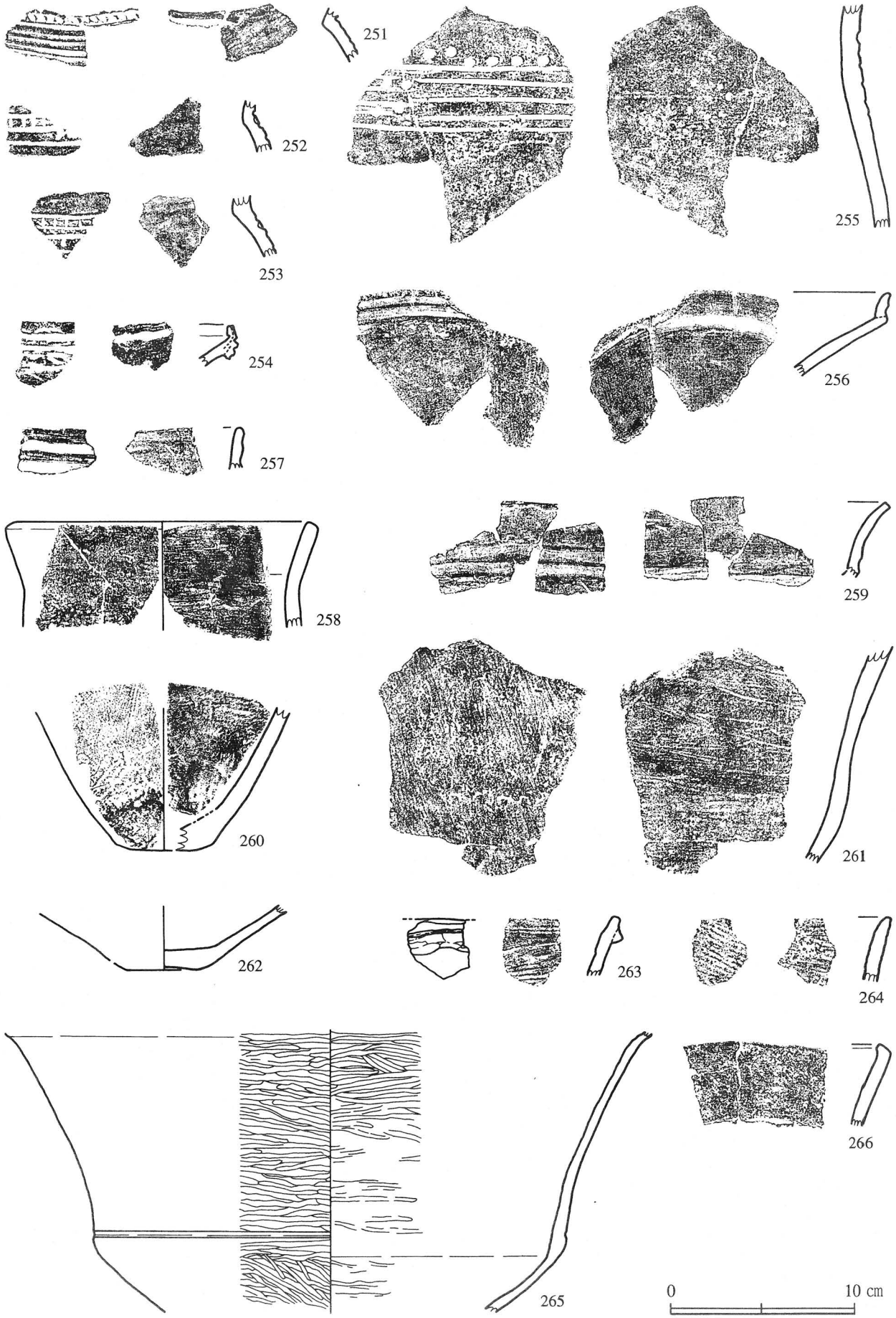


第23図　ＳＫ-13・17・25・31・58　遺構実測図

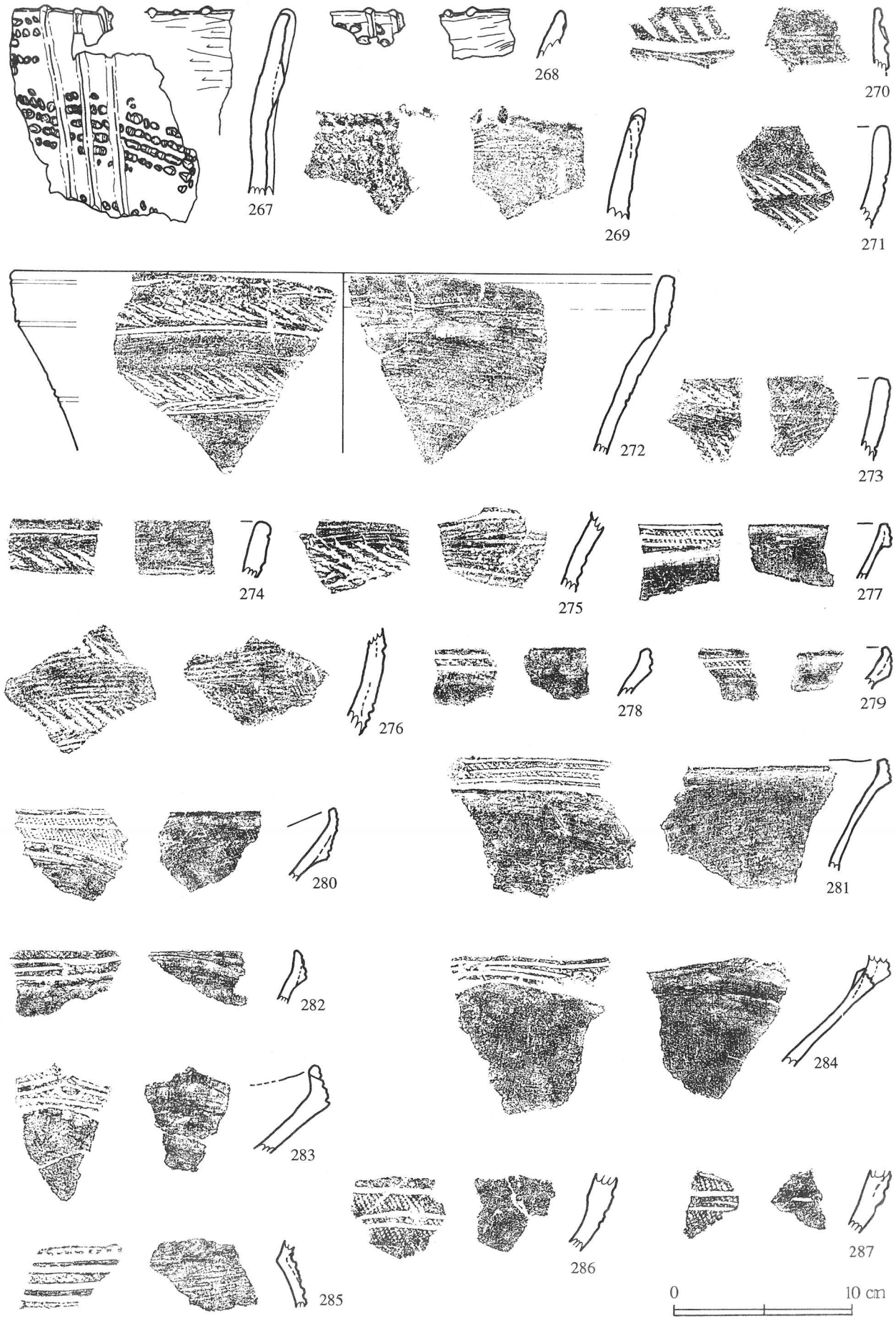
第24図　ＳＫ出土　縄文土器実測図（１）



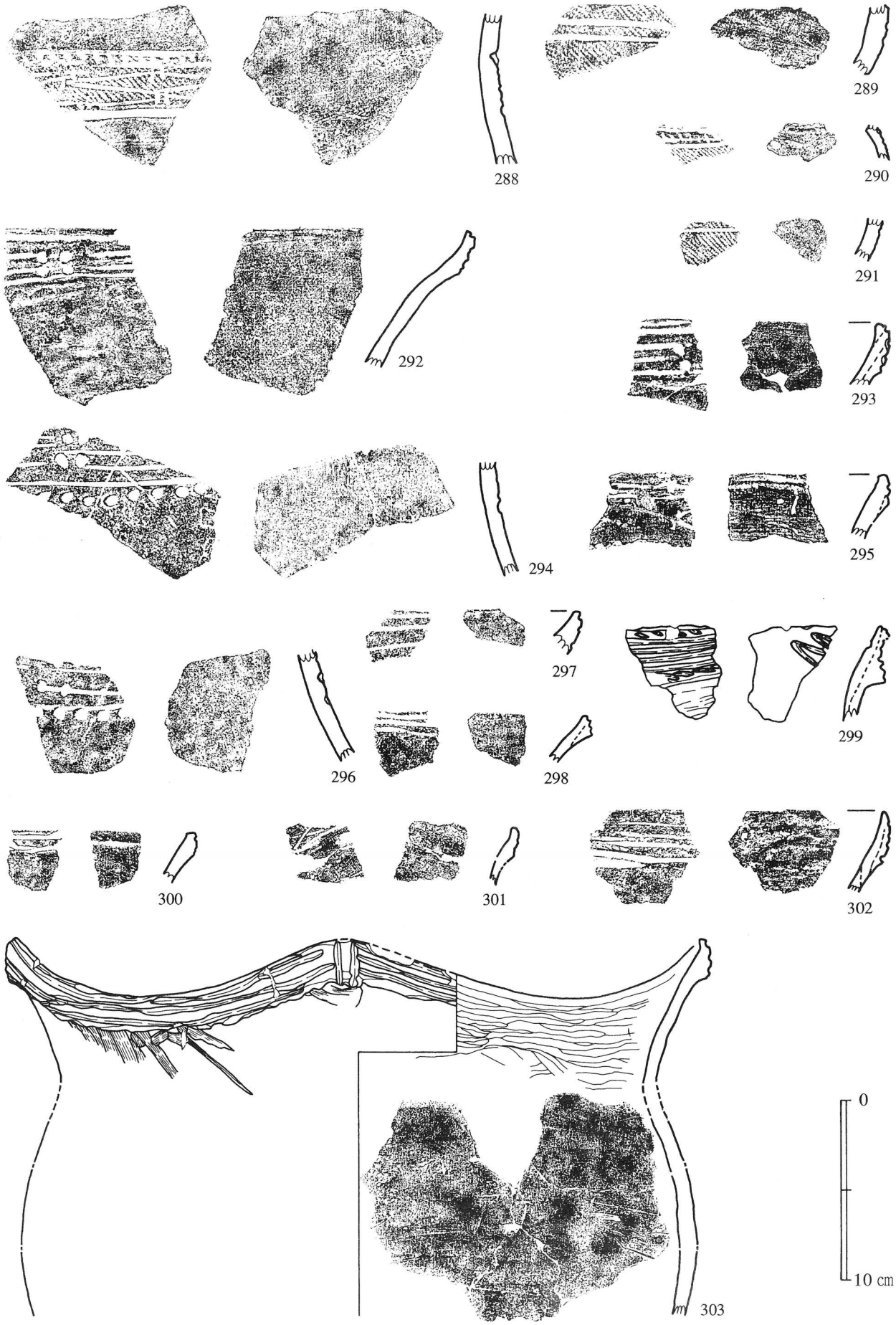
第25図　ＳＫ出土縄文土器実測図（２）



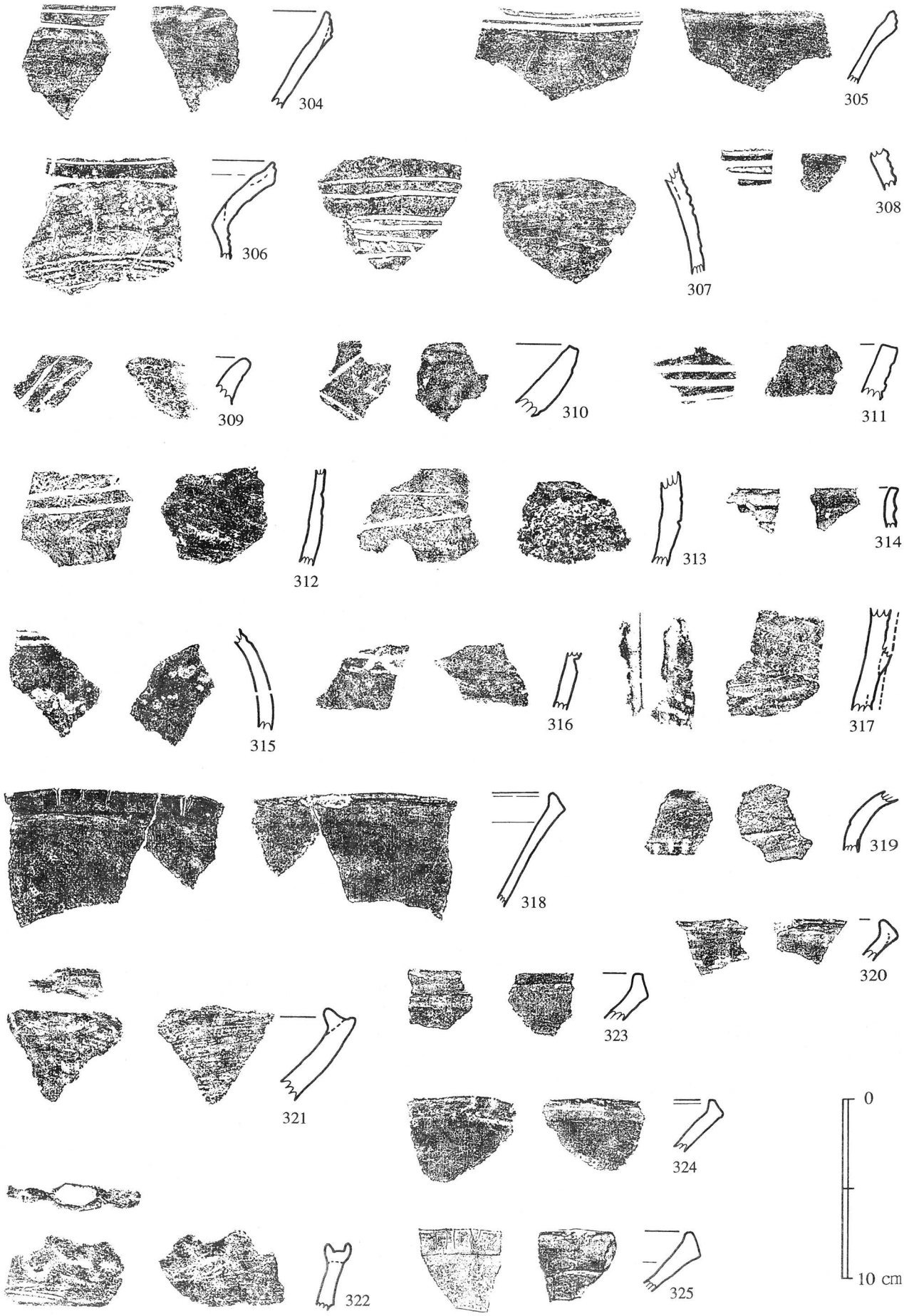
第26図　ＳＫ出土縄文土器実測図（３）



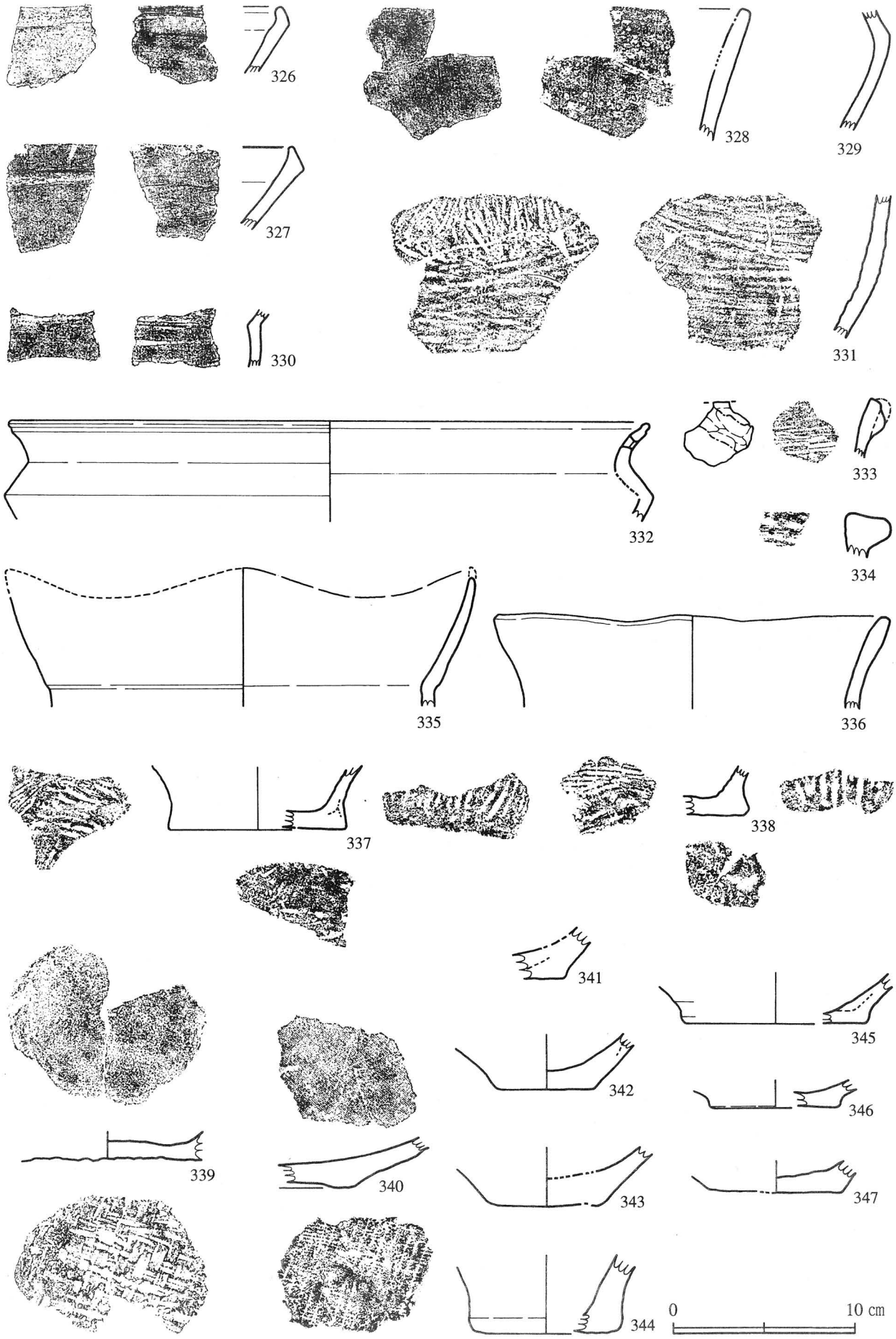
第27図　調査区出土　縄文土器実測図（1）



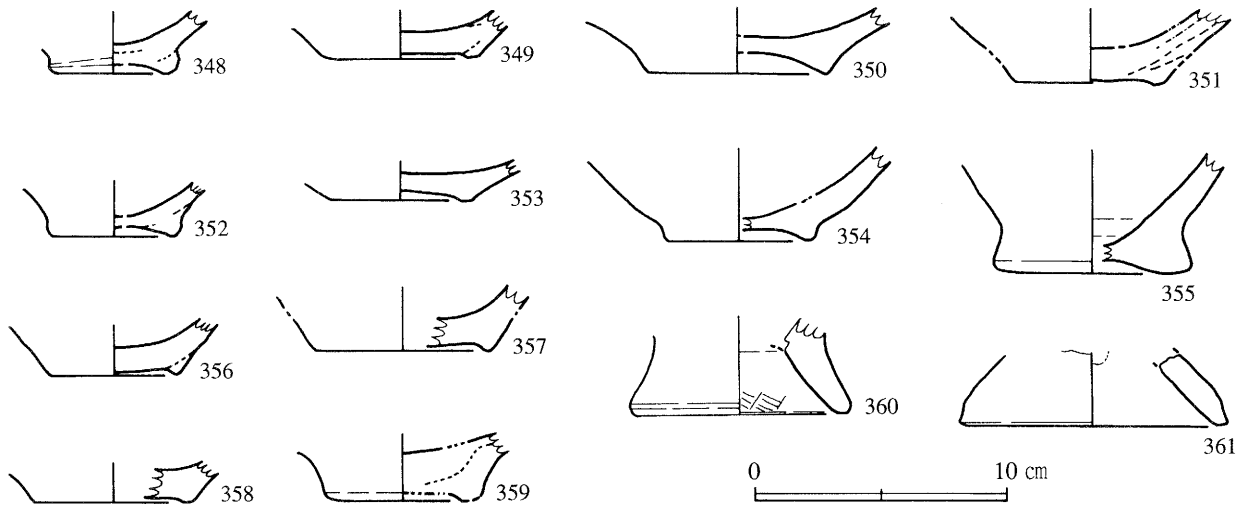
第28図　調査区出土　縄文土器実測図（２）



第29図　調査区出土　縄文土器実測図（3）



第30図　調査区出土　縄文土器実測図（4）



第31図　調査区出土　縄文土器実測図（５）

ＳＫ-31（第23図）

長径94cm・短径70cmの楕円形を呈し、深さ50cmを測る。北寄りには、長径40cm前後・厚さ10cm前後の自然礫3点が入っており、台石の素材用デポと推定される。

覆土には、後期後半の土器片が数点流れ込んでいた。

ＳＫ-58（第23図）

長軸5.5ｍ・幅1.3～２ｍの不整楕円形を呈し、最深部は80cmを測る。遺構の東２～３ｍ付近は、長さ9mにわたって半月型に30～40cm掘り下げられている。この面から土坑が切り込まれていたので、付随する構築と考えられる。

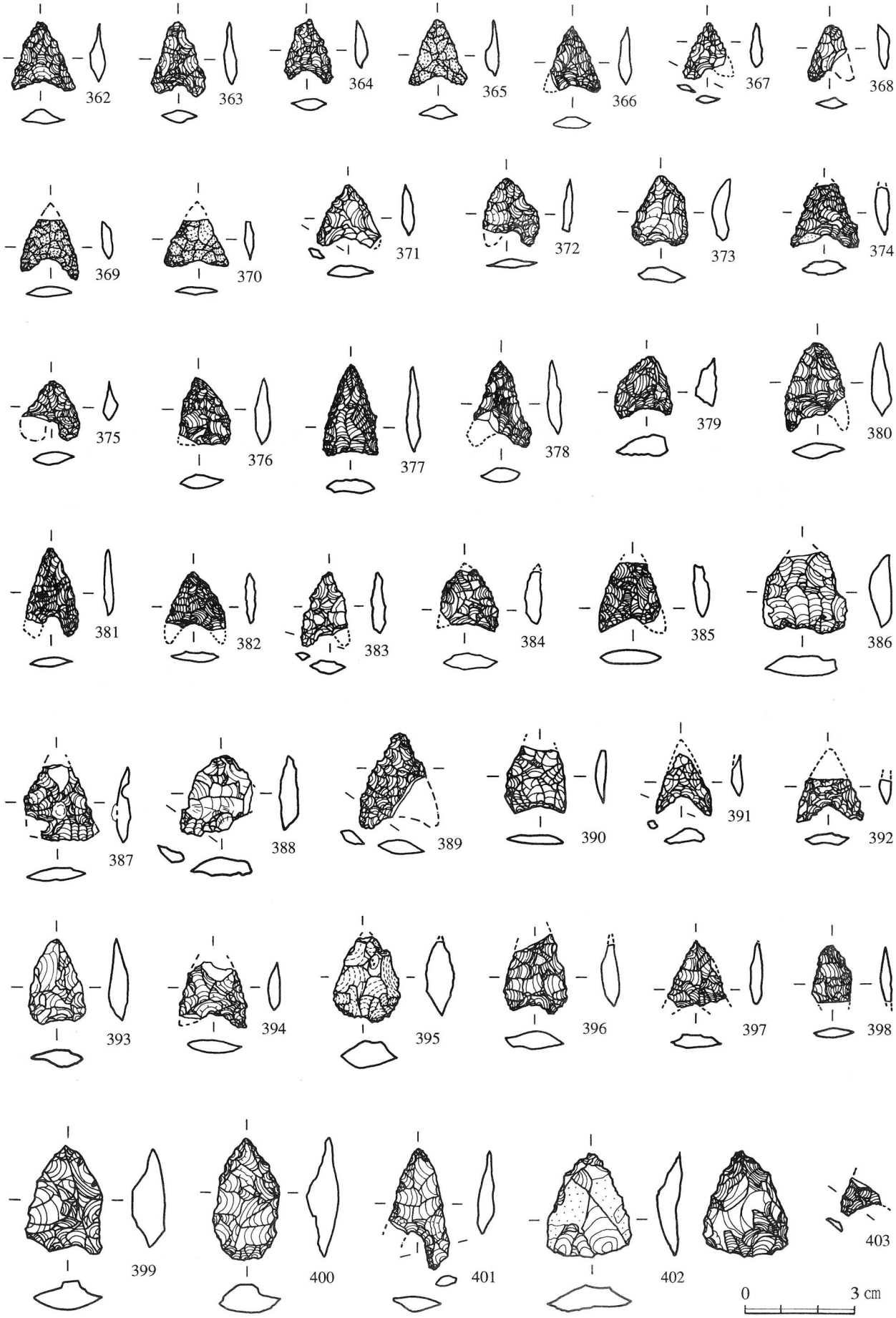
出土遺物は少なく、１点（**264**）のみ図化した。

その他の遺構と出土遺物

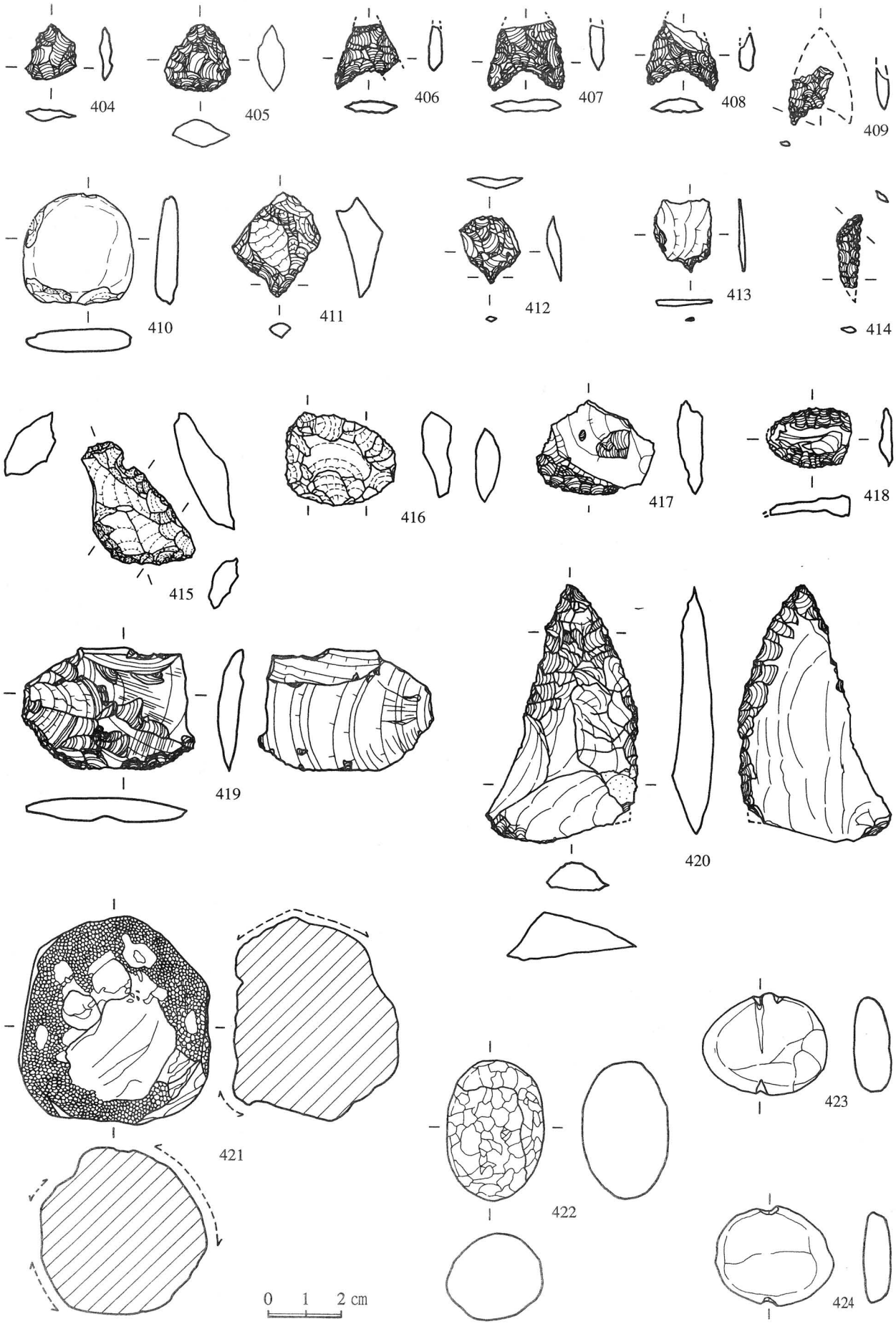
前期の遺構は検出されなかったが、第24図-**210**や第27図-**267～269**のような深浦式土器が出土している。調査区内での最古の遺物であるが、流れ堆積のⅣａ層に包蔵していることから、調査区の南側に遺構が埋蔵している可能性がある。

後期後半から晩期前半の土器片は約1700点以上出土しているが、遺構の機能を示す出土状態のものは無い。一定期間の居住を示す石皿（第35図-**443・444**）や磨石（第34図-**425**～第35図-**435**）・石錘（第34図-**423・424**）は出土したが、竪穴住居は検出されなかった。

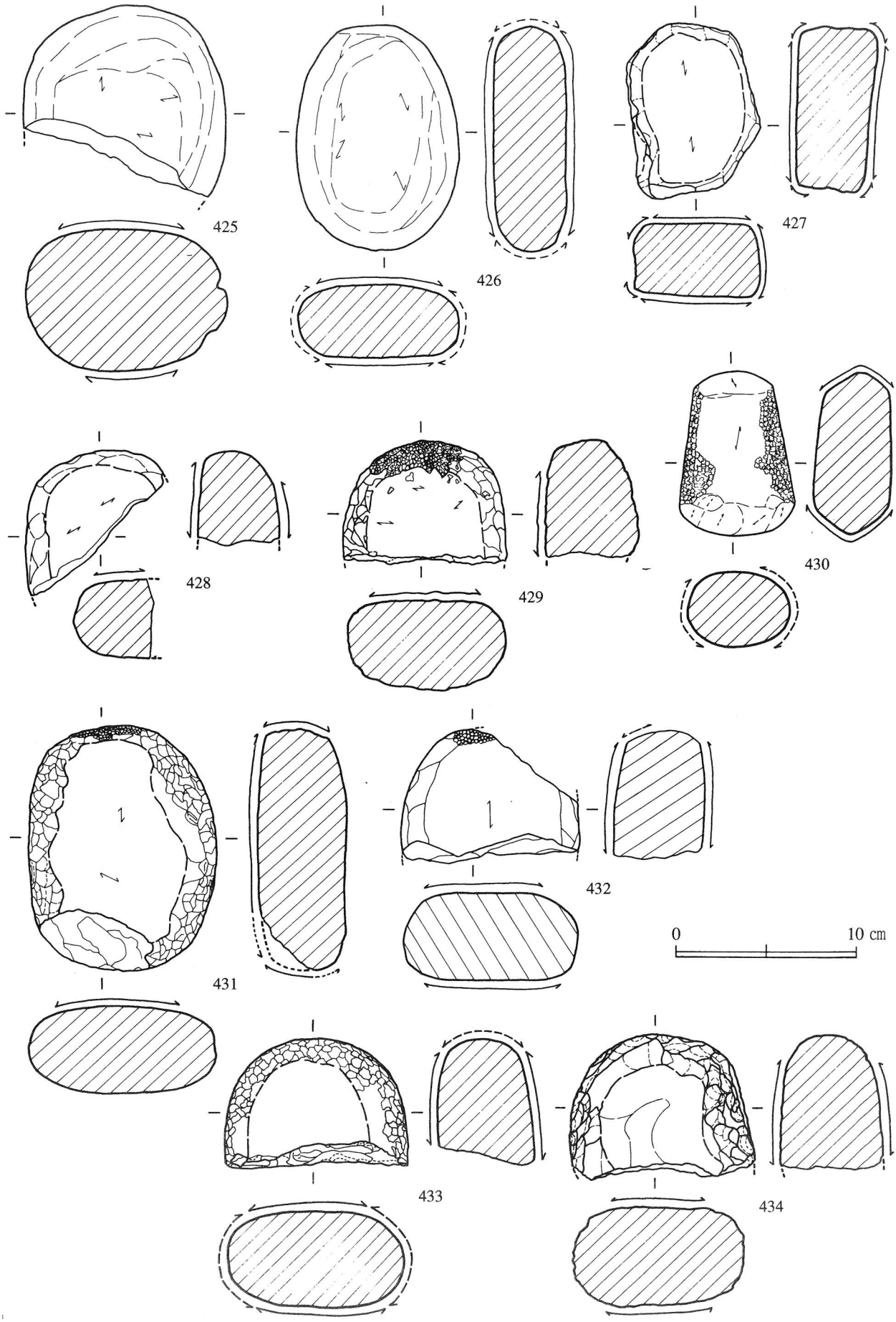
打製石鏃などの小型の石器はサンプリングエラーも多いと思われるが、製品のほか、多数の剥片・チップに加え、敲き石も出土しており、遺跡内での石器生産も行なわれたに違いない。また、器面調整具（第35図-**441**）も出土しており、土器の製作も行なわれた、一般的な集落といえる。



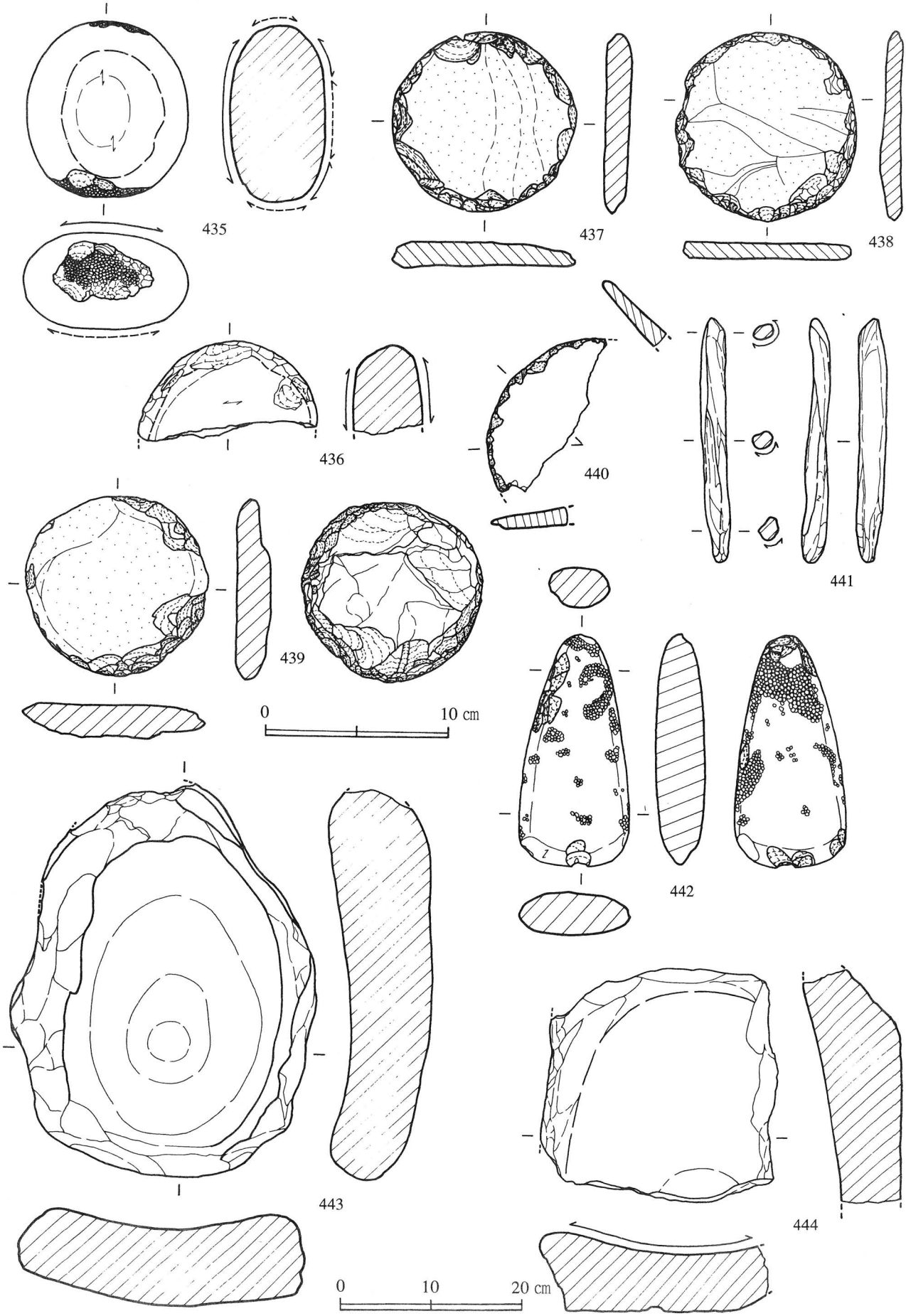
第32図　調査区出土　石器実測図（1）



第33図　調査区出土　石器実測図（2）



第34図　調査区出土石器実測図（3）



第35図　調査区出土　石器実測図（4）

表1　出土遺物観察表（1）　土器（1）

No	出土地	種類	器種	法量(mm) 口径	法量(mm) 底径	法量(mm) 器高	調整 外面	調整 内面	胎土	焼成	色調 外面	色調 内面	備考
第9図 1	SA-01	縄文土器	深鉢	—	70	—	丁寧工具ナデ	ミガキ	微細砂やや多い	良	淡黄褐	淡黄～灰	
2	SA-01	土師器	甕	—	—	—	ナデ	ナデ	微砂多量	良	暗褐	灰～淡灰褐	
3	SA-01	土師器	甕	—	—	—	ナデ	工具ナデ	微砂少量	良	褐灰～淡茶灰	淡黄褐	
4	SA-01	土師器	甕	—	—	—	ナデ	ヘラナデ	微砂少量	良	淡灰黄	淡黄～淡灰褐	
5	SA-01	土師器	甕	—	—	—	ナデ	丁寧工具ナデ～ハケ	微細砂 茶褐色粒少量	良	茶灰	黄褐～淡灰褐	
6	SA-01	土師器	甕	—	—	—	ナデ	丁寧工具ナデ	微砂 茶褐色粒少量	良	淡茶褐	淡黄褐～淡灰褐	
7	SA-01	土師器	甕	219	—	—	ナデ	ナデ	微砂多量	ややあまい	黄褐～淡桃黄	黄褐～淡桃黄	
8	SA-01	土師器	甕	—	—	—	ミガキ	ハケ	微細砂微量	良	淡黄～淡灰褐	淡黄褐～暗灰褐	
9	SA-01	土師器	甕	—	—	—	ナデ	ナデ	微砂やや多い	ややあまい	淡橙黄～橙褐	淡黄褐	
10	SA-01	土師器	甕	—	—	—	ナデ	ナデ	微砂少量	ややあまい	淡橙黄～淡黄褐	淡黄褐	
11	SA-01	土師器	甕	—	—	—	タテ工具ナデ	ナデ	微砂少量	ややあまい	橙褐	橙黄～灰褐	全面スス
12	SA-01	土師器	甕	—	—	—	工具粗ナデ	工具ナデ	微細砂多量	良	淡橙黄	淡橙黄	
13	SA-01	土師器	壺	—	76	—	ナデ	ナデ	微砂やや多い	ややあまい	淡黄～黄褐	橙黄～黄褐	
14	SA-01	土師器	甕	—	64	—	粗ナデ	丁寧工具ナデ	微砂多量	良	淡黄灰～褐	淡褐	
15	SA-01	土師器	甕	—	76	—	粗ナデ	工具ナデ	微砂多量	ややあまい	淡黄褐～暗灰	淡黄褐～暗灰	
16	SA-01	土師器	甕	—	55	—	工具ナデ	ナデ	微細砂多量	良	淡黄～灰褐	淡橙黄	
17	SA-01	土師器	甕	—	76	—	ナデ	ナデ	細砂少量 茶褐色粒多量	あまい	淡黄褐～淡橙黄	淡灰褐	
18	SA-01	土師器	壺	124	—	—	ヘラナデ～ミガキ	粗ミガキ～ナデ	細砂微量	あまい	淡黄～淡橙黄	淡黄～淡橙黄	
19	SA-01	土師器	壺	—	—	—	ミガキ	粗ミガキ	微細砂微量 粗砂赤褐色粒少量	ややあまい	丹	淡桃黄	被熱
20	SA-01	土師器	鉢？	180	—	—	ミガキ	ナデ	良	あまい	朱褐（丹）	淡黄褐～橙褐	
21	SA-01	土師器	高坏	166	—	—	ミガキ	ミガキ	微砂少量	ややあまい	桃褐	褐～淡灰	丹
第10図 22	SA-01	土師器	高坏	—	—	—	ミガキ	ミガキ	良	ややあまい	丹	暗灰褐	
23	SA-01	土師器	高坏	—	—	—	ナデ	ミガキ	良	あまい	茶褐(化粧粘土？)	淡黄～淡灰白	
24	SA-01	土師器	高坏	—	—	—	ナデ	ナデ	良	ややあまい	紅褐～黄褐	淡橙黄	丹
25	SA-01	土師器	高坏	—	—	—	ミガキ	粗ミガキ	細砂赤褐色粒多量	ややあまい	暗茶～暗紅茶	黒灰	丹
26	SA-01	土師器	高坏	—	—	—	ミガキ	ミガキ	微細砂少量	良	淡橙	褐～淡黒灰	丹
27	SA-01	土師器	高坏	—	—	—	ナデ	ハケ	微砂少量	ややあまい	丹	淡黄褐	
28	SA-01	土師器	高坏	—	—	—	ミガキ	ミガキ	良	ややあまい	丹	暗灰褐～淡黒灰	
29	SA-01	土師器	高坏	—	—	—	ナデ	ナデ	細砂微量	あまい	淡褐～茶褐	淡褐～茶褐	
30	SA-01	土師器	高坏	—	—	—	ミガキ	ナデ	微細砂微量	ややあまい	暗茶褐～黄褐	灰褐～暗灰褐	丹
31	SA-01	土師器	高坏	—	—	—	ミガキ	ナデ	良	ややあまい	朱褐～淡黄	脚内：黒 内：灰～淡黄褐	
32	SA-01	土師器	高坏	—	—	—	ミガキ	ナデ	良	ややあまい	桃褐	暗灰褐	丹
33	SA-01	土師器	高坏	—	—	—	タテ粗ミガキ	ミガキ	良	ややあまい	赤紫	淡黄褐	
34	SA-01	土師器	高坏	—	134	—	ミガキ	ナデ	良	あまい	茶～赤茶(丹)橙褐	淡橙～淡黒褐	
35	SA-01	土師器	高坏	—	122	—	ナデ	ナデ	良	あまい	暗茶褐	橙黄～暗灰褐	
40	SA-02	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂やや多い	良	淡灰褐～淡黄灰	灰褐	
41	SA-02	土師器	甕	—	—	—	粗ハケ	ハケ	微砂少量	良	淡黄白～淡灰褐	淡黄白	
42	SA-02	土師器	甕	—	—	—	粗ナデ	ハケ	微砂少量	良	淡橙黄	淡黄褐	
43	SA-02	土師器	甕	—	—	—	ハケ～ナデ	ナデ	微砂少量	良	淡黄褐～淡灰黄	淡黄褐～淡灰黄	
44	SA-02	土師器	甕	—	—	—	ナデ	ナデ	微細砂少量	ややあまい	褐	橙黄～淡黄褐	
45	SA-02	土師器	甕	339	—	—	工具ナデ	ナデ	微細砂やや多い	良	淡橙黄	淡黄～橙黄	
46	SA-02	土師器	甕	—	—	—	ナデ	ナデ	微砂多量	良	茶褐～灰褐	黄褐	
47	SA-02	土師器	甕	—	—	—	ナデ	工具ナデ	微細砂少量	ややあまい	橙黄～淡黄	淡黄褐～淡橙褐	
48	SA-02	土師器	甕	218	—	—	ハケ	ハケ	微砂少量	良	黄褐～褐灰	橙黄～淡茶褐	
第11図 49	SA-02	土師器	甕	196	—	—	ナデ	ナデ	微砂少量	良	淡黄褐～淡灰褐	淡黄～淡黄褐	
50	SA-02	土師器	甕	182	—	—	ナデ	ハケ	微砂少量	良	淡橙茶～淡灰褐	灰褐～淡黄褐	
51	SA-02	土師器	甕	—	—	—	ナデ	ナデ	微細砂少量	良	茶灰～淡黄褐	淡茶灰～黄褐	
52	SA-02	土師器	甕	—	—	—	粗ナデ	粗ナデ	微細砂やや多い	良	淡黄褐	橙黄	
53	SA-02	土師器	甕	199	—	—	ナデ	ナデ	微砂多量	ややあまい	黄褐～淡灰黄	灰褐～淡黄灰	

表2　出土遺物観察表（2）　土器（2）

No	出土地	種類	器種	法量(mm) 口径	底径	器高	調整 外面	内面	胎土	焼成	色調 外面	内面	備考
第11図 54	SA-02	土師器	甕	—	—	—	ハケ～ナデ	ハケ	微砂少量	良	淡黄～褐灰	淡灰	
55	SA-02	土師器	甕	—	—	—	工具ナデ	ナデ	微細砂少量	良	淡灰褐～淡黄褐	淡灰褐～淡黄褐	
56	SA-02	土師器	甕	270	—	—	ナデ	ナデ	微砂やや多い	良	褐	黄褐	
57	SA-02	土師器	甕	—	—	—	ナデ	工具ナデ	微砂やや多い	良	淡黄～淡橙黄	橙黄	
58	SA-02	土師器	甕	—	—	—	ハケ	ハケ	微細砂少量	良	暗灰～淡褐	暗灰～淡褐	
59	SA-02	土師器	甕	—	—	—	ナデ	ナデ	微砂やや多い	良	暗茶褐～暗灰褐	淡黄褐～淡褐	
60	SA-02	土師器	甕	—	—	—	ハケ	ナデ	微砂少量	良	淡黄褐～淡黄	橙黄	
61	SA-02	土師器	甕	273	—	—	ナデ	ハケ	細砂茶褐色粒少量	良	淡茶褐	褐	
62	SA-02	土師器	甕	—	—	—	ナデ	ナデ	微砂やや多い	良	灰褐	淡橙黄	
63	SA-02	土師器	甕	—	—	—	ナデ	ナデ	微砂少量	良	淡黄褐～暗灰	淡黄褐～淡灰	
64	SA-02	土師器	甕	295	—	—	粗ナデ	板ナデ～粗ナデ	細砂多量	良	橙黄～橙褐	淡黄褐～橙黄	
第12図 65	SA-02	土師器	甕	—	—	—	ナデ	工具ナデ	微細砂少量	良	淡黄褐	黄褐	
66	SA-02	土師器	甕	—	—	—	ハケ	ナデ	細砂茶褐色粒やや多い	良	淡褐～淡橙	淡黄～灰褐	
67	SA-02	土師器	甕	—	—	—	ナデ	ナデ	微砂少量	良	淡黄褐～褐灰	淡黄褐～淡黄	
68	SA-02	土師器	甕	—	—	—	ナデ	ナデ	微砂少量	ややあまい	淡橙黄～淡黄褐	淡橙黄～茶灰	
69	SA-02	土師器	甕	—	—	—	ナデ～ハケ	ナデ	微砂少量	良	黄褐	淡橙黄	
70	SA-02	土師器	甕	—	—	—	ナデ	ナデ	粗細砂少量	ややあまい	黄褐	橙黄	
71	SA-02	土師器	甕	—	—	—	ナデ	ナデ	微細砂やや多い	良	淡黄褐	淡灰～淡黄	
72	SA-02	土師器	甕	—	—	—	ハケ	板ナデ	微砂少量	良	褐	淡橙黄～淡黄褐	
73	SA-02	土師器	甕	—	—	—	ナデ	ハケ	微砂少量	良	淡黄褐～褐灰	灰褐～暗褐	
74	SA-02	土師器	甕	—	—	—	ナデ	ハケ	良	良	淡黄褐	淡褐	
75	SA-02	土師器	甕	—	—	—	ハケ	ナデ	微細砂多量	良	淡黄褐～淡灰	淡灰黄	
76	SA-02	土師器	甕	—	—	—	板ナデ	粗ナデ	微砂多量	ややあまい	淡灰褐～橙褐	淡黄白～灰褐	
77	SA-02	土師器	甕	—	67	—	粗工具ナデ	ナデ～ハケ	細砂多量	ややあまい	淡黄褐～橙褐	淡橙黄	
78	SA-02	土師器	甕	—	97	—	粗工具ナデ	ナデ	細砂多量	あまい	黄褐～橙褐	淡橙黄～橙褐	
79	SA-02	土師器	甕	—	—	—	ナデ	ナデ	微細砂やや多い	良	黄褐～淡橙黄	淡茶灰～淡橙黄	
80	SA-02	土師器	甕	—	84	—	ナデ	ナデ～工具ナデ	細砂茶褐色粒やや多い	ややあまい	淡黄褐～淡橙黄	灰褐～淡褐	
81	SA-02	土師器	甕	—	71	—	板ナデ	ナデ～ハケ	微細砂少量	ややあまい	淡灰褐～黄褐	淡灰褐～褐	
82	SA-02	土師器	甕	—	81	—	ナデ	ハケ～ナデ	微細砂少量	良	淡褐～淡橙黄	淡褐	
83	SA-02	土師器	甕	—	67	—	粗ナデ	工具ナデ	微細砂少量	良	淡黄～淡黄褐	淡黄～淡黄褐	
84	SA-02	土師器	甕	—	65	—	粗工具ナデ	ナデ	微細砂少量	良	淡褐	淡灰褐	
85	SA-02	土師器	高坏	171	—	—	ミガキ	ハケ～粗ミガキ	良	あまい	丹	黄褐	
86	SA-02	土師器	甕	90	—	—	ミガキ	ハケ	良	ややあまい	丹	黄褐	
87	SA-02	土師器	高坏？	—	—	—	ミガキ	ナデ	良	あまい	丹	黄褐～淡橙褐	
第13図 88	SA-02	土師器	壺	—	—	—	粗ナデ	ナデ	微砂やや多い	良	淡黄褐～淡橙黄	淡橙黄	
89	SA-02	土師器	壺	—	—	—	ミガキ	ナデ	良	ややあまい	丹	黄褐	
90	SA-02	土師器	鉢	—	—	—	ミガキ	半ミガキ丁寧ハケ	良	ややあまい	淡灰	淡橙黄～淡灰	丹痕
91	SA-02	土師器	鉢	—	—	—	ヘラミガキ	ナデ	良	ややあまい	淡紅茶～丹	淡橙黄～淡黄	
92	SA-02	土師器	壺	—	—	—	ミガキ	工具ナデ	良	ややあまい	赤褐	淡黄褐	丹
93	SA-02	土師器	壺	—	—	—	ナデ～板ナデ	ナデ	微細砂少量	良	淡黄褐～淡橙黄	淡褐～淡黄	
94	SA-02	土師器	蓋	71	—	—	半ミガキ～粗ミガキ	ナデ	細砂微量	良	淡灰黄～橙黄	暗灰～淡灰褐	
95	SA-02	土師器	壺	—	135	—	粗工具ナデ	粗工具ナデ	微細砂多量	良	黄褐～淡黄灰	黄褐～灰褐	
96	SA-02	土師器	壺	—	45	—	ナデ～工具ナデ	ハケ～ナデ	微細砂少量赤褐色粒少量	良	淡黄褐～淡橙黄	淡黄褐～淡橙黄	
97	SA-02	土師器	高坏	209	—	—	粗ミガキ	ナデ	微細砂微量	ややあまい	丹	灰褐～淡灰褐	
98	SA-02	土師器	高坏	189	—	—	ハケ	ナデ	良	ややあまい	丹	茶褐～淡黄褐	
99	SA-02	土師器	高坏	280	—	—	ミガキ	ミガキ	微細砂微量	ややあまい	丹	淡灰褐～褐	
100	SA-02	土師器	高坏	173	—	—	ナデ～ミガキ	ハケ～ナデ	良	ややあまい	紅褐	淡灰～淡黄褐	丹
101	SA-02	土師器	高坏	169	—	—	ナデ	ナデ	良	あまい	紅茶	淡橙黄	丹痕
102	SA-02	土師器	高坏	—	—	—	ナデ	ナデ	微細砂淡黄粘土赤褐色粒少量	あまい	橙黄	橙黄	

表3　出土遺物観察表（3）　土器（3）

No	出土地	種類	器種	法量(mm) 口径	底径	器高	調整 外面	内面	胎土	焼成	色調 外面	内面	備考
第13図 103	SA-02	土師器	高坏	—	—	—	ナデ	ナデ	微砂微量	あまい	淡橙黄	淡灰黄	丹痕
104	SA-02	土師器	高坏	—	—	—	粗ミガキ	ナデ	微砂微量	ややあまい	紅褐	淡黒灰	丹
105	SA-02	土師器	高坏	—	135	—	ミガキ	—	良	ややあまい	暗茶灰～褐灰	暗茶灰～褐灰	
106	SA-02	土師器	高坏	—	—	—	ハケ	—	良	ややあまい	桃褐	桃褐～紅	丹
107	SA-02	土師器	高坏	—	—	—	ミガキ	ミガキ	微砂少量	ややあまい	朱褐	淡黄褐	丹
108	SA-02	土師器	高坏	—	—	—	ナデ	ミガキ	微砂少量	良	丹	暗灰褐	
109	SA-02	土師器	高坏	—	—	—	ミガキ	ナデ	微細砂少量	ややあまい	丹	暗灰～灰褐	
110	SA-02	土師器	高坏	—	148	—	ミガキ	工具ナデ～ハケ	良	良	朱褐	淡黄褐	丹
111	SA-02	土師器	小型深鉢	82	48	80	ハケ～ミガキ 底部粗ナデ	ハケ～丁寧ナデ～ミガキ	良	ややあまい	淡赤褐	黄褐	丹
112	SA-02・03	須恵器	甕	128	—	120	ナデ	ナデ	良	良好	淡黒灰～灰褐	暗灰褐	
第15図 115	SA-03	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナデ	工具ナデ	微細砂少量	良	暗灰～淡茶黄	淡黄褐～淡灰褐	
116	SA-03	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ～粗ミガキ	微砂、石英やや多い	良	淡茶褐～暗褐	淡茶褐～暗灰	
117	SA-03	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナデ	ミガキ	微砂やや多い	良	茶褐	褐灰	
118	SA-03	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナデ	ナデ	微砂少量	良	淡灰～茶灰	淡灰～淡黄灰	
119	SA-03	縄文土器	深鉢	—	—	—	粗工具ナデ	条痕	良	良	淡黄白	淡黄～淡灰	
120	SA-03	縄文土器	深鉢	—	—	—	条痕	条痕	微砂少量	良	淡灰白～淡黄白	淡灰	
121	SA-03	縄文土器	深鉢	—	—	—	粗ミガキ	ミガキ	微砂黒色粒やや多い	良	淡桃黄	淡黄～淡黄褐	
122	SA-03	縄文土器	深鉢	—	—	—	ヘラ～工具ナデ	ナデ	細砂少量	良	茶褐	茶褐	
123	SA-03	縄文土器	深鉢	—	—	—	ヘラ～工具ナデ	ミガキ	微砂少量	良	褐～橙褐	暗褐灰～橙褐	
124	SA-03	縄文土器	深鉢	—	—	—	粗工具ナデ	ナデ	良	良	淡黄	黒褐	
125	SA-03	縄文土器	皿	294	205	44	ナデ	条痕～工具ナデ	微細砂やや多い	良	暗褐灰 底：淡黄褐	淡黄褐～淡灰	網代底
126	SA-03	縄文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ～粗工具ナデ～ナデ	工具ナデ	良	良	淡灰黄～淡黄	灰～淡灰黄	
127	SA-03	土師器	甕	275	—	—	ナデ	ハケ～ナデ	微細砂、茶褐色粒少量	良	灰褐	淡黄褐～淡灰	
128	SA-03	土師器	甕	314	—	—	粗ナデ～粗工具ナデ	ナデ	微細砂少量	良	黄褐～淡灰褐	淡黄褐～淡灰黄	
129	SA-03	土師器	甕	—	—	—	粗ナデ	ハケ	微砂少量	良	淡灰黄～黄褐	淡黄～淡灰褐	
130	SA-03	土師器	甕	—	—	—	粗ナデ	ナデ	微細砂少量	良	暗茶灰	淡灰～灰	
131	SA-03	土師器	甕	—	—	—	ナデ	粗ナデ	微砂やや多い	良	橙褐	淡黄褐	
132	SA-03	土師器	甕	—	—	—	ナデ	ハケ	微細砂少量	良	黄褐	淡黄褐	
第16図 133	SA-03	土師器	甕	230	—	—	粗ナデ	ナデ	微砂やや多い	良	橙黄～灰褐	淡灰褐～淡橙黄	
134	SA-03	土師器	甕	—	—	—	ナデ	ナデ	微砂多量	良	橙黄	橙黄	
135	SA-03	土師器	甕	—	—	—	ナデ	ハケ	微細砂少量	ややあまい	淡褐灰	淡灰黄	
136	SA-03	土師器	甕	—	—	—	ナデ	ナデ	微細砂やや多い	良	淡褐	淡橙褐	
137	SA-03	土師器	甕	—	—	—	粗工具ナデ	工具ナデ	微細砂少量	ややあまい	—	淡橙褐	外面スス
138	SA-03	土師器	甕	—	—	—	ナデ～工具ナデ	ナデ	微砂やや多い	ややあまい	淡茶褐～淡褐	淡黄褐～淡茶褐	
139	SA-03	土師器	甕	—	—	—	ナデ	ハケ	微砂少量	良	淡黄褐	淡黄褐～橙黄	
140	SA-03	土師器	甕	—	—	—	ナデ	ハケ	細砂少量	良	橙黄～淡黄褐	黄褐	
141	SA-03	土師器	甕	—	—	—	ナデ	粗ナデ	微細砂多量	ややあまい	淡橙黄	淡茶褐～淡橙褐	
142	SA-03	土師器	甕	—	70	—	ナデ	ナデ	細砂多量	良	黄褐	暗褐灰	
143	SA-03	土師器	甕	—	76	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂少量	ややあまい	淡黄褐	淡灰黄	
144	SA-03	土師器	甕	—	67	—	ナデ	ハケ	細砂やや多い	良	淡橙黄～淡灰黄	橙褐	
145	SA-03	土師器	甕	—	—	—	粗工具ナデ	—	細砂やや多い	良	淡茶灰～淡黄褐	灰褐	
146	SA-03	土師器	甕	—	63	—	ナデ	ナデ	微細砂やや多い	ややあまい	淡黄～黄褐	淡橙黄	
147	SA-03	土師器	甕	—	64	—	工具ナデ	—	微細砂やや多い	良	淡橙黄～淡黄	—	
148	SA-03	土師器	壺？	—	66	—	ナデ	ハケ	細砂やや多い	良	黄褐	黄褐～淡黄	
149	SA-03	土師器	甕	—	60	—	ナデ	ナデ	細砂微量	あまい	桃黄～淡灰褐	橙黄	マメツ
150	SA-03	土師器	壺	—	67	—	ナデ	ナデ	微砂やや多い	良	茶灰～桃褐	黄褐	
151	SA-03	土師器	甕	—	—	—	粗工具ナデ	板ナデ	細砂やや多い	良	褐～淡黄褐	黄褐	
152	SA-03	土師器	壺	98	—	—	ハケ～ミガキ～板ナデ	ナデ～工具ナデ	良	良	淡黄褐	淡黄褐～淡橙黄	
153	SA-03	土師器	壺	—	—	—	ミガキ	ナデ	微砂微量	ややあまい	紅褐～茶褐	暗灰褐～淡灰	丹

表4　出土遺物観察表（4）　土器（4）

No	出土地	種類	器種	法量(mm) 口径	底径	器高	調整 外面	内面	胎土	焼成	色調 外面	内面	備考
第16図 154	SA-03	土師器	鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	良	あまい	丹	黄褐	
155	SA-03	土師器	鉢	156	—	66	ミガキ	ミガキ	良	ややあまい	淡赤褐～黒褐(底)	茶褐～淡黄褐	丹
156	SA-03	土師器	鉢	149	—	—	工具ナデ～ナデ	ハケ	細砂やや多い	ややあまい	黄褐	橙褐	
157	SA-03	土師器	鉢	139	—	—	粗ミガキ	ナデ	良	あまい	丹	淡橙黄～灰褐	
158	SA-03	土師器	高坏	—	—	—	ミガキ	粗ミガキ	微砂少量	ややあまい	丹	淡灰褐～灰褐	
159	SA-03	土師器	高坏	141	—	—	ミガキ	ナデ	微砂少量	あまい	丹	淡灰黄～暗灰褐	
160	SA-03	土師器	高坏	—	—	—	ミガキ	ミガキ	微細砂やや多い	良	丹	灰褐～暗灰褐	
161	SA-03	土師器	高坏	—	—	—	ミガキ	粗工具ナデ	粗細砂微量	ややあまい	丹	淡灰褐～灰褐	
162	SA-03	土師器	高坏	—	—	—	ミガキ	粗ミガキ	微細砂微量	良	丹	淡灰～淡灰黄	
163	SA-03	土師器	高坏	—	—	—	ミガキ	ハケ～ナデ	微細砂少量	あまい	丹	淡灰黄～淡橙黄	
164	SA-03	土師器	高坏	—	—	—	ハケ	ナデ	微砂少量	あまい	丹	淡灰黄	
165	SA-03	土師器	高坏	—	—	—	ミガキ	ミガキ 脚部：粗板ナデ	微砂少量	ややあまい	淡紫紅	褐灰～暗灰褐	丹
166	SA-03	土師器	高坏	—	—	—	工具ナデ	ハケ 脚部：粗ナデ	微砂多量	ややあまい	淡黄褐～淡橙褐	淡灰～淡灰褐	
167	SA-03	土師器	高坏	—	—	—	ミガキ	ミガキ～ナデ	微砂少量	ややあまい	丹	淡黄褐～灰褐	
168	SA-03	土師器	高坏	—	177	—	ミガキ	ナデ	微砂少量	ややあまい	丹	暗灰～淡黒灰	
169	SA-03	須恵器	坏蓋	132	—	44	ヘラ削り～ナデ	ナデ	微細砂少量	良	灰～灰褐	灰～淡灰褐	
第19図 180	SK-01	土師器	甕	247	—	—	ナデ～板ナデ	ナデ	微細砂少量	ややあまい	淡黄～淡灰	淡橙黄～暗灰	
181	SK-01	土師器	甕	246	—	—	粗工具ナデ	ナデ	微砂少量	良	淡黄褐～灰褐	淡黄褐～淡橙黄	
182	SK-01	土師器	甕	221	—	—	ミガキ	板ナデ	微細砂やや多い	良	暗灰褐～淡灰褐	淡黄褐～灰	
183	SK-01	土師器	手捏ね	56	40	46	ナデ	ナデ	良	良	淡黄褐	淡黄褐	
184	SK-01	土師器	甕	238	69	177	粗ナデ～粗工具ナデ	ナデ	微砂少量	良	淡黄灰～褐灰	淡黄褐～淡灰褐	
185	SK-01	土師器	甕	272	77	339	ナデ～ハケ	ナデ	微細砂少量	良	淡黄褐～淡灰褐	淡黄褐～淡灰褐	
186	SK-01	土師器	甕	251	67	313	ハケ～工具ナデ	ハケ、ナデ	微砂少量	ややあまい	淡黄褐～淡灰褐	淡橙黄～灰褐	
第20図 187	SA-01の南	土師器	甕	—	—	—	ナデ	ナデ～工具ナデ	微細砂やや多い	良	淡橙褐～褐	黄褐～淡灰黄	
188	SA-01の南	土師器	甕	—	—	—	工具ナデ	粗ナデ	微砂多量	ややあまい	橙褐～橙黄	橙褐～橙黄	
189	Ⅳa層	土師器	甕	—	—	—	ナデ	ナデ	微砂やや多い	ややあまい	黄褐～淡茶灰	黄褐	
190	Ⅳa層	土師器	甕	—	—	—	ナデ	ナデ	微細砂多量	ややあまい	黄褐～淡橙黄	黄褐～淡橙黄	
191	SA-01の南	土師器	甕	—	—	—	ナデ	ナデ～ミガキ	粗細砂少量	良	黄褐～灰褐	淡黄褐～暗灰褐	
192	Ⅲa層	土師器	甕	—	—	—	ナデ	ナデ	微砂少量	良	黄褐	黄褐	
193	SA-01の南	土師器	甕	—	—	—	ハケ	ハケ	微砂多量、茶褐色粒少量	良	淡灰褐	淡灰褐	
194	SA-01の南	土師器	甕	—	—	—	ナデ	ナデ	微砂少量、赤褐色粒少量	良	褐～淡黄	淡橙黄	
195	SA-01の南	土師器	甕	—	52	—	ナデ	ナデ	微砂少量、茶褐色粒少量	良	淡橙黄	灰褐	
196	SA-01の南	土師器	甕	—	49	—	粗工具ナデ	工具ナデ	微細砂やや多い	良	淡橙黄～淡灰黄	淡黄～淡黒灰	
197	SA-01の南	土師器	壺	—	78	—	ナデ	ナデ	細砂少量	良	淡黄褐～淡灰褐	淡褐	
198	Ⅳa層	土師器	壺	135	—	—	ナデ	板ナデ	微砂やや多い	ややあまい	褐	淡橙黄～淡黄	
199	Ⅳa1層	土師器	甕	204	—	—	ミガキ	ナデ	良	良	淡黄～暗茶褐	淡黄灰～淡灰	
200	SK-37	土師器	甕	—	—	—	ナデ	ナデ	微砂多量	ややあまい	暗茶褐～茶褐	茶褐	
201	Ⅳa層	土師器	壺？	197	—	—	ナデ	ハケ～ナデ	良	ややあまい	淡黄褐	淡橙褐	
202	SA-01の南	土師器	高坏	—	—	—	丁寧ミガキ	ミガキ	良	ややあまい	淡橙褐	黄褐～橙褐	
203	SK-07・08	土師器	坏	126	63	56	ナデ	ナデ	良	ややあまい	淡黄褐～淡橙黄	淡黄褐～淡橙黄	ヘラ切り
204	Ⅳa層	土師器	鉢？	—	—	—	ナデ	ナデ	微細砂多量	良	茶褐～褐	橙黄	
205	Ⅳa層	土師器	高坏	133	—	(52)	ナデ～ケズリ	ナデ	粗砂少量	堅緻	暗青灰	淡青灰	
206	排土	土師質土器	焙烙	—	—	—	ナデ	ナデ	良	ややあまい	淡褐	淡褐	
第24図 210	SK-11	縄文土器	深鉢	201	—	—	ナデ	条痕	微砂少量	良	褐～淡黄褐	茶褐～暗茶褐	
211	SK-03～06	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナデ	—	細砂少量	良	淡黄褐	淡黄褐	
212	SK-11	縄文土器	深鉢	—	—	—	粗工具ナデ	工具ナデ～ミガキ	微細砂、石英少量	良	暗茶褐	暗灰～淡茶褐	
213	SK-13	縄文土器	深鉢	145	47	137	工具ナデ	工具ナデ	微細砂微量	良	淡橙褐～淡黄褐	暗灰褐～淡黄褐～暗褐	
214	SK-11	縄文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	工具ナデ	微砂やや多い	良	淡黄灰～褐	淡灰褐～橙黄	
215	SK-13	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナデ	工具ナデ	微細砂、角閃石少量	良	淡黄褐	淡黄～淡桃黄	

表５　出土遺物観察表（５）　土器（５）

No	出土地	種類	器種	法量(mm) 口径	底径	器高	調整 外面	内面	胎土	焼成	色調 外面	内面	備考
第24図 216	ＳＫ-11	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナデ	ナデ	微砂微量	良	淡黄～淡灰	灰～暗灰褐	
217	ＳＫ-13	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナデ	ミガキ	微砂少量	良	淡灰褐～淡黄褐	灰褐～淡黒灰	
218	ＳＫ-13	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	良	淡橙褐	淡黄褐	
219	ＳＫ-12	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ	微砂少量	良	淡灰褐	淡灰褐	
220	ＳＫ-16	縄文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	良	良	淡黄褐～淡茶褐	淡黄灰～淡灰褐	
221	ＳＫ-13	縄文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	粗工具ナデ	微細砂少量	良	暗灰～淡黄褐	灰褐	
222	ＳＫ-11	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ	微細砂微量 黒色粒やや多い	良	淡橙黄～淡黄褐	淡灰褐～淡茶褐	
223	ＳＫ-17	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナデ	ミガキ	微砂少量	良	淡灰褐～淡黄灰	暗灰褐	
224	ＳＫ-16	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナデ	ナデ	微砂少量	良	淡茶褐～褐灰	橙褐	
225	ＳＫ-17	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナデ	ナデ	金雲母微量 微砂多量	良	橙褐～暗茶灰	橙黄～橙褐	
226	ＳＫ-17	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナデ	丁寧ナデ	微砂やや多い	良	淡黄	淡灰褐～淡灰黄	
227	ＳＫ-17	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナデ～ヘラ	工具ナデ	細砂多量	良	茶褐～茶灰	淡黄褐～淡橙褐	
228	ＳＫ-17	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ	良	良	淡黄褐	淡黄灰	
第25図 229	ＳＫ-17	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナデ	ミガキ	微砂少量	良	茶褐	灰褐～淡黄褐	
230	ＳＫ-18,19,21 ＳＺ-03	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナデ	ミガキ	微細砂少量	良	暗褐	暗褐灰	
231	ＳＫ-25	縄文土器	深鉢	—	—	—	粗工具ナデ	粗工具ナデ	細砂少量	良	淡灰褐～淡黄褐	褐～灰褐	
232	ＳＫ-25	縄文土器	粗製深鉢	—	—	—	粗条痕	工具ナデ	細砂やや多い	良	淡黄～淡灰褐	淡黄～淡黄褐	
233	ＳＫ-25	縄文土器	台付皿	314	—	—	工具ナデ	ミガキ	微細砂少量	良	黄褐～褐	黄褐～褐	
234	ＳＫ-25	縄文土器	深鉢	—	68	—	粗工具ナデ	粗工具ナデ	小礫やや多い	良	桃黄～淡黄	淡灰黄～暗灰	
235	ＳＫ-25	縄文土器	深鉢	—	88	—	粗工具ナデ	粗条痕	細砂多量	良	淡黄～淡橙黄	淡黄～淡橙黄	
236	ＳＫ-26	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナデ	ミガキ	微砂少量	良	淡黄褐～淡黄灰	淡黄褐～淡黄灰	
237	ＳＫ-26	縄文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	良	良	暗茶褐	暗茶褐～暗茶灰	
238	ＳＫ-26	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナデ	ミガキ	微砂微量	良	茶褐～暗灰褐	灰褐～淡茶褐	
239	ＳＫ-26	縄文土器	深鉢	—	—	—	粗ミガキ	ナデ	微細砂少量	良	明黄褐	淡黄～淡灰黄	
240	ＳＫ-25	縄文土器	深鉢	—	56	—	ミガキ	粗ミガキ	細砂少量	良	淡黄褐～茶褐	暗灰～淡黒褐	
241	ＳＫ-26	縄文土器	深鉢	—	72	—	工具ナデ～ナデ	ナデ	良	良	茶灰～淡灰黄	灰褐～暗灰褐	
242	ＳＫ-40	縄文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	微砂黒色粒少量	良	淡黄褐～淡桃黄	淡黄褐～淡桃黄	
243	ＳＫ-40	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナデ	条痕～工具ナデ	微細砂少量	良	灰褐～淡灰褐	褐灰～淡灰褐	
244	ＳＫ-40	縄文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	良	良	淡黄褐	淡灰黄	
245	ＳＫ-40	縄文土器	深鉢	—	—	—	丁寧工具ナデ	丁寧工具ナデ	粗細砂少量	良	淡橙黄	淡灰～淡褐	
246	ＳＫ-40	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナデ	ミガキ	微砂少量	良	暗灰褐	淡灰褐～淡黄	
247	ＳＫ-40	縄文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	微砂少量	良	暗灰褐～茶灰	暗灰褐	
248	ＳＫ-40	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナデ	丁寧ナデ	微細砂微量	良	褐灰	淡茶黄	
249	ＳＫ-40	縄文土器	深鉢	—	—	—	丁寧工具ナデ	条痕～工具ナデ	微砂少量 金雲母微量	良	橙褐～黄褐	淡黒灰	
250	ＳＫ-40	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナデ	ミガキ	細砂少量	良	茶褐～茶灰	淡灰褐～淡茶褐	
第26図 251	ＳＫ-40	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナデ	ミガキ	微細砂微量	良	淡黄褐	淡黄	
252	ＳＫ-40	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ	微砂少量	良	淡黄褐	淡橙褐～淡黄褐	
253	ＳＫ-40	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナデ	ミガキ	微砂少量	良	褐灰	暗灰	
254	ＳＫ-42	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナデ	ナデ	良	良	淡黄～淡黄灰	淡灰褐	
255	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂多量	良	褐灰～淡黄灰	灰～淡黄褐	
256	ＳＫ-56～57	縄文土器	浅鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	微砂、石英少量	良	淡茶褐～茶褐	茶灰～茶褐	
257	ＳＫ-56～57	縄文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	微砂少量	良	茶褐～茶灰	暗茶褐	
258	ＳＫ-56～57	縄文土器	深鉢	170	—	—	ナデ	ミガキ～粗ミガキ	微砂、石英少量	良	淡灰褐	暗茶灰～暗茶褐	
259	ＳＫ-56～57	縄文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	微砂少量	良	暗茶褐～淡黒褐	茶褐～暗茶褐	
260	ＳＫ-56～57	縄文土器	深鉢	—	52	—	工具ナデ	工具ナデ	粗細砂微量	良	淡黄褐～淡橙黄	淡灰黄～灰褐	
261	ＳＫ-56～57	縄文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	工具ナデ	微砂多量	良	暗灰褐～暗茶褐	暗黄褐～暗灰褐	
262	ＳＫ-56～57	縄文土器	深鉢	—	39	—	丁寧工具ナデ	丁寧工具ナデ	微細砂やや多い	良	褐～灰褐～暗黄褐	橙褐～暗褐灰	
263	ＳＫ-64～65	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナデ	条痕	微砂やや多い	良	暗褐～暗褐灰	暗黄褐～暗灰	
264	ＳＫ-58	縄文土器	深鉢	—	—	—	条痕	粗工具ナデ	良	良	灰	暗灰	

表6　出土遺物観察表（6）　土器（6）

No	出土地	種類	器種	法量(mm) 口径	底径	器高	調整 外面	内面	胎土	焼成	色調 外面	内面	備考
第26図 265	SK-56～57	縄文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	良	良	暗茶褐～茶褐	暗茶褐～茶褐	
266	SK-64～65	縄文土器	深鉢	—	—	—	粗工具ナデ	ミガキ	微細砂少量	良	淡黄褐	灰褐～淡黄褐	
第27図 267	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナデ	工具ナデ	微砂少量	良	暗灰～灰褐	淡茶灰～灰褐	
268	Ⅲa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂少量	良	淡黒褐～暗灰	灰褐	
269	Ⅱ～Ⅲa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂少量	良	淡黒褐	灰褐～暗灰	
270	Ⅱ層	縄文土器	深鉢	—	—	—	条痕	条痕	微砂少量	良	淡黄～淡灰黄	淡黄～淡灰黄	
271	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂やや多い	良	淡茶灰～淡灰褐	淡茶～茶褐	
272	SA-01の南Ⅳ'層	縄文土器	深鉢	364	—	—	工具ナデ	条痕	微細砂やや多い 金雲母微量	良	茶褐～灰褐	淡黄～淡橙黄	
273	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂少量	良	淡橙褐～淡灰褐	橙褐	
274	SK-17の東	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナデ	ミガキ	金雲母微量	良	茶褐～暗褐灰	橙褐	
275	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	条痕	ナデ	微砂多量	良	暗灰～淡灰	淡橙褐	
276	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	条痕	条痕	微砂少量 金雲母微量	良	淡橙褐～褐灰	淡橙褐～淡黄褐	
277	SK-17の周辺	縄文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	微細砂微量	良	淡灰黄	淡黄灰	
278	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナデ	ミガキ	微細砂少量	良	淡橙褐～淡茶灰	淡黄灰～灰褐	
279	SK-17の東	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナデ	ミガキ	微砂少量	良	淡黄褐～褐	暗灰褐	
280	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	良	良	暗灰褐～淡茶黄	淡茶灰～暗灰褐	
281	SA-03の南	縄文土器	深鉢	—	—	—	ヘラミガキ	ヘラミガキ	微砂少量	良	暗灰褐～淡黒灰	灰褐～淡茶褐	
282	Ⅳa'層	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナデ	ミガキ	微砂、石英やや多い	良	灰褐	褐灰～淡茶灰	
283	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	粗ミガキ	工具ナデ	微砂やや多い	良	淡灰～暗灰	暗茶褐～暗灰褐	
284	Ⅳa層	縄文土器	浅鉢	—	—	—	粗ミガキ	ミガキ	微砂やや多い	良	暗灰褐	暗茶灰～褐	
285	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ	微砂やや多い	良	淡黄灰	淡黄～淡茶褐	
286	Ⅳ'層	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂少量	良	灰～明褐	淡灰褐～褐灰	
287	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ	微砂少量	良	淡黄褐	褐灰	
第28図 288	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナデ	ナデ	微砂少量	良	淡黄灰～灰褐	灰褐～暗茶褐	
289	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナデ	工具ナデ	微砂やや多い	良	淡褐	暗茶灰	
290	Ⅰ層	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナデ	丁寧工具ナデ	微砂少量	良	褐灰	淡灰褐～暗褐灰	
291	SD-04	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナデ	丁寧工具ナデ	角閃石微量	良	淡桃褐	褐灰	
292	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	粗工具ナデ～丁寧工具ナデ	丁寧工具ナデ	微砂やや多い	良	淡灰褐～淡黄灰	灰～灰褐	
293	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナデ	工具ナデ～ミガキ	微砂少量	良	淡茶～淡灰黄	暗灰～淡灰褐	
294	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナデ～ミガキ	ナデ	微砂多量	良	褐灰～淡黄灰	灰～淡黄褐	
295	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	微砂少量	良	淡橙褐	淡橙黄～灰褐	
296	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナデ	ナデ	微砂多量	良	褐灰～淡黄灰	灰～淡黄褐	
297	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナデ	工具ナデ	微細砂少量	良	褐灰	灰褐	
298	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	丁寧ミガキ	微砂やや多い	良	淡黄～灰褐	淡灰褐	
299	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	粗工具ナデ	工具ナデ～ナデ	微細砂少量	良	淡黄褐～淡橙褐	淡黄灰	
300	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	良	良	暗茶褐	暗灰褐	
301	SD-11	縄文土器	深鉢	—	—	—	粗工具ナデ	粗ミガキ	微細砂、石英少量	良	淡橙褐	淡黒灰～暗灰褐	
302	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナデ	条痕～工具ナデ	微砂微量	良	淡灰褐	淡黄褐～淡灰褐	
303	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	383	—	—	ナデ	ナデ	良	良	暗茶灰～暗黄褐	暗茶灰～淡灰褐	
第29図 304	Ⅱ～Ⅲa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	粗ミガキ	ミガキ	微砂少量	良	淡灰黄～淡灰褐	灰褐	
305	Ⅳ層	縄文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	微砂やや多い	良	淡黄～淡灰	淡黄褐～淡灰褐	
306	Ⅳ層	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナデ～ナデ	ミガキ	微細砂少量	良	淡黄褐～褐灰	暗茶褐～淡黄灰	
307	Ⅳ層	縄文土器	深鉢	—	—	—	ヘラ～ナデ	工具ナデ	細砂少量	良	褐灰～暗灰褐	淡灰褐～褐灰	
308	Ⅳa2層	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナデ	ナデ	微砂少量	良	淡褐	淡黄～淡灰黄	
309	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナデ	粗工具ナデ	良	良	淡茶褐	暗褐灰	
310	SK-12周辺 Ⅳa2層	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナデ	丁寧ミガキ	微砂やや多い	良	灰褐	淡黄褐～灰	
311	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナデ	工具ナデ	微砂少量	良	淡灰黄	淡褐	
312	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	粗ミガキ	工具ナデ	微砂少量	良	暗灰～暗褐	淡灰褐～褐灰	
313	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	粗ナデ	工具ナデ	微細砂、石英やや多い	良	茶褐～淡橙黄	淡褐灰～淡黄灰	

表7　出土遺物観察表（7）　土器（7）

No	出土地	種類	器種	法量(mm) 口径	底径	器高	調整 外面	内面	胎土	焼成	色調 外面	内面	備考
第29図 314	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナデ	ミガキ	良	良	淡橙灰～灰褐	灰褐～茶褐	
315	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	微砂微量	良	淡黄褐	黒褐	
316	Ⅳ'層	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナデ	ミガキ	微砂やや多い	良	淡黄褐～淡灰褐	淡黄褐～灰褐	
317	Ⅱ～Ⅲa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナデ	工具ナデ	微砂少量	良	褐～淡黄褐	灰褐	
318	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	微砂やや多い	良	淡黄灰～灰	灰褐～淡灰褐	
319	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	丁寧工具ナデ	工具ナデ	微砂少量	良	暗茶褐	淡黄灰～灰褐	
320	Ⅳ'層	縄文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	微細砂やや多い	良	茶褐～褐灰	明茶褐～灰褐	
321	Ⅳa層	縄文土器	台付皿？	—	—	—	粗ミガキ	粗ミガキ	微砂少量	良	暗褐灰～淡黄褐	灰褐～淡黄灰	
322	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	良	良	灰褐～褐	黄褐～淡橙褐	
323	ＳＫ-17の周辺	縄文土器	深鉢	—	—	—	粗工具ナデ～ミガキ	丁寧ナデ～ミガキ	細砂少量	良	暗茶灰	淡灰褐	
324	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	粗ミガキ	ミガキ	微細砂多量	良	褐～茶灰	褐灰～褐	
325	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	粗ミガキ	ミガキ～工具ナデ	微砂やや多い	良	淡灰褐～暗灰褐	淡茶灰～灰褐	
第30図 326	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	微砂やや多い	良	暗灰褐	暗茶灰～暗茶褐	
327	Ⅳa1層	縄文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	微細砂少量	良	灰褐～暗灰褐	灰褐～淡黒褐	
328	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	丁寧ミガキ	ミガキ	微砂、石英やや多い	良	淡茶褐～茶褐	淡橙茶	
329	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	工具ナデ	微細砂やや多い	良	暗褐灰～茶褐	暗褐灰～茶灰	
330	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	ミガキ	ミガキ	微細砂微量	良	淡茶灰～灰	淡灰黄	
331	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナデ	粗条痕	微砂やや多い	良	暗茶褐～暗褐	褐灰～淡茶褐	
332	Ⅳa層	縄文土器	鉢	350	—	—	ミガキ	ミガキ	微細砂微量	良	暗灰～暗灰褐	暗褐～灰褐	
333	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	ナデ	工具ナデ～条痕	微細砂少量	良	暗褐	褐～暗茶褐	
334	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	粗工具ナデ	工具ナデ	微細砂少量	良	暗褐	褐	
335	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	(256)	—	—	粗工具ナデ	ミガキ	微砂多量	良	淡灰～暗灰	淡黒灰～淡灰褐	
336	Ⅲa層	縄文土器	深鉢	217	—	—	ミガキ	ミガキ	微細砂少量	良	茶褐～淡茶褐	暗茶褐～淡橙黄	
337	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	98	—	体：条痕 底：工具ナデ	条痕	微砂少量	良	淡黄褐～褐	淡黄褐～淡灰褐	
338	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	体：条痕 底：工具ナデ	条痕	微砂少量	良	淡橙黄～淡黄褐	淡黄灰～淡黄褐	
339	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	—	—	—	工具ナデ	微細砂やや多い	良	淡黄灰～淡黄褐	淡黄～淡灰	網代底
340	排土	縄文土器	深鉢	—	—	—	網布痕	丁寧ナデ	微細砂微量	ややあまい	淡橙褐～茶褐	淡黒褐～暗茶褐	
341	Ⅳ層	縄文土器	深鉢	—	—	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂少量	良	淡黄褐	灰～暗灰	
342	Ⅲa層	縄文土器	深鉢	—	49	—	工具ナデ	ナデ	微砂、石英やや多い	良	茶褐～淡褐	暗褐灰	
343	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	58	—	体：粗ミガキ 底：粗工具ナデ	工具ナデ	微砂多量	良	淡黄褐	灰褐～灰	
344	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	83	—	粗工具ナデ	丁寧ナデ	微砂、石英少量	良	褐～淡黄褐	淡灰褐	
345	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	99	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂黒色粒少量	良	淡黄褐	暗茶灰～淡黄褐	
346	排土	縄文土器	深鉢	—	72	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂少量	良	淡灰褐	淡灰褐～淡橙褐	
347	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	72	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂少量	良	淡橙褐	淡灰褐～暗灰	
第31図 348	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	52	—	粗工具ナデ	粗工具ナデ	微砂少量	良	褐～淡黄褐	暗灰褐～灰	
349	Ⅲa層	縄文土器	深鉢	—	62	—	体：ミガキ 底：工具ナデ	工具ナデ～ナデ	微細砂少量	良	褐、淡黄褐	淡灰黄	
350	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	72	—	ミガキ	工具ナデ	微砂微量	良	淡黄褐、褐	暗茶灰～淡灰黄	
351	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	58	—	工具ナデ	ナデ	微砂、石英やや多い	良	褐～灰褐	暗褐灰	
352	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	51	—	工具ナデ	工具ナデ	微砂少量	良	淡黄灰	暗灰	
353	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	59	—	ミガキ	ミガキ	微砂やや多い	良	淡黄～淡黄褐	暗灰～灰	
354	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	60	—	ミガキ	ミガキ	微細砂、角閃石少量	良	淡橙黄～淡黄	淡灰黄～灰	
355	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	79	—	工具ナデ	ナデ	微細砂少量	良	淡黄～淡灰	灰～灰褐	
356	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	50	—	粗ミガキ～工具ナデ	工具ナデ	微砂少量	良	灰褐～淡灰	黄褐～淡灰黄	
357	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	69	—	工具ナデ	工具ナデ	微細砂少量	良	淡黄褐～淡橙黄	淡灰黄	
358	Ⅲa層	縄文土器	深鉢	—	61	—	体：ミガキ 底：工具ナデ	工具ナデ	微砂少量	良	暗褐、暗灰褐	淡茶灰～灰褐	
359	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	63	—	粗工具ナデ	工具ナデ	粗細砂少量	良	淡灰褐～淡黄褐	淡黄褐～淡褐灰	
360	Ⅳa層	縄文土器	深鉢	—	88	—	体：粗工具ナデ 底：条痕	—	微細砂少量	ややあまい	淡黄褐	橙褐～淡灰褐	
361	Ⅳa1層	縄文土器	台付鉢	—	—	—	ナデ	ナデ	微砂少量、黒色粒やや多い	良	淡茶褐～淡黄褐	淡茶褐～淡黄褐	

表８　出土遺物観察表（８）　石器・石製品

No	出土地	器種	法量（mm）			重さ g	石材
			長さ	幅	厚さ		
第10図 37	ＳＡ-01	管玉	16	径7	内径 2～3	1	瑠玉
38	ＳＡ-01	石鏃未製品	28	25	7	5	チャート
39	ＳＡ-01	石鏃	15	11	3	—	黒曜石
第13図 114	ＳＡ-02	石鏃未製品	25	(18)	5	2	チャート
第17図 170	ＳＡ-03	砥石	190	73	47	—	砂岩
176	ＳＡ-03	石鏃	(23)	19	4	1	黒曜石
177	ＳＡ-03	石鏃	19	(11)	3	1	黒曜石
178	ＳＡ-03	石鏃	(14)	18	2	1	チャート
179	ＳＡ-03	石匙	(15)	(26)	10	4	安山岩
第32図 362	Ⅳa層	石鏃	19	18	4	1	黒曜石
363	Ⅱ～Ⅲa層	石鏃	21	15	3	—	チャート
364	Ⅳa層	石鏃	18	13	3	—	黒曜石
365	Ⅳa層	石鏃	16	18	4	—	安山岩
366	Ⅳa1層	石鏃	18	12	3	1	チャート
367	Ⅳ'層	石鏃	16	10	3	—	黒曜石
368	Ⅳa層	石鏃	15	8	3	—	チャート
369	Ⅱ区	石鏃	17	16	3	—	チャート
370	Ⅳa層	石鏃	(13)	18	3	—	安山岩
371	Ⅱ～Ⅲ層	石鏃	17	18	3	1	チャート
372	Ⅲa層	石鏃	19	(16)	2	—	チャート
373	Ⅲa層	石鏃未製品	19	16	4	1	チャート
374	ＳＫ-18	石鏃	18	18	4	1	チャート
375	Ⅳa層	石鏃	17	(15)	4	—	黒曜石
376	Ⅳa1層	石鏃	19	(14)	4	1	黒曜石
377	ＳＫ-01	石鏃	25	15	3	1	チャート
378	ＳＫ-40	石鏃	24	14	4	1	チャート
379	ＳＫ-12	石鏃	17	16	6	1	黒曜石
380	ＳＫ-26	石鏃	25	(16)	5	1	黒曜石
381	Ⅲa層	石鏃	24	14	2	1	チャート
382	ＳＫ-17	石鏃	(15)	(16)	2	1	黒曜石
383	ＳＤ-08	石鏃	21	(13)	4	1	黒曜石
384	Ⅳ'層	石鏃	(17)	(15)	5	1	黒曜石
385	Ⅱ層	石鏃	(19)	(17)	4	1	黒曜石
386	Ⅱ～Ⅲ層	石鏃未製品	(22)	23	6	3	黒曜石
387	Ⅳa層	石鏃	(21)	(18)	5	2	黒曜石
388	Ⅱ層	石鏃未製品	22	(17)	5	2	黒曜石
389	ＳＡ-02の北Ⅳa層	石鏃	26	(15)	4	1	黒曜石
390	Ⅱ層	石鏃	(19)	16	2	1	玉髄
391	ＳＤ-04	石鏃	(17)	16	3	1	チャート
392	Ⅱ層	石鏃	(12)	17	3	1	黒曜石
393	Ⅱ層	石鏃	23	15	5	2	チャート
394	Ⅲa層	石鏃	(16)	(19)	3	1	黒曜石
395	ＳＤ-11	石鏃未製品	(23)	18	8	2	頁岩
396	Ⅲa層	石鏃未製品	(22)	18	5	2	チャート
397	Ⅳa層	石鏃	(18)	(16)	3	1	黒曜石
398	ＳＤ-13	石鏃	(15)	10	3	—	黒曜石
399	Ⅱ層	石鏃未製品	30	20	9	4	チャート
400	Ⅲa層	石鏃未製品	34	17	9	4	チャート
401	Ⅲa層	石鏃	33	(15)	5	2	チャート
402	Ⅳ'層	石鏃未製品	29	23	7	4	チャート
403	ＳＫ-18	石鏃	(10)	(10)	(2)	—	黒曜石
第33図 404	ＳＤ-11	石鏃未製品	15	14	3	—	チャート
405	ＳＫ-42	石鏃未製品	18	18	7	2	チャート
406	Ⅳa層	石鏃	(17)	(16)	3	1	黒曜石
407	Ⅳ'層	石鏃	(19)	20	3	1	黒曜石
408	ＳＺ-03	石鏃	(18)	19	4	1	黒曜石
409	Ⅳa層	石鏃	(13)	(12)	3	—	チャート
410	Ⅰ層	異形石鏃未製品	31	30	6	10	緑色片岩
411	Ⅳa層	石錐	29	22	10	6	チャート
412	ＳＫ-26	石錐	19	15	3	1	玉髄
413	ＳＺ-04	石錐	20	15	2	1	頁岩
414	Ⅳa層	石錐	20	6	2	—	チャート
415	Ⅱ層	石匙	40	23	10	7	頁岩
416	Ⅱ層	スクレイパー	30	23	8	7	チャート
417	ＳＫ-25	スクレイパー	26	32	7	4	黒曜石
418	ＳＫ-25	スクレイパー？	17	(23)	3	2	黒曜石
419	Ⅳa層	スクレイパー	33	45	6	11	黒曜石
420	ＳＡ-01の南	スクレイパー	70	(37)	10	25	チャート
421	ＳＫ-17	敲き石	56	51	44	198	石英
422	Ⅳ層	投弾	39	27	24	28	溶結凝灰岩
423	Ⅳa層	石錘	28	34	9	14	緑色片岩？
424	Ⅳa層	石錘	27	32	7	10	緑色片岩
第34図 425	ＳＫ-12	磨石	115	(85)	78	—	溶結凝灰岩
426	Ⅳa層	磨石	123	90	41	770	砂岩
427	Ⅳa層	磨石	94	70	41	515	溶結凝灰岩
428	Ⅳa層	磨石	(53)	(69)	44	246	溶結凝灰岩
429	Ⅳa層	磨石	(65)	90	51	422	溶結凝灰岩
430	Ⅳa層	石斧転用磨石	91	63	43	366	砂岩
431	ＳＫ-11	磨石	134	104	48	—	砂岩
432	Ⅳa層	磨石	(52)	(96)	38	274	溶結粗細粒砂岩
433	Ⅳa層	磨石・敲き石	(70)	101	53	605	砂岩
434	Ⅳa層	磨石	(74)	100	55	650	溶結粗細粒砂岩
第35図 435	ＳＫ-25	磨石	98	90	54	735	溶結凝灰岩
436	Ⅳa層	円形打製石器	(51)	(97)	38	274	溶結粗細粒砂岩？
437	Ⅳa層	円形打製石器	101	100	14	220	溶結凝灰岩
438	ＳＫ-18、19、21 ＳＺ-03	円形打製石器	99	105	11	176	溶結粗細粒砂岩
439	ＳＫ-25	円形打製石器	100	99	18	264	砂岩
440	ＳＫ-40	円形打製石器	(45)	(98)	10	50	溶結凝灰岩
441	ＳＫ-25	器面調整具	136	14	10	35	硬砂岩
442	ＳＫ-13	石斧	129	61	27	278	砂岩
443	Ⅳa層	石皿	(436)	320	88	—	溶結凝灰岩
444	ＳＫ-17	石皿	(255)	(253)	85	—	溶結凝灰岩

表9　出土遺物観察表（9）特殊遺物・土製品

No	出土地	種類	器種	法量（mm）		調整		胎土	焼成	色調		備考
				径	厚さ	外面	内面			外面	内面	
第10図 36	SA-01	鉱物	朱玉	長さ：30 幅：26	6	—	—	—	—	朱	—	
第13図 113	SA-02	ガラス製品	小玉	4	5	—	—	—	—	淡青	—	
第17図 171	SA-03	土製品	円盤	45	10	工具ナデ	工具ナデ～ナデ	微砂少量	ややあまい	淡橙褐～茶褐	淡黄褐	土師器坏転用
172	SA-03	鉱物	朱玉	長さ：(27) 幅：17	5	—	—	—	—	暗赤褐	—	
173	SA-03	鉱物	朱玉	長さ：28 幅：(15)	5	—	—	—	—	暗赤褐	—	
174	SA-03	ガラス製品	小玉	4.7	3.1	—	—	—	—	オリーブ	—	
175	SA-03	ガラス製品	小玉	3.9	2.4	—	—	—	—	オリーブ	—	
第20図 207	Ⅳa層	古瓦	丸瓦	—	—	凸：ハケ	凹：布痕	微細砂やや多い	良（軟陶質土）	凸：淡灰～淡黄	凹：淡灰～灰	
208	Ⅳ層	土製品	紡錘車	39	9	工具ナデ	工具ナデ	良	良	淡橙褐	淡灰～灰	
209	Ⅳa層	土製品	円盤	43	7	工具ナデ	浅い条痕	微砂多量	良	淡黄褐	淡橙褐	

第6節　まとめ

調査区は、内丸遺跡の中の極く一部にすぎないが、縄文時代前期には何らかの痕跡が認められる。後期後半には半定住化し、貯蔵穴も有する。大型の舟型土坑は6基検出したが、SK-11と42、SK-26と31・40・58は各々同一方向の主軸を持つことから、ほぼ同時期の遺構と思われる。ただ、いずれの土坑も遺物が少なく、被熱痕や焼土も無いことから、機能に結びつく根拠に欠ける。推定の域を出ないが、相当量の有機物が廃棄された土坑だったのではないかと想定される。

晩期末から古墳時代前期までは居住の痕跡が無い。5世紀末から6世紀初頭には、竪穴住居が構築される。主軸も規模も異なる3棟であるが、時期差は殆ど無い。

古墳時代後期から奈良時代にかけては断絶する。

9世紀後半、若干の生活痕があるが、中世前半まで再度断絶する。

中世後半、水路を構築し、一部耕地化する。

近世後半以降、水路を構築し、前面が耕地化、現在に至る。

第４章　弁財天遺跡

第４章　弁財天遺跡

第１節　はじめに

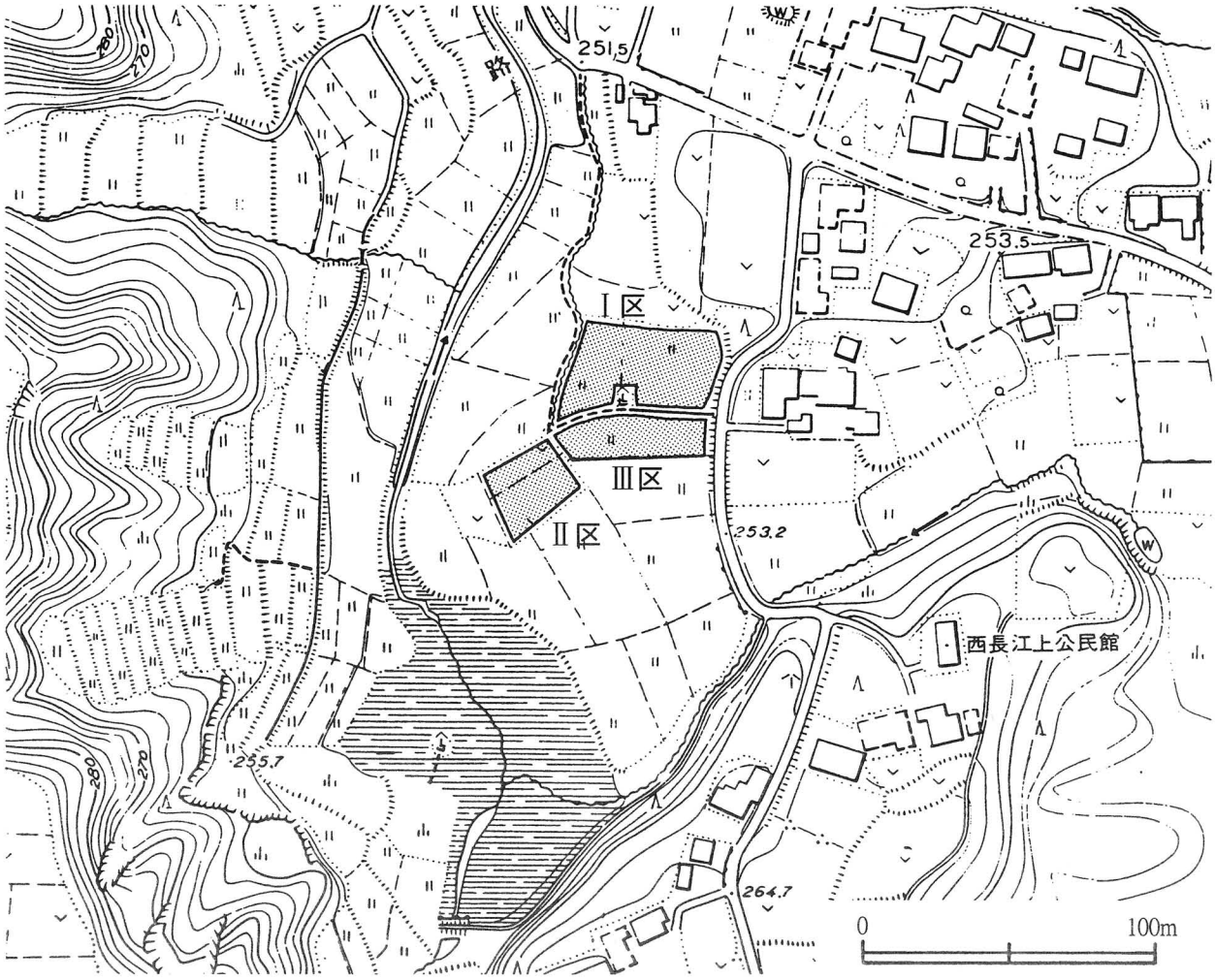
弁財天遺跡は、えびの市大字西長江浦字弁財天に位置した、標高251ｍ前後の谷部にある。背後の谷頭には豊富な湧水があり、田畑を潤している。調査区は便宜的にⅠ～Ⅲ区に分け、Ⅱ区の調査終了後に工事用道路建設地として一部明け渡したため、航空写真では北西隅が欠けている。

Ⅰ区の南中央には性空上人堂がある。北東の畑地には「茶屋敷」という俗称があり、個人的基盤整備の際に直径60㎝前後の整然と並ぶ柱穴や直径30㎝前後の柱根も遺存していたらしい。

事前の試掘調査では遺構の密度は低いと推定されたが、Ⅲ区においては無数の柱穴を検出し、深さ１ｍに達する柱穴も多く、掘り込みにも時間を費やした。

第２節　基本的層序

層序は内丸遺跡に準ずるが、Ⅳａ層（遺構面を形成するアカホヤ火山灰２次堆積層）は厚さ70㎝内外を測るが、無遺物層である。Ⅳｂ層は黄褐色の粘質土、Ⅴ層は淡黄白色の粘質土で、以下は谷の埋積土である。



第１図　弁財天遺跡　地区割図（１：2,500）

第３節　古代～中世の調査

古代においては建物等の明確な遺構は無いが、旧谷（ＳＸ-01）の覆土から遺物が出土している。

ＳＸ-01（第４図）

Ｉ区中央に谷頭があり、東側を覆っている。上層は灰色系の粘質土で埋められており、近世末～近代の水田化に伴う客土と思われる。中層は灰褐色～淡黒灰色を主とする土層で、古代～中世の遺物を含んでいる。西側中央部では、９～10世紀の土師器が集中して検出された（第27図-**57**～第30図-**155**）。最下層は砂礫層でやや摩滅した縄文土器が出土している（第26図-**4～15**）。当該期の遺構は無く、北～東の高位面からの流れ込みと思われる。中層には青花も包蔵しており、集落廃絶後に埋没が始まったことを示す。

谷頭寄りの底面には、長径１ｍ、短径80㎝・深さ50㎝の土坑があり（ＳＫ-37）、その南西肩部には30～40㎝大の礫３個が、北西肩部には10～25㎝大の礫が３個置かれている。底面からは適度な水が湧き出すことから、水汲み用の穴と足場ではないかと推定される。

南側中央部と南西隅では底面に無数の杭跡がみられ（第５・６図）、機能は不明であるが逆茂木が構築されていたようである。

遺構の殆どは中世であり柱穴は1800基あまり検出したが、特にⅢ区においては密集している為に復元が困難であるものの掘立柱建物跡30棟のほか、竪穴状遺構・土坑・土壙墓が混在する。

ＳＢ-01（第９図）

梁行２間（4.0ｍ）、桁行３間（6.0～6.1ｍ）の東西方向の建物跡である。柱穴の規模は、直径35～53㎝、深さ24～60㎝を測る。主軸方位はＥ1°Ｎである。

ＳＢ-02（第９図）

梁行１間（1.9ｍ）、桁行２間（4.0ｍ）の建物の可能性がある。柱穴の規模は、直径26～37㎝、深さ32～50㎝を測る。主軸方位はＮ32°Ｗである。

ＳＢ-03（第９図）

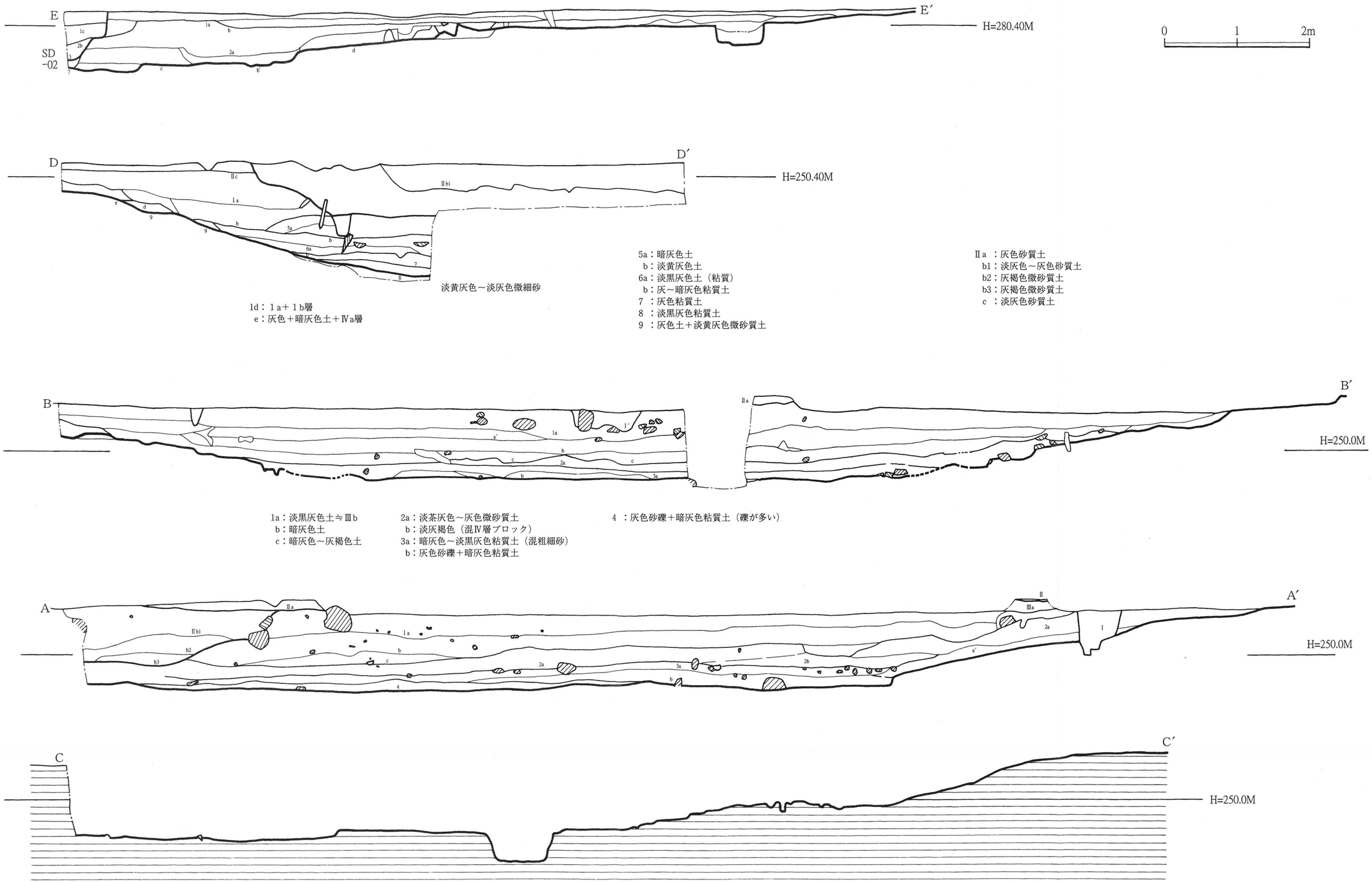
梁行１間（2.0～2.8ｍ）、桁行２間（3.85～4.1ｍ）の南北方向の建物である。柱穴の規模は、直径30～50㎝、深さ32～42㎝を測る。主軸方位は、Ｎ3°Ｅである。

ＳＢ-04（第９図）

調査区内で唯一の、方２間の総柱建物である。梁行（東西）２間（3.92～4.04ｍ）、桁行（南北）２間（4.10ｍ）で、柱穴の規模は、直径33～40㎝、深さ40～72㎝を測り、中心の柱穴が最大である。

第２図　遺構全体図

第３図　Ⅰ・Ⅲ区　遺構分布図



第４図　ＳＸ-01　層序・断面図

主軸方位は、Nである。

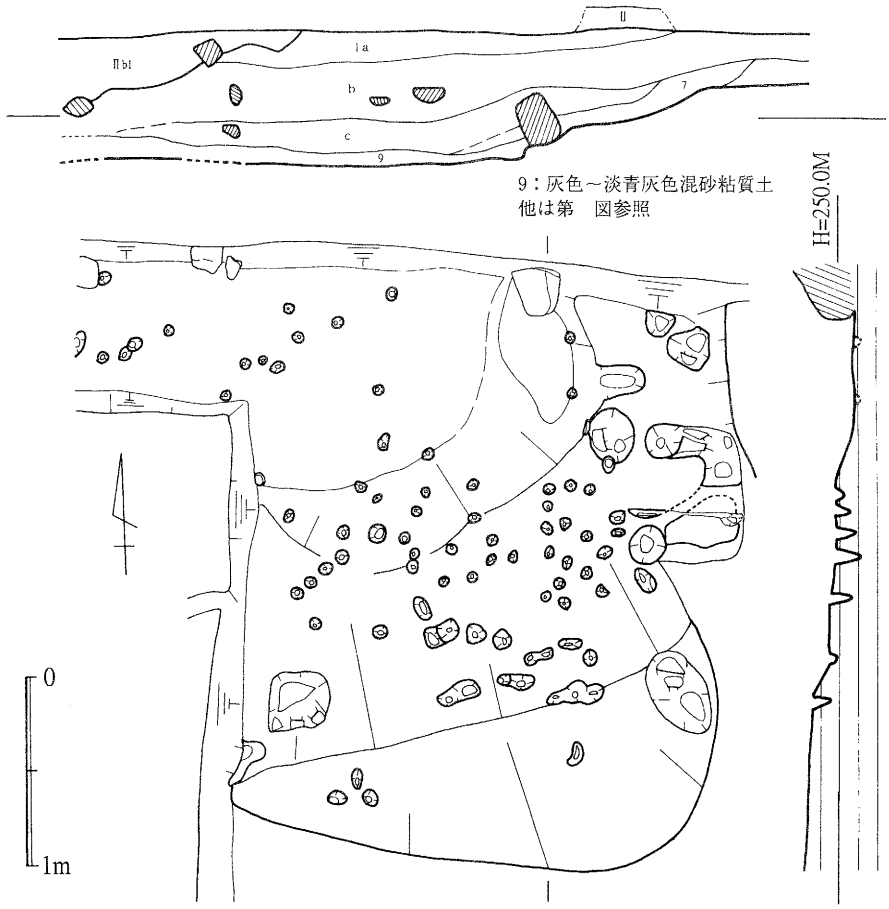
ＳＢ-05（第10図）

梁行１間（2.44ｍ）、桁行２間（4.30ｍ）の東西方向の建物である。

柱穴の規模は、直径30～38㎝、深さ30～56㎝を測る。主軸方位はＮ２°Ｅである。

ＳＢ-06（第10図）

梁行２間（4.84ｍ）、桁行１間(1.95～2.04ｍ)以上の南北方向の建物である。柱穴の規模は、直径24～30㎝、深さ30～42㎝を測る。主軸方位は、N11°Ｓである。



第５図　Ｉ区　西中央部　逆茂木遺構　実測図

ＳＢ-07（第10図）

梁行２間（4.03ｍ）、桁行２間（3.92ｍ）以上の南北方位の建物である。柱穴の規模は、直径32～55㎝、深さ44～95㎝を測る。主軸方位は、Ｎ２°Ｅである。

ＳＢ-08（第10図）

梁行２間（4.0～4.08ｍ）、桁行３間（5.0～5.06ｍ）の東西方向の建物を推定したが、桁の間隔が狭いので、疑問が残る。柱穴の規模は、直径38～56㎝、深さ31～64㎝を測る。主軸方位は、Ｅ１°Ｎである。

ＳＢ-09（第11図）

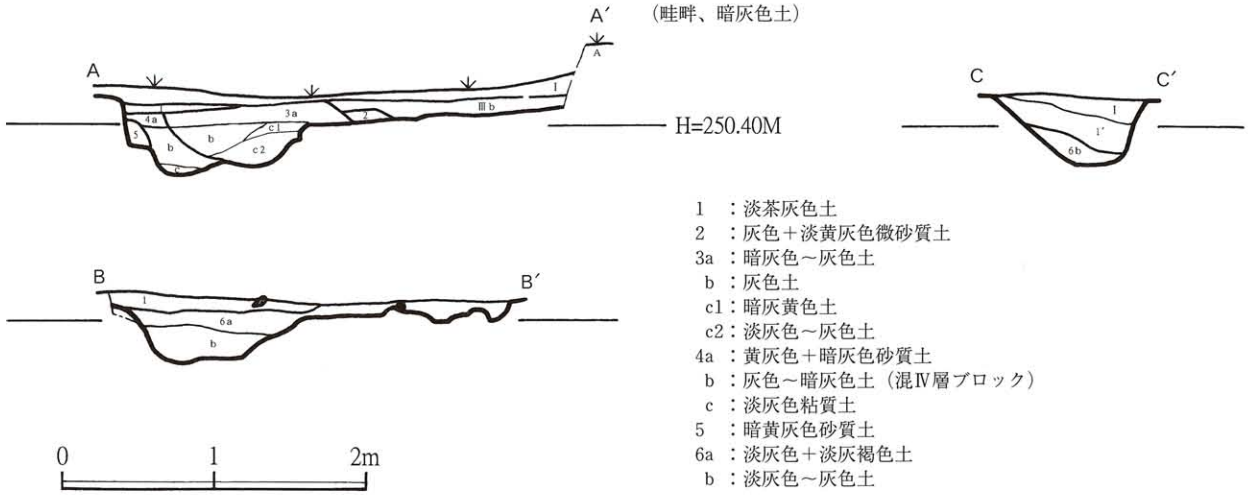
梁行２間（4.48ｍ）、桁行４間（7.90ｍ）の南北方向の建物である。柱穴の規模は、直径25～52㎝、深さ24～97㎝を測る。主軸方位は、Ｎ１°Ｅである。

ＳＢ-10（第11図）

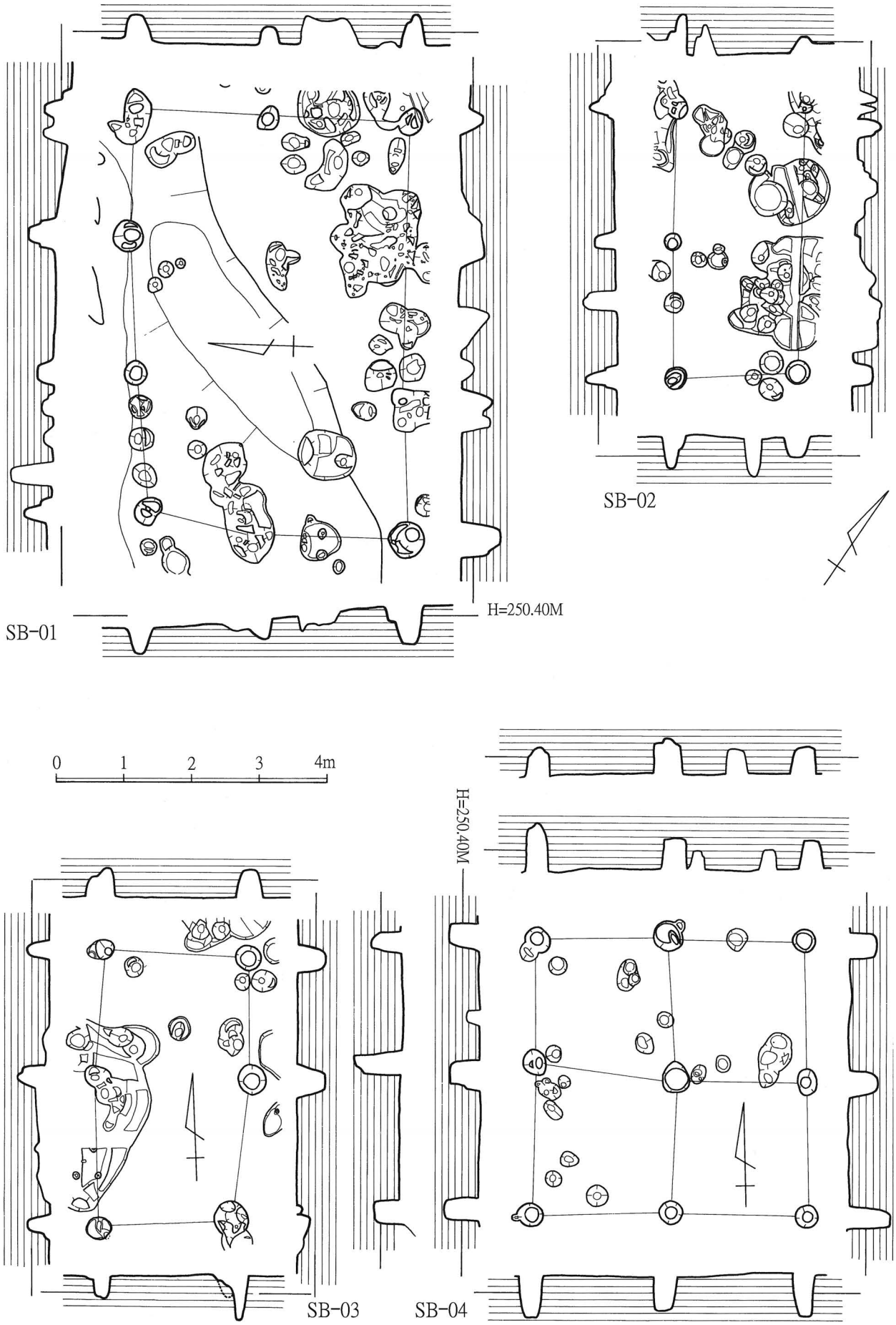
第６図　Ⅰ区南西隅　逆茂木遺構　実測図

第７図　Ⅱ区　遺構分布図

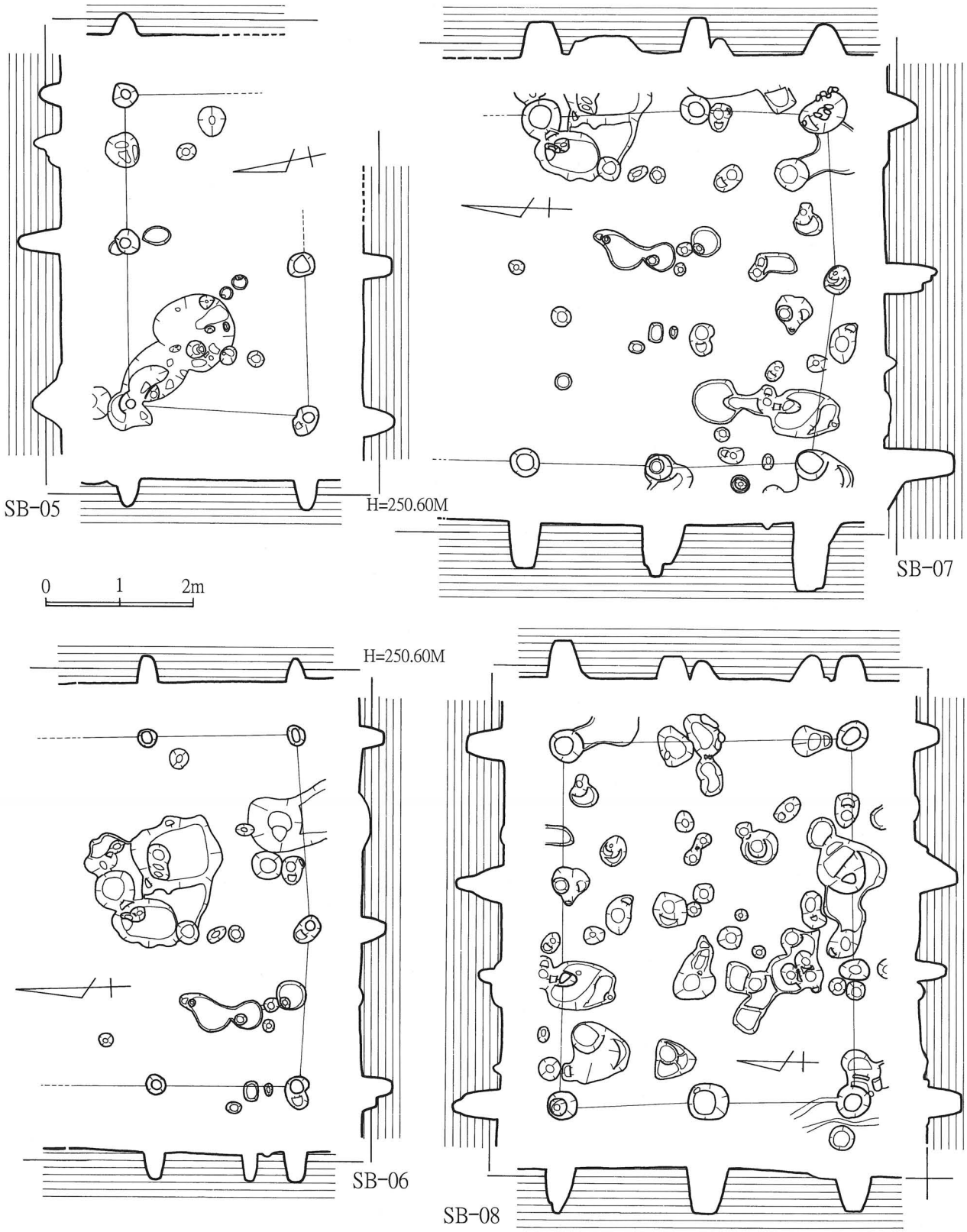
梁行２間（4.80～5.08ｍ）、桁行４間（7.95～8.0ｍ）の南北方位の建物である。柱穴の規模は、直径29～48㎝、深さ18～95㎝を測る。主軸方位は、Ｎ２°Ｅである。



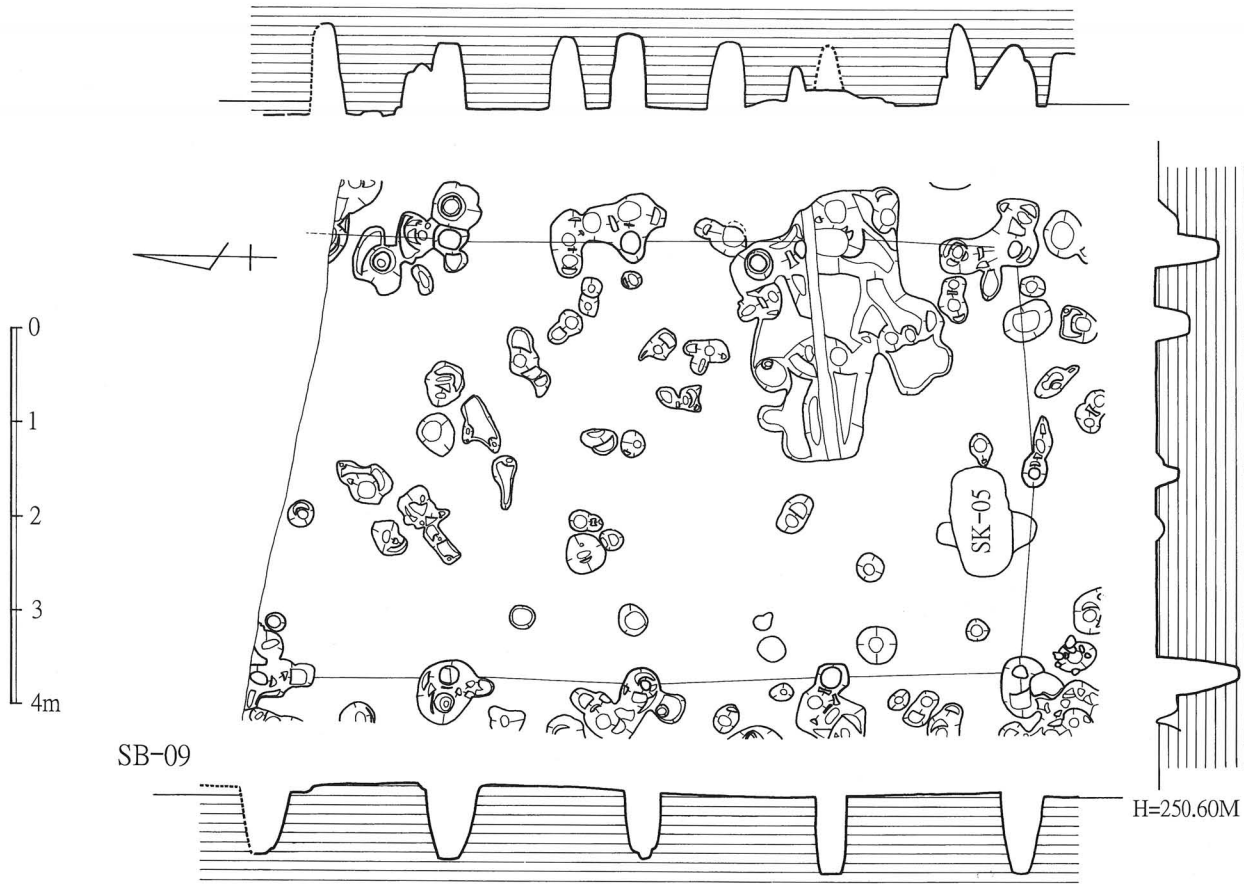
第８図　ＳＤ-02　断面層序図

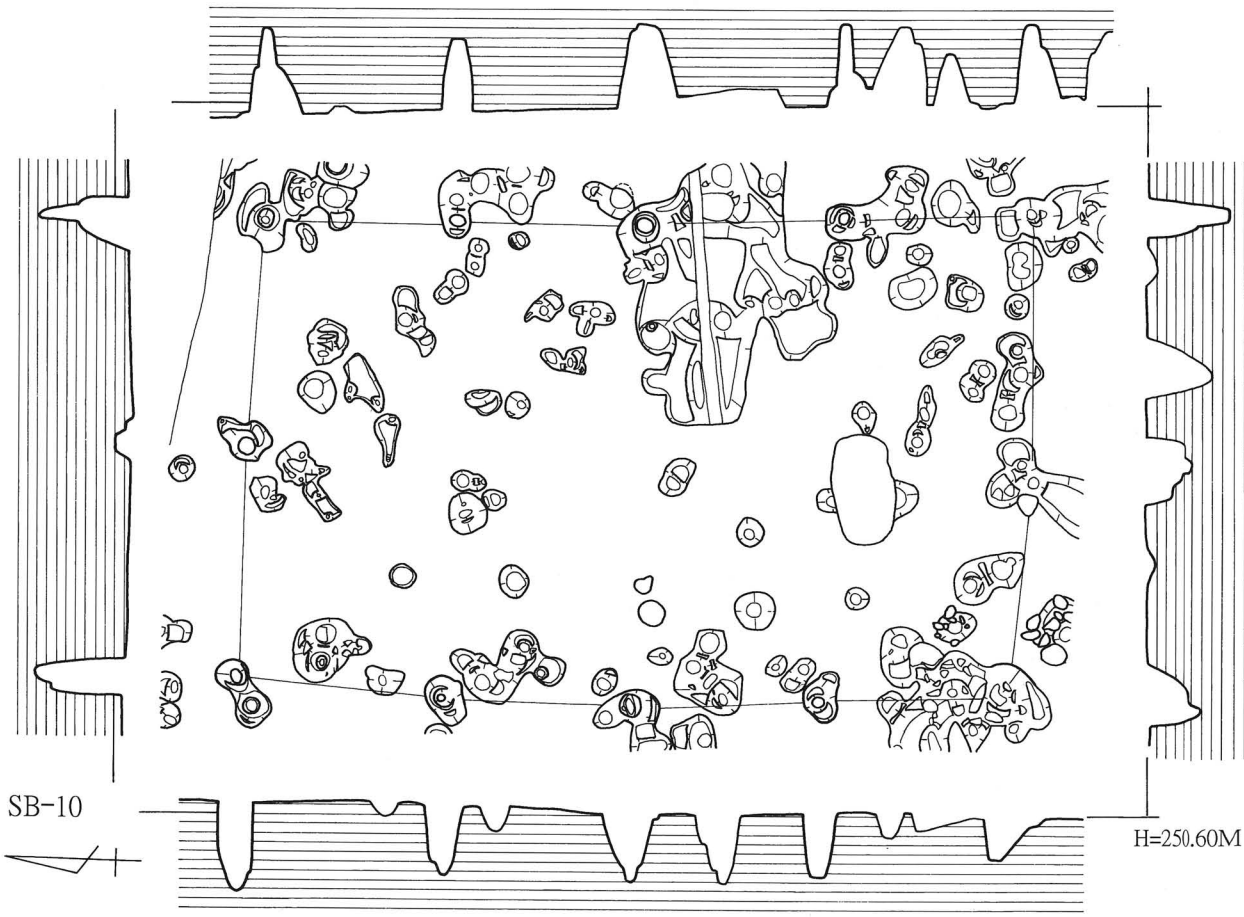


第９図　ＳＢ-01～04　　遺構実測図



第10図　ＳＢ-05～08　遺構実測図

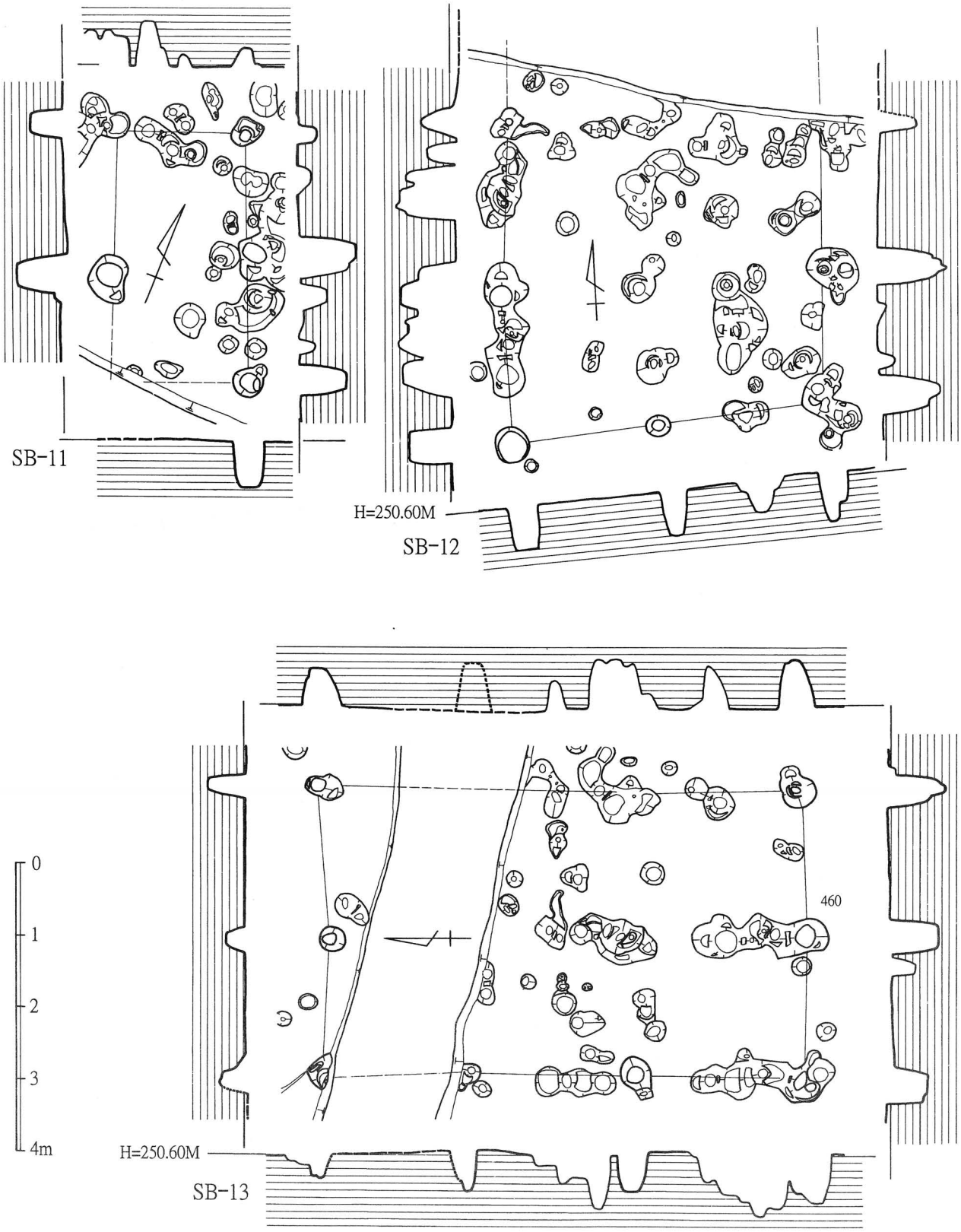




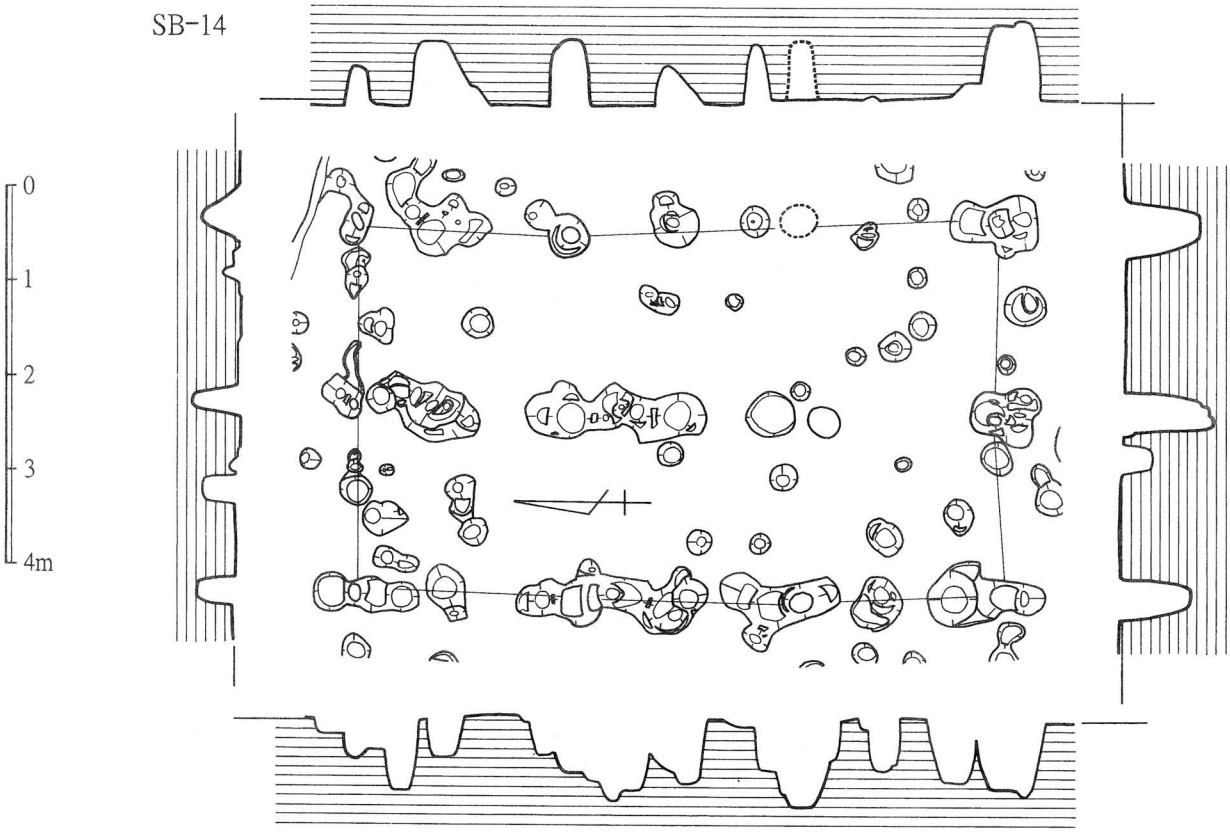
第11図　ＳＢ-09・10　遺構実測図

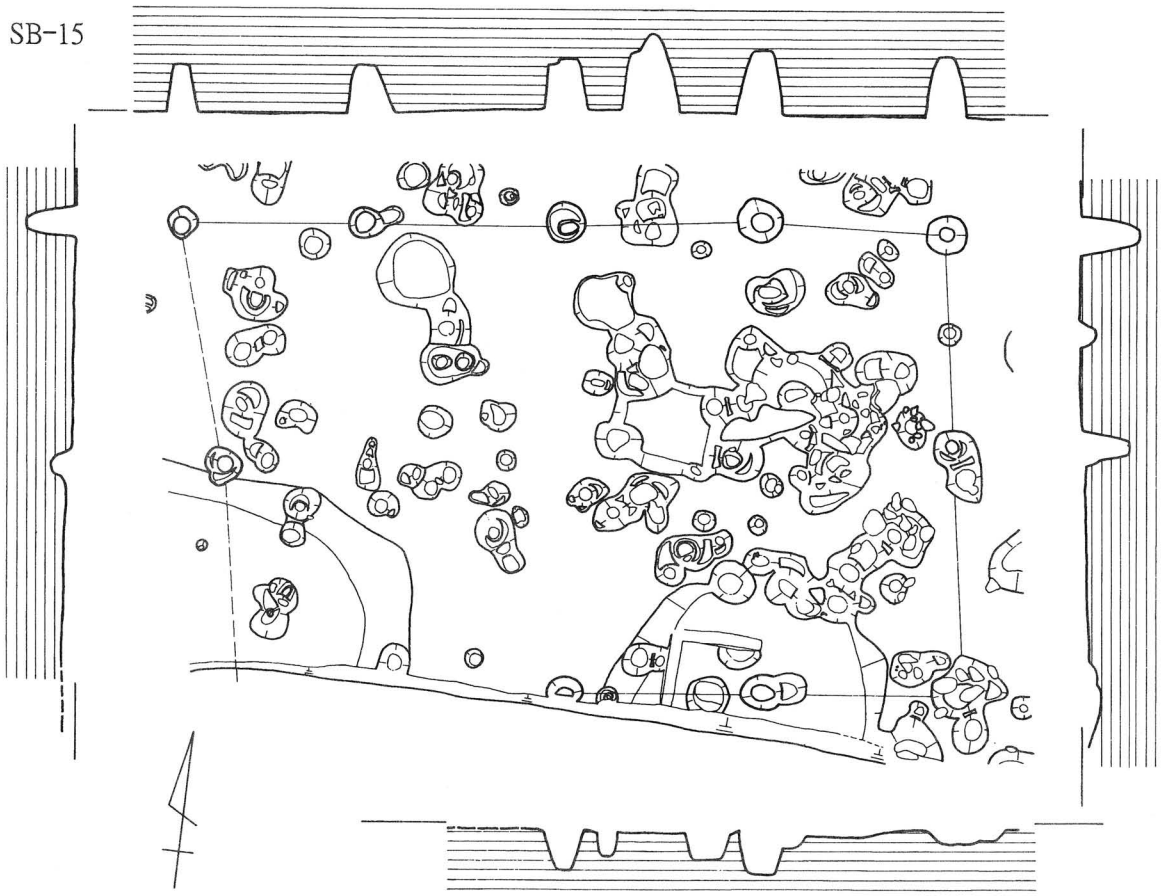
ＳＢ-11（第12図）

梁行１間（1.76ｍ）、桁行２間（3.44ｍ）の建物の可能性がある。柱穴の規模は、直径35～47㎝、深さ29～77㎝を測る。主軸方位は、N20°Wである。北面の柱穴２個が他と比べて小さいことや、同一の主軸方位の建物が無いことを勘案すると、復元は否定されるかもしれない。



第12図　ＳＢ-11～13　遺構図実測図





第13図　ＳＢ-14・15　遺構実測図

ＳＢ-12（第12図）

梁行２間（4.2ｍ）、桁行２間（3.84～4.48ｍ）以上の南北方向の建物である。柱穴の規模は、直径28～48㎝、深さ49～97㎝を測る。主軸方向は、Ｎ２°Ｗである。

ＳＢ-13（第12図）

梁行２間（3.98～4.08ｍ）、桁行４間（6.52～6.8ｍ）の南北方向の建物である。柱穴の規模は、直径25～47㎝、深さ26～80㎝を測る。主軸方位は、Ｎ１°Ｅである。

ＳＢ-14（第13図）

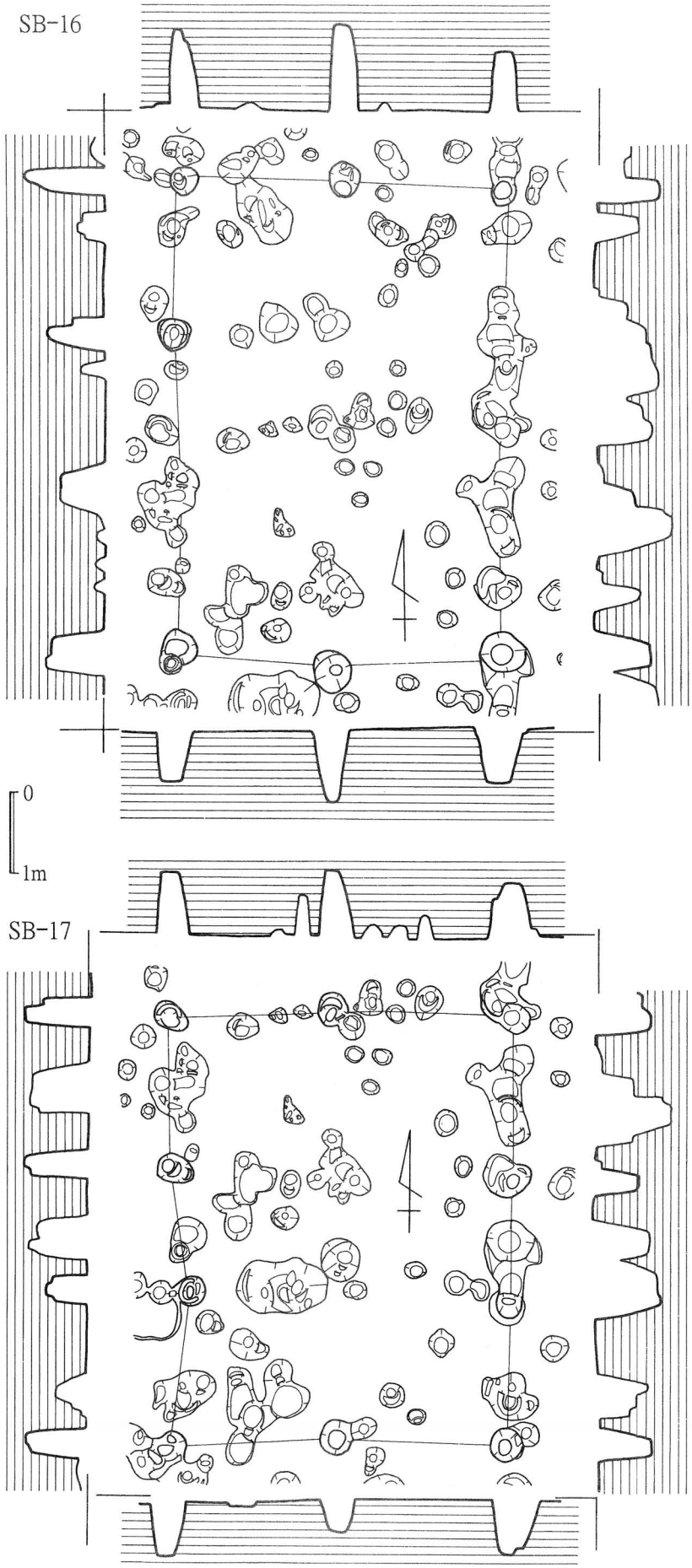
梁行２間（3.94ｍ）、桁行３間（6.66～6.80ｍ）の南北方向の建物である。柱穴の規模は、直径27～52㎝、深さ38～96㎝を測る。主軸方位は、Ｎである。

ＳＢ-15（第13図）

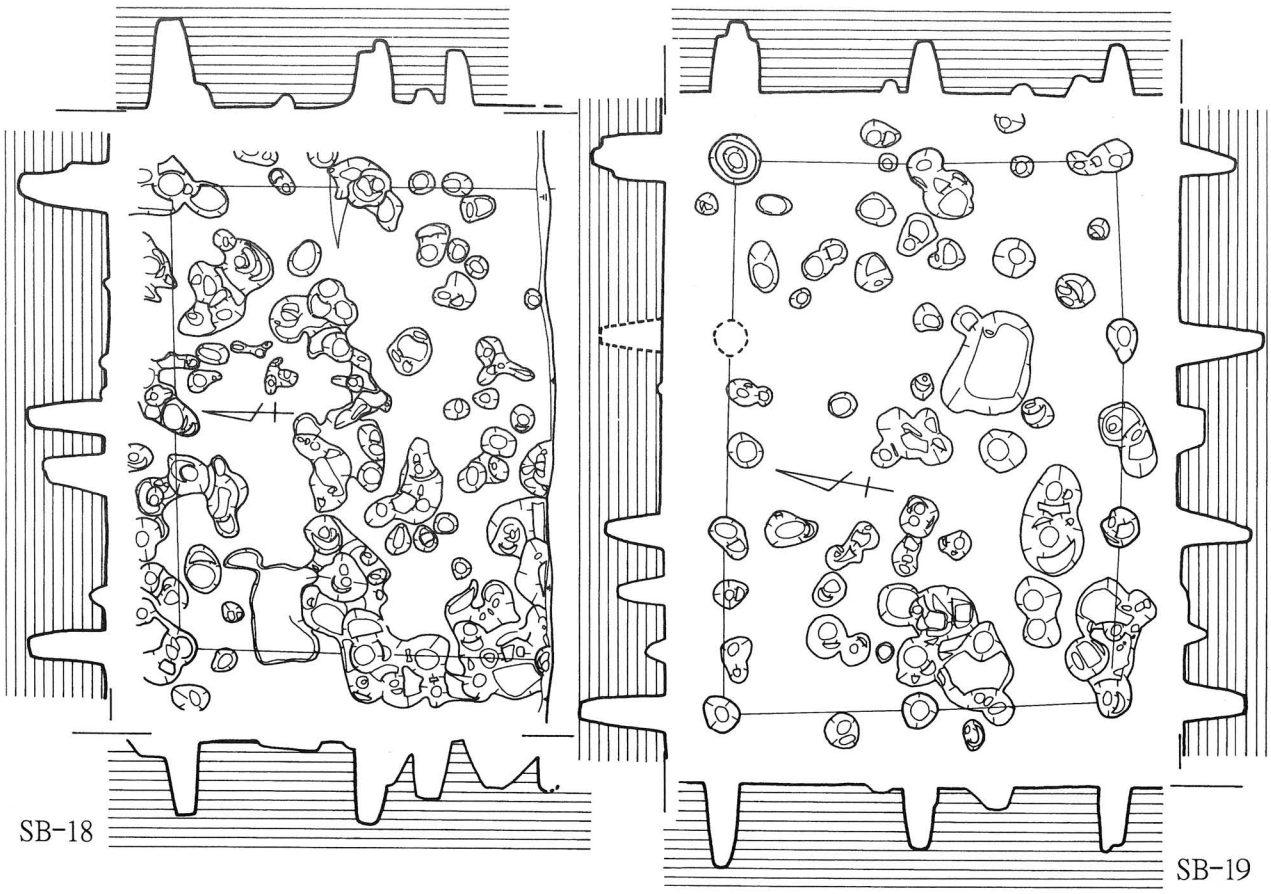
梁行２間（4.46ｍ）、桁行４間（7.96ｍ）の東西方向の建物である。柱穴の規模は、直径28～47㎝、深さ20～64㎝を測る。主軸方位は、Ｅ８°Ｎである。

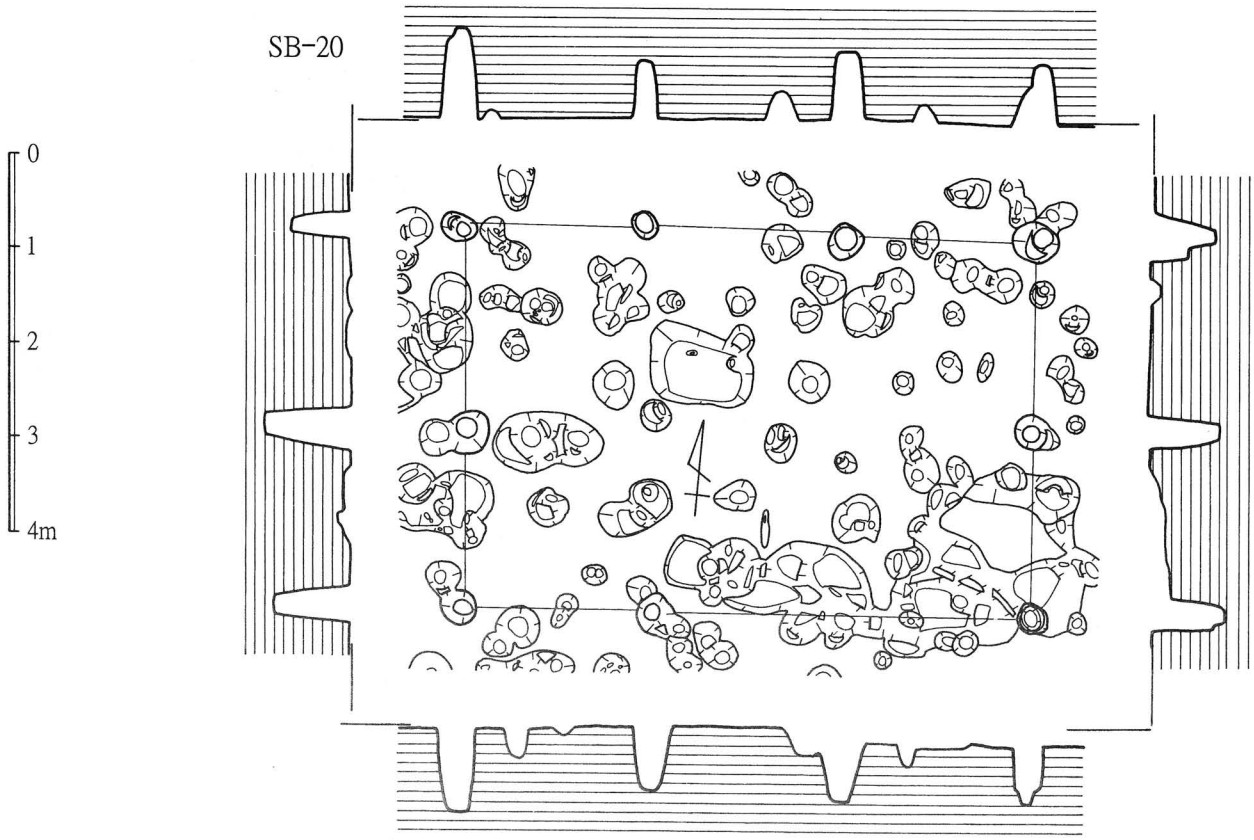
ＳＢ-16（第14図）

梁行２間（4.0ｍ）、桁行３間（5.86ｍ）の南北方向の建物で、柱穴の規模は、直径30～56㎝、

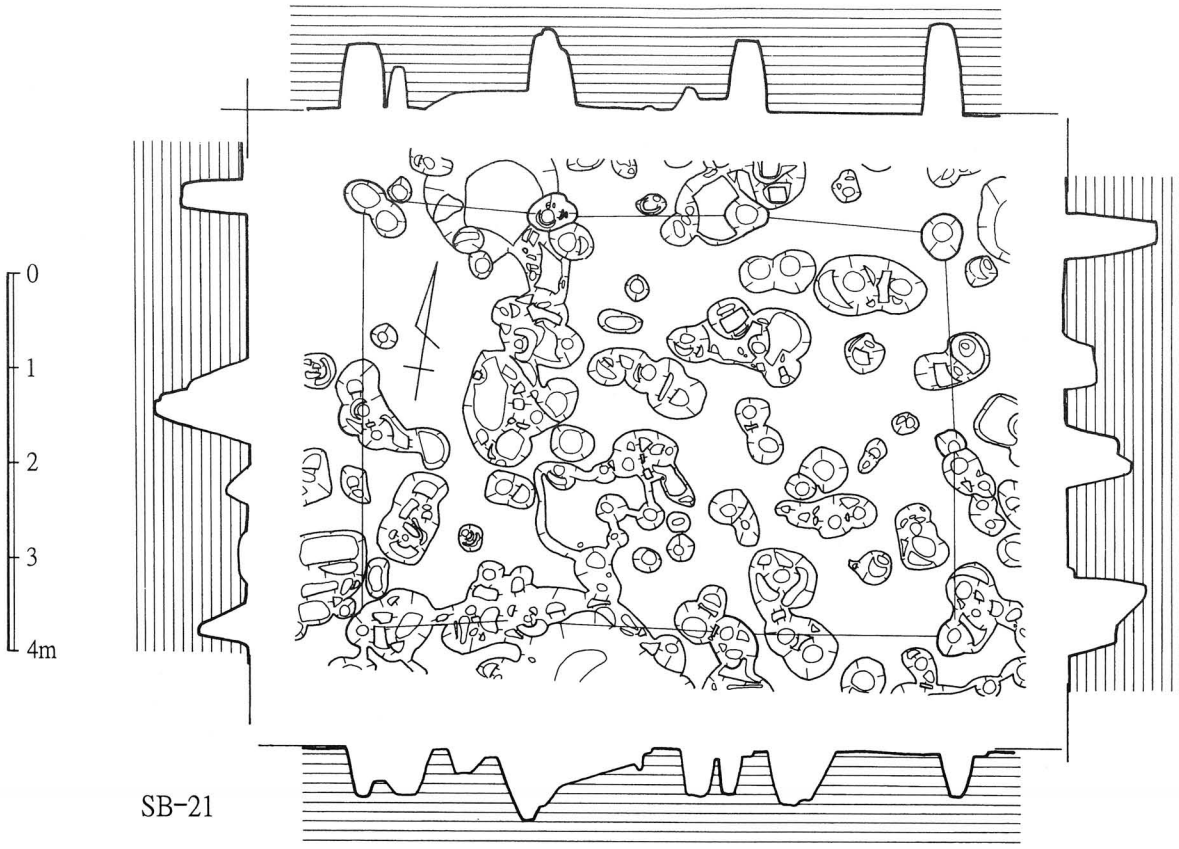


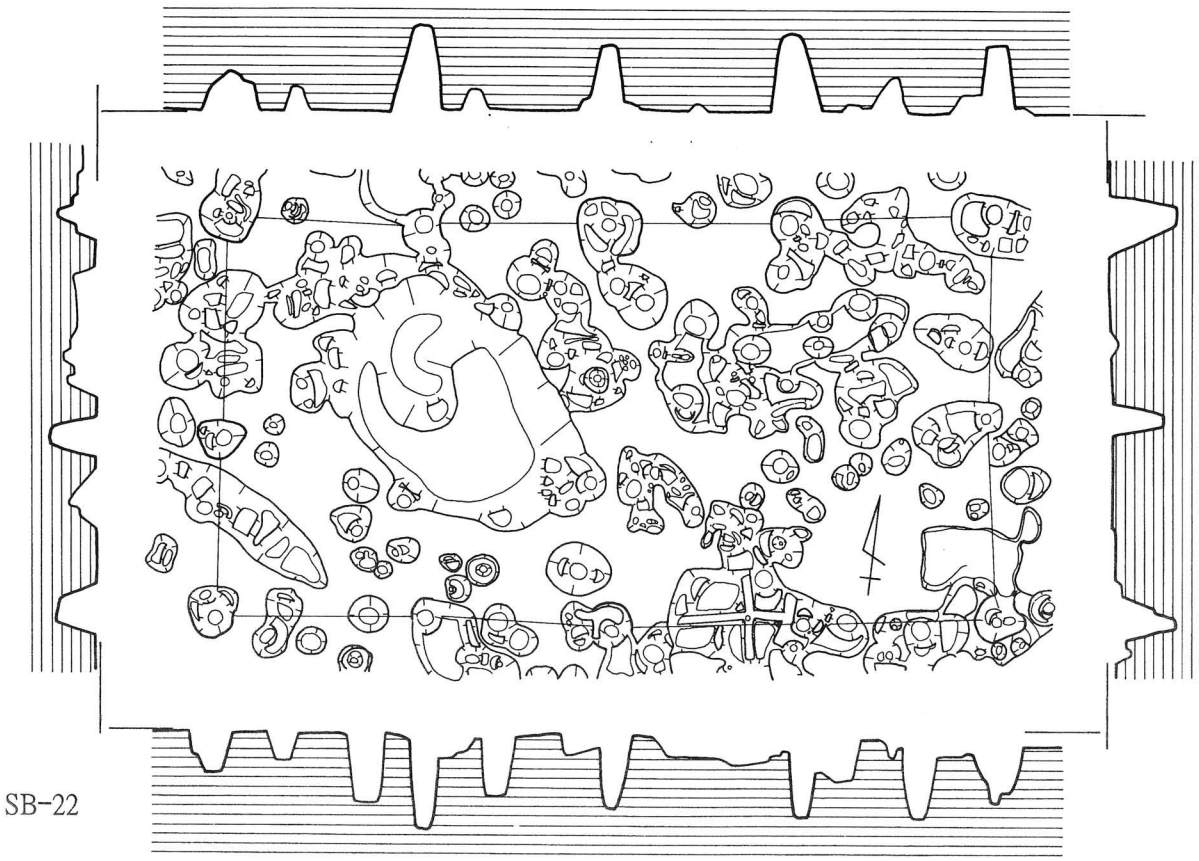
第14図　ＳＢ-16・17　遺構実測図





第15図　ＳＢ-18～20　遺構実測図



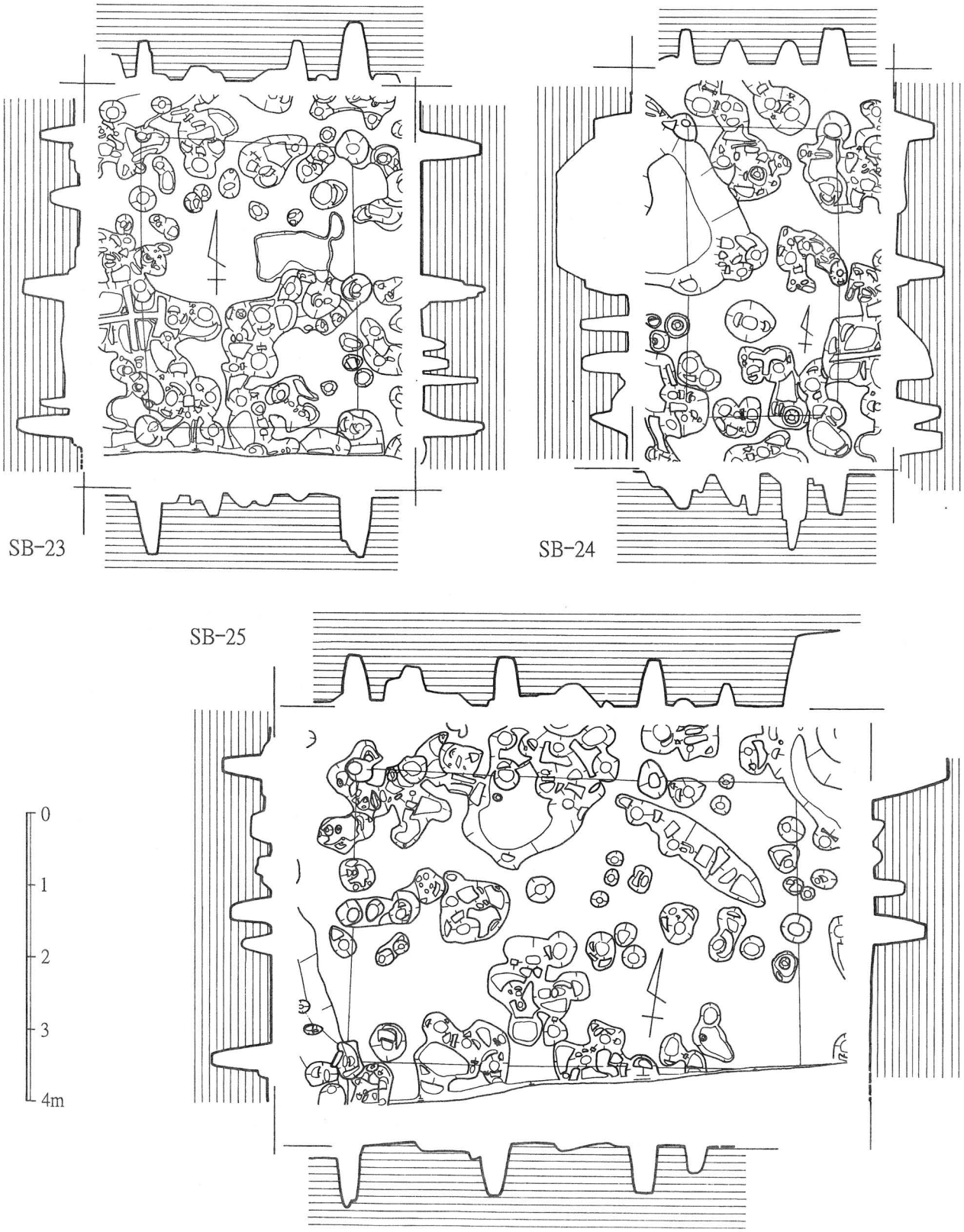


第16図　ＳＢ-21・22　遺構実測図

深さ53～109㎝を測る。主軸方位は、Ｎ３°Ｅである。

ＳＢ-17（第14図）

梁行２間（4.16～4.22ｍ）、桁行３間（5.30ｍ）の南北方向の建物である。柱穴の規模は、直径32



第17図　ＳＢ-23～25　遺構実測図

～43cm、深さ41～80cmを測る。主軸方位は、N１°Eである。

ＳＢ-18（第15図）

梁行２間（3.76m）、桁行２間（4.90m）の東西方向の建物である。柱穴の規模は、直径32～48cm、深さ65～93cmを測る。主軸方位は、E２°Nである。

ＳＢ-19（第15図）

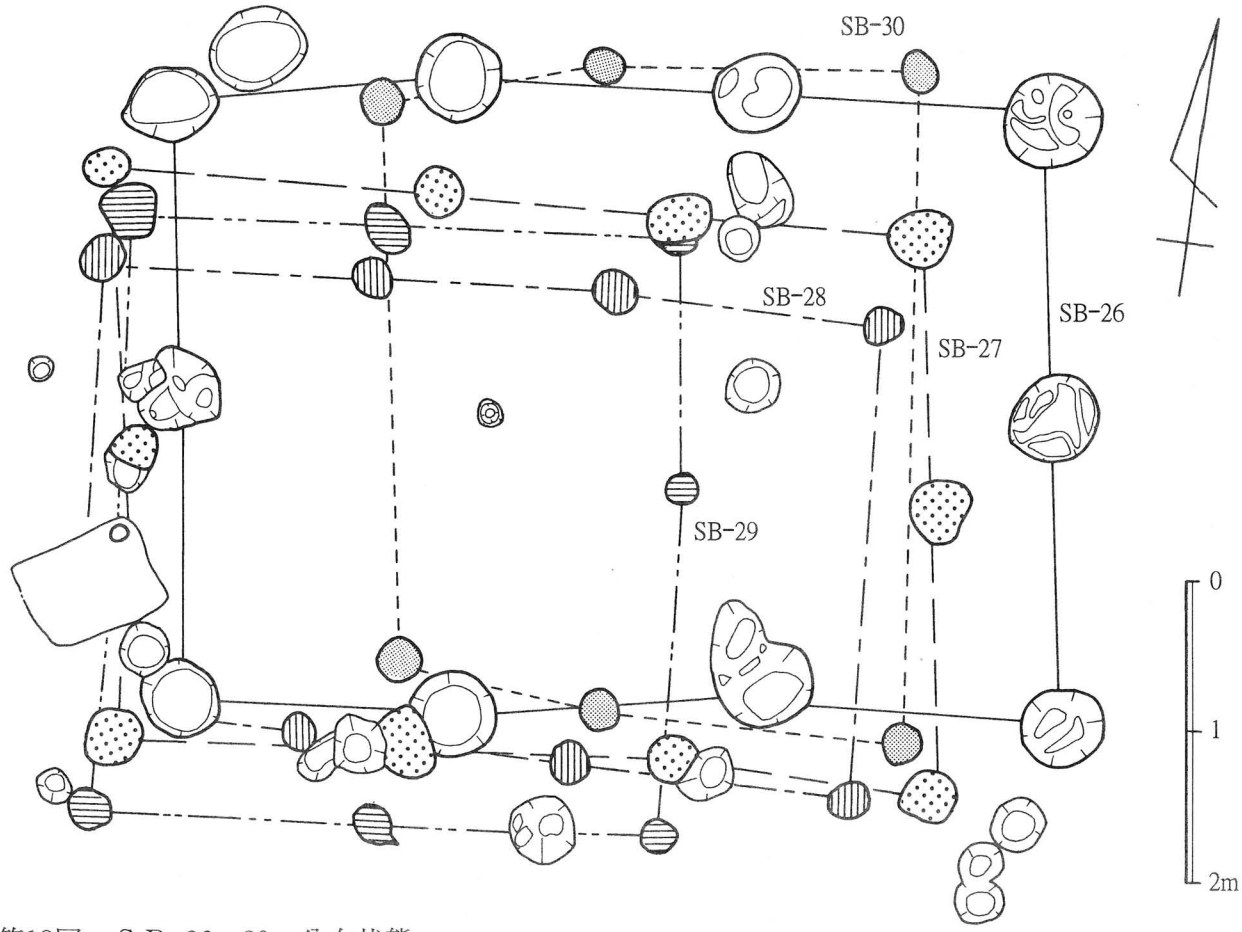
梁行２間（3.94～4.0m）、桁行３間（5.70～5.88m）の東西方向の建物である。柱穴の規模は、直径36～51cm、深さ52～90cmを測る。主軸方位は、E９°Nである。

ＳＢ-20（第15図）

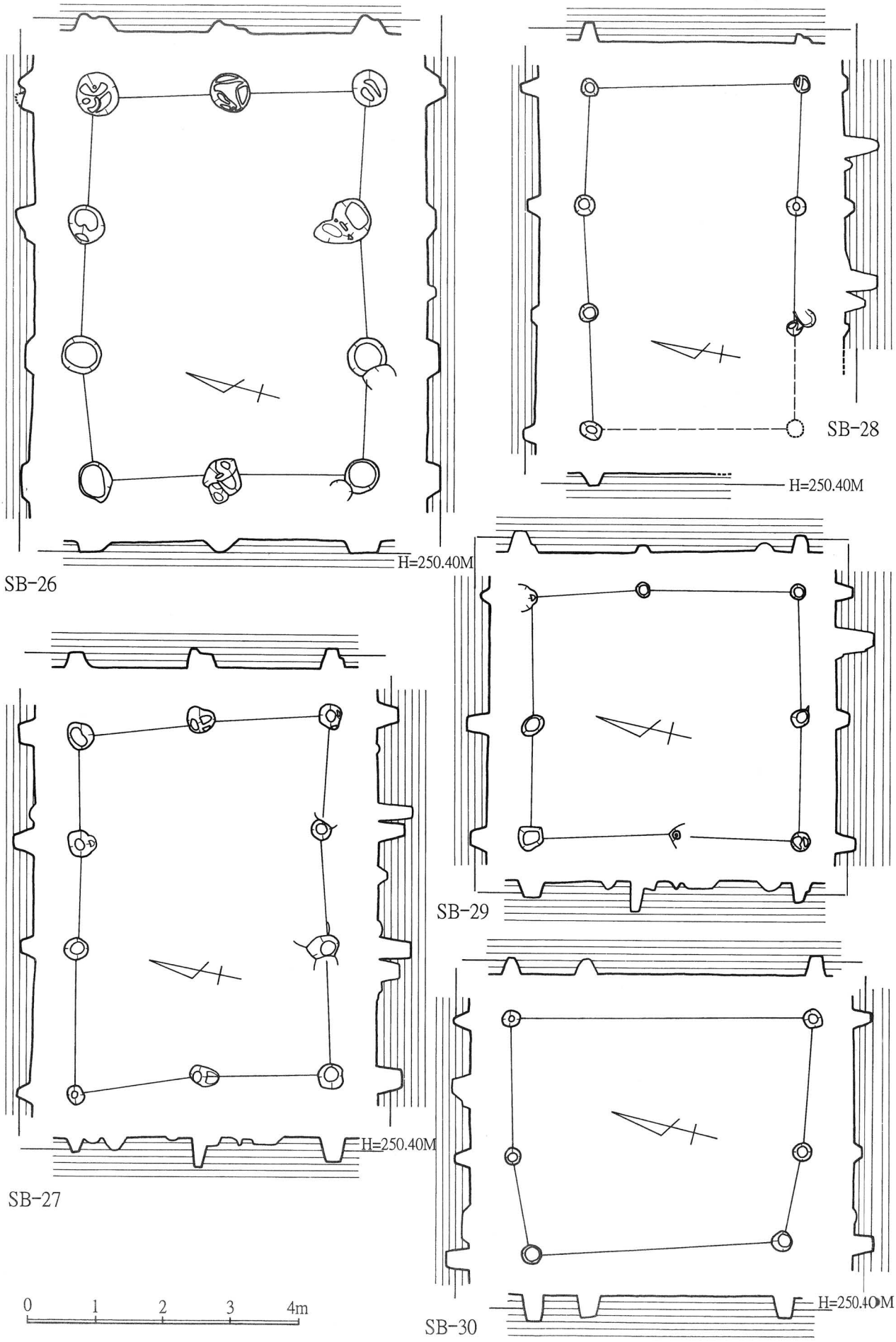
梁行２間（4.0m）、桁行３間（5.90～6.0m）の東西方向の建物である。柱穴の規模は、直径26～50cm、深さ60～95cmを測る。主軸方位は、E５°Nである。

ＳＢ-21（第16図）

梁行２間（2.28～2.56m）、桁行３間（6.0～6.16m）の東西方向の建物である。柱穴の規模は、



第18図　ＳＢ-26～30　分布状態



第19図　ＳＢ-26～30　遺構実測図

直径30～48cm、深さは46～100cmを測る。主軸方位は、E9°Nである。

SB-22（第16図）

梁行2間（2.30m）、桁行4間（8.0～8.13m）の東西方向の建物である。柱穴の規模は、直径31～64cm、深さ42～100cmを測る。主軸方位はE7°Nである。

SB-23（第17図）

梁行1間（2.80～2.92m）、桁行2間（3.98～4.04m）の南北方向の建物である。柱穴の規模は、直径28～44cm、深さ44～86cmを測る。主軸方位は、N2°Wである。

SB-24（第17図）

梁行1間（2.0～2.06m）、桁行2間（3.92～4.08m）の南北方向の建物である。柱穴の規模は、直径24～44cm、深さ48～64cmを測る。主軸方位は、N6°Wである。

SB-25（第17図）

梁行2間（4.06m）、桁行3間（6m前後）の東西方向の建物である。柱穴の規模は、直径37～45cm、深さ60～84cmを測る。主軸方位は、E8°Nである。

SB-26～30（第18図）

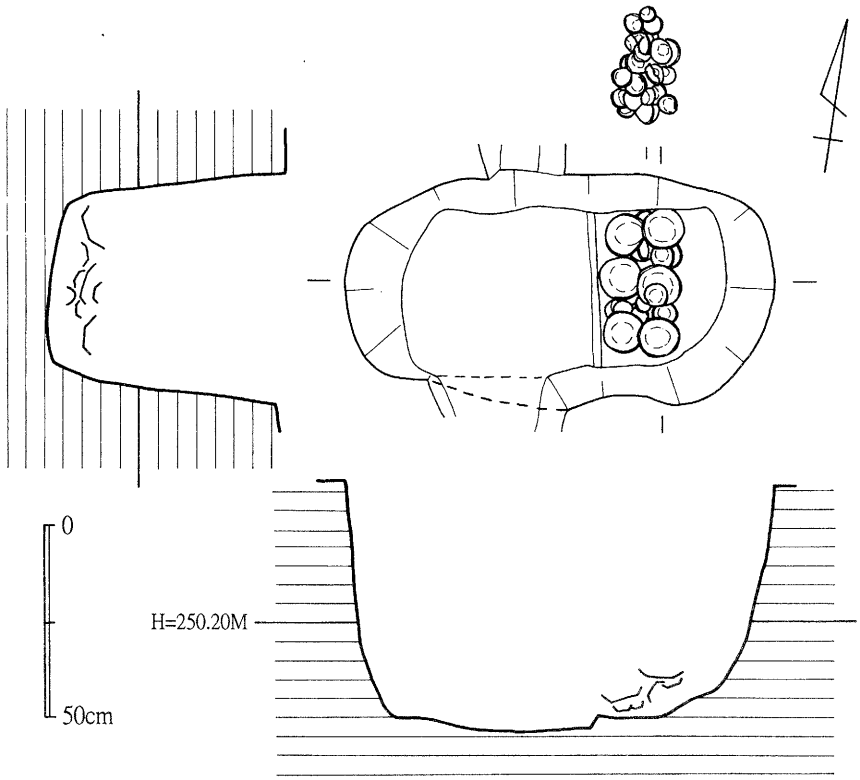
Ⅱ区の北西部において検出した建物で、4度建て替えられ、徐々に規模が縮小していく。

SB-26（第19図）

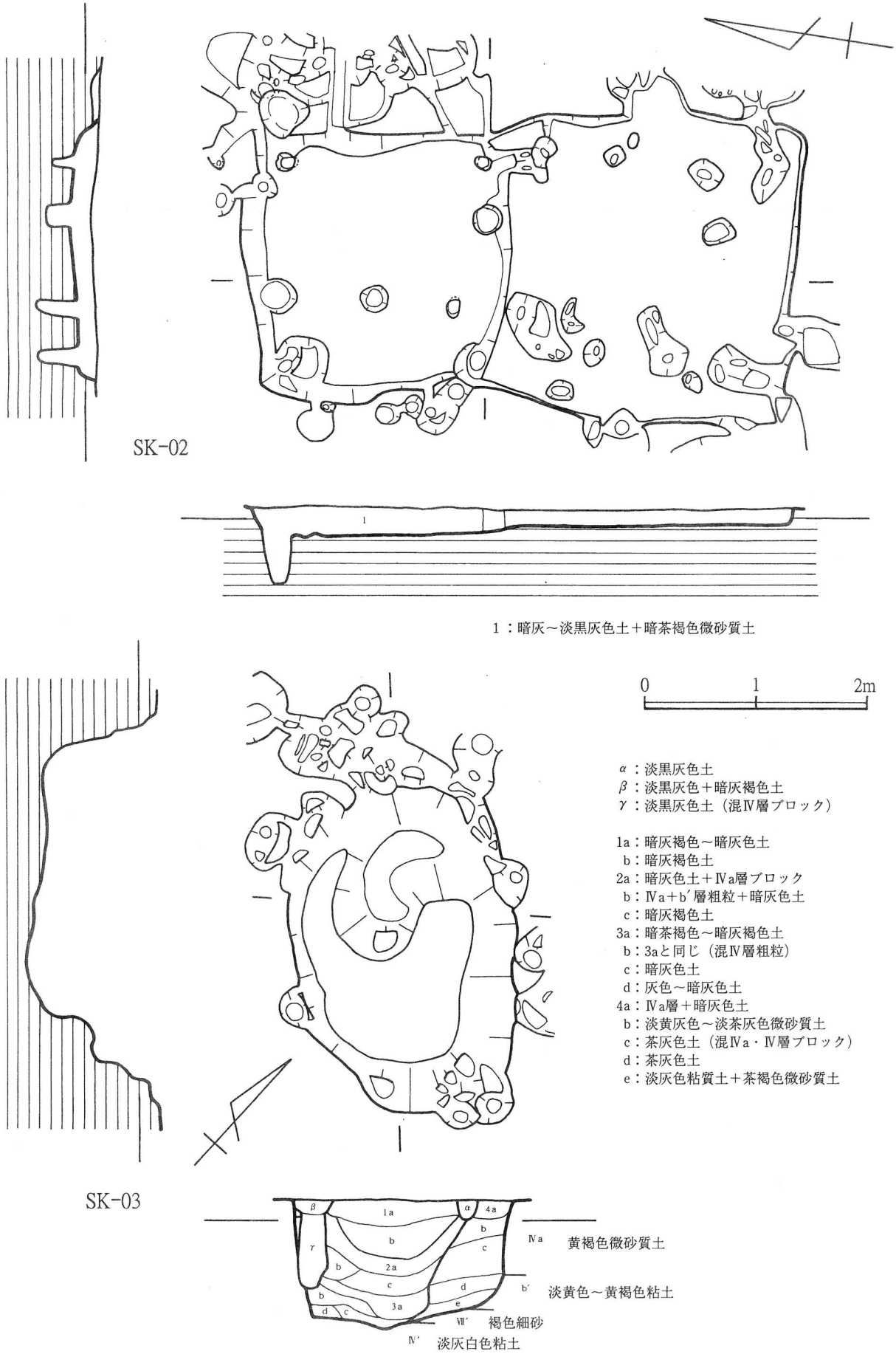
梁行2間（3.96～4.0m）、桁行3間（5.70m）の東西方向の建物である。柱穴の規模は、直径48～67cm、深さ12～27cmを測る。直径に対して、異常に浅い柱穴である。主軸方位は、E13°Nである。

SB-27（第19図）

梁行2間(3.70～3.80m)、桁行3間（5.30m）の東西方向の建物である。柱穴の規模は、直径21～40cm、深



第20図　SK-05　遺構実測図



第21図　ＳＫ-02・03　遺構実測図

さ22～49cmを測る。主軸方位は、E10°Nである。

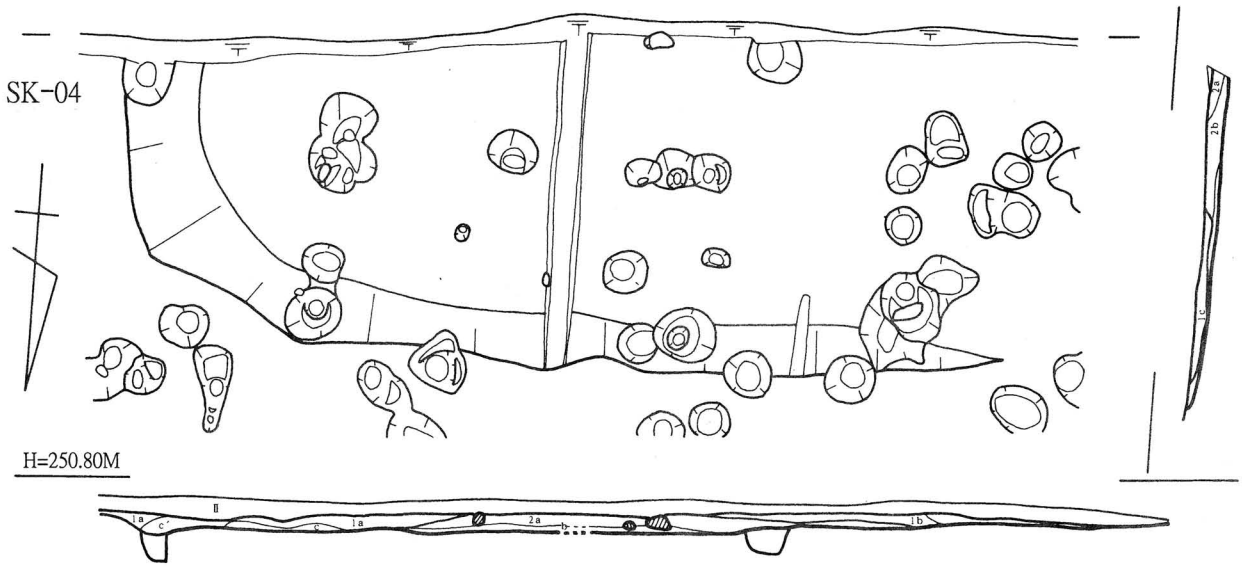
ＳＢ-28（第19図）

梁行１間（3.0～3.12ｍ）、桁行３間（5.1ｍ）の東西方向の建物である。柱穴の規模は、直径22～30cm、深さ10～30cmを測る。主軸方位は、E10°Nである。

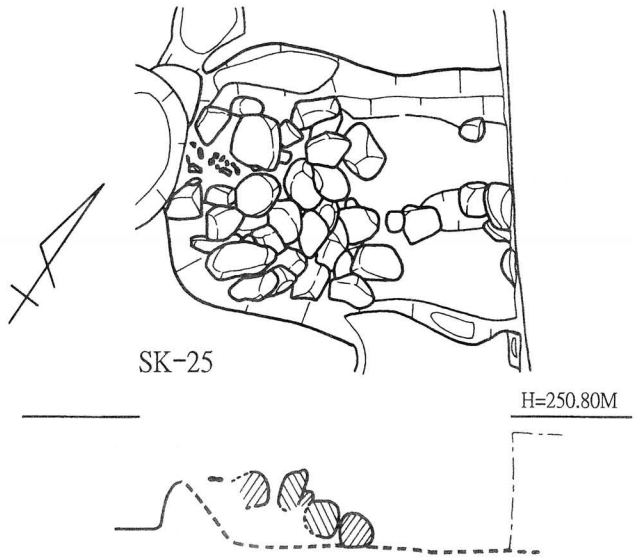
ＳＢ-29（第19図）

梁行２間（3.58～3.70ｍ）、桁行２間（3.90ｍ）の南北方向の建物である。柱穴の規模は、直径19～36cm、深さ10～32cmを測る。主軸方位は、N13°Wである。

ＳＢ-30（第19図）



1a：淡灰白色＋茶褐色砂質土＋淡灰色土
b：淡黄色～淡黄灰色微細砂質土
c：淡灰色微細砂質土（粘質）
2a：橙桃色焼土＋白色粘土＋灰色土
b：炭＋2a層



0　1　2m

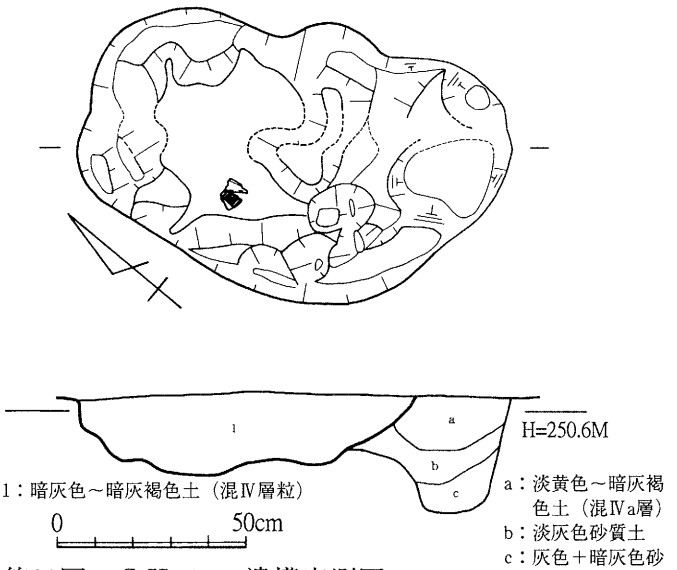
第22図　ＳＫ-04・25　遺構実測図

梁行２間（3.32～3.50ｍ）、桁行１間（3.74～4.44ｍ）の建物である。柱穴の規模は、直径22～29㎝、深さ13～38㎝を測る。主軸方位は、N13°Wである。

その他の掘立柱建物跡

ＳＢ-09～14・16・17周辺は２～４回の建て替えが行なわれ、ＳＢ-22・23周辺は柱穴の過密により、復元しえない建物跡が数10棟存在する。

土坑は、竪穴状遺構１基（ＳＫ-04）のほか、長方形の浅く大きいタイプ１基（ＳＫ-02）、楕円形を呈し深く大きいタイプ１基（ＳＫ-03）、直径1ｍ内外の円形タイプ（Ⅰ区南東部～Ⅱ区北東～南西部）数10基（明らかに土壙墓と断定されるもの数基を含む）、不整楕円形のタイプ（ＳＫ-01）、さらには祭祀土坑１基（ＳＫ-05）などがある。



第23図　ＳＫ-01　遺構実測図

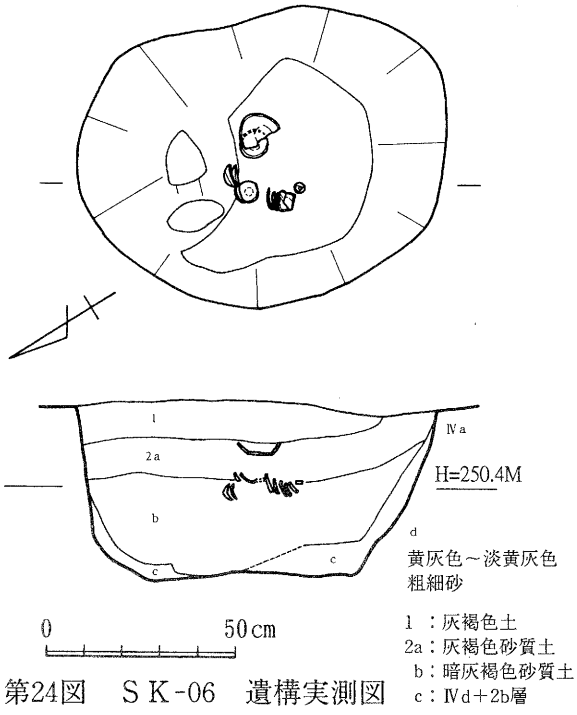
ＳＫ-05（第20図）

Ⅲ区東南部、ＳＢ-09・10の南梁部付近に位置し、長軸方向も同じである。

長径113㎝、短径50～62㎝の楕円形を呈し最深部は66㎝を測る。底面中央やや東寄りは１段（４㎝）高く掘り残され、幅40㎝・奥行き23㎝の範囲において、土師質土器の坏６点と小坏27点を検出した。

坏６点は２列に並び、左奥（北東端）の坏以外の中には、焼け灰（径２㎜程度の植物質）が入り、中央奥の坏の上には小坏１点が灰の上に置いてあった。

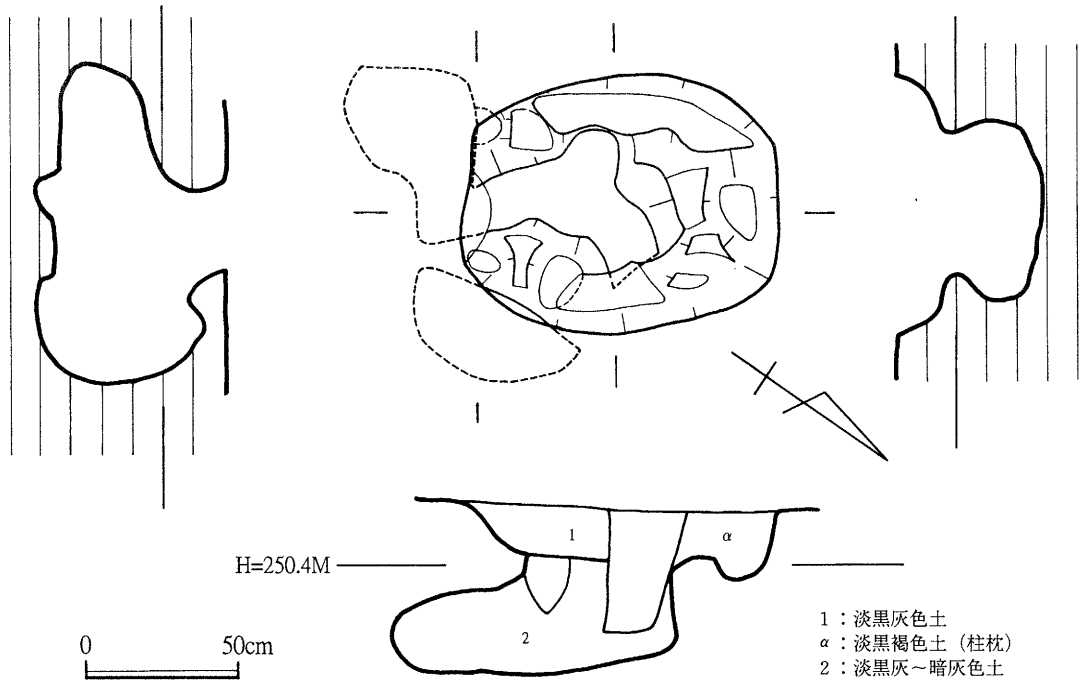
小坏1点と坏６点を除去すると、小坏26点が折り重なっていた。この小坏の中には、有機物は確認されていない。



第24図　ＳＫ-06　遺構実測図

坏は、口径11.1～11.9㎝、底径6.0～6.9㎝、高さ3.6～4.3㎝、すべて糸切り底であり（第44図）、**488**以外は極めて類似した法量である。小坏は、口径5.8～6.4㎝、底径2.8～3.7㎝、高さ2.2～2.8㎝と、やや不統一であるが、全て糸切り底である。

小坏は、おそらく、地鎮祭での御神酒を飲んだ器



第25図　ＳＫ-07　遺構実測図

で、使用後は段の上に投げ置いた様子が窺える。その後、坏６点を２列に並べ、御幣を燃やして建築の無事を祈願したものと思われる。

ＳＫ-02（第21図）

Ⅲ区の西側、ＳＤ-01に南西端を切られた、長さ5.0ｍ、幅2.4～2.6ｍの略長方形を呈する。南半部は深さ14㎝前後で、北半部は１段下がり22～25㎝を測る。完掘後の状況は、２基の竪穴状遺構が重複し各々４隅に柱穴がある状況であるが、検出時や断面層序での切り合いは認められなかった。

現時点では、拡幅による結果、長方形を呈していると判断したい。出土遺物は少ないが、土師質土器の皿（**449**）や青磁の碗（**498**）などから、15世紀中葉頃の遺構と考えられる。

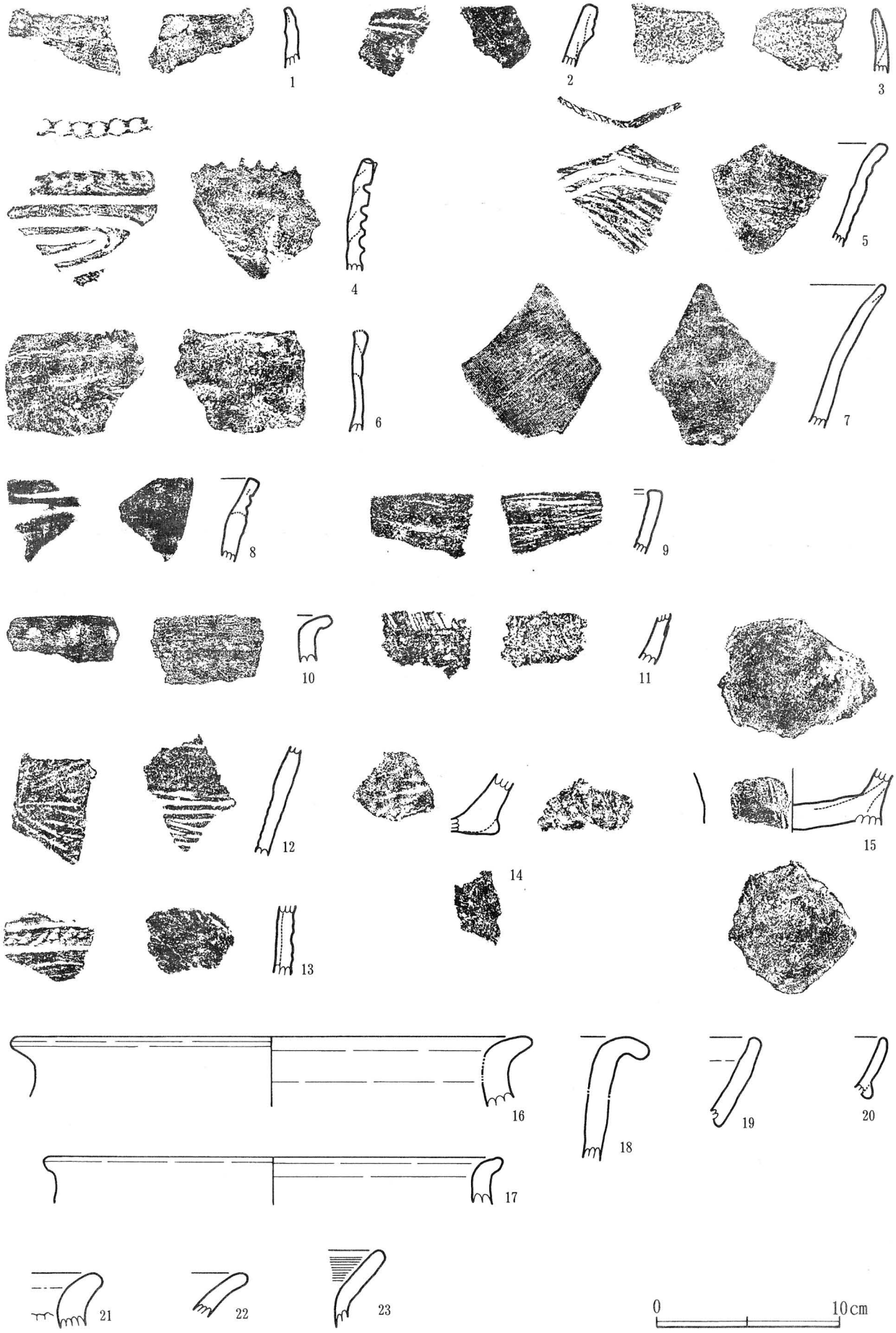
ＳＫ-03（第21図）

長径3.2～3.3ｍ、短径２ｍの楕円形を呈し、最深部は1.2ｍを測る。断面観察から、掘り直しを確認し、ゆっくりと埋没していったことが判明したが、出土遺物は少ない。機能は判然としないが地下倉庫的な遺構だと思われる。

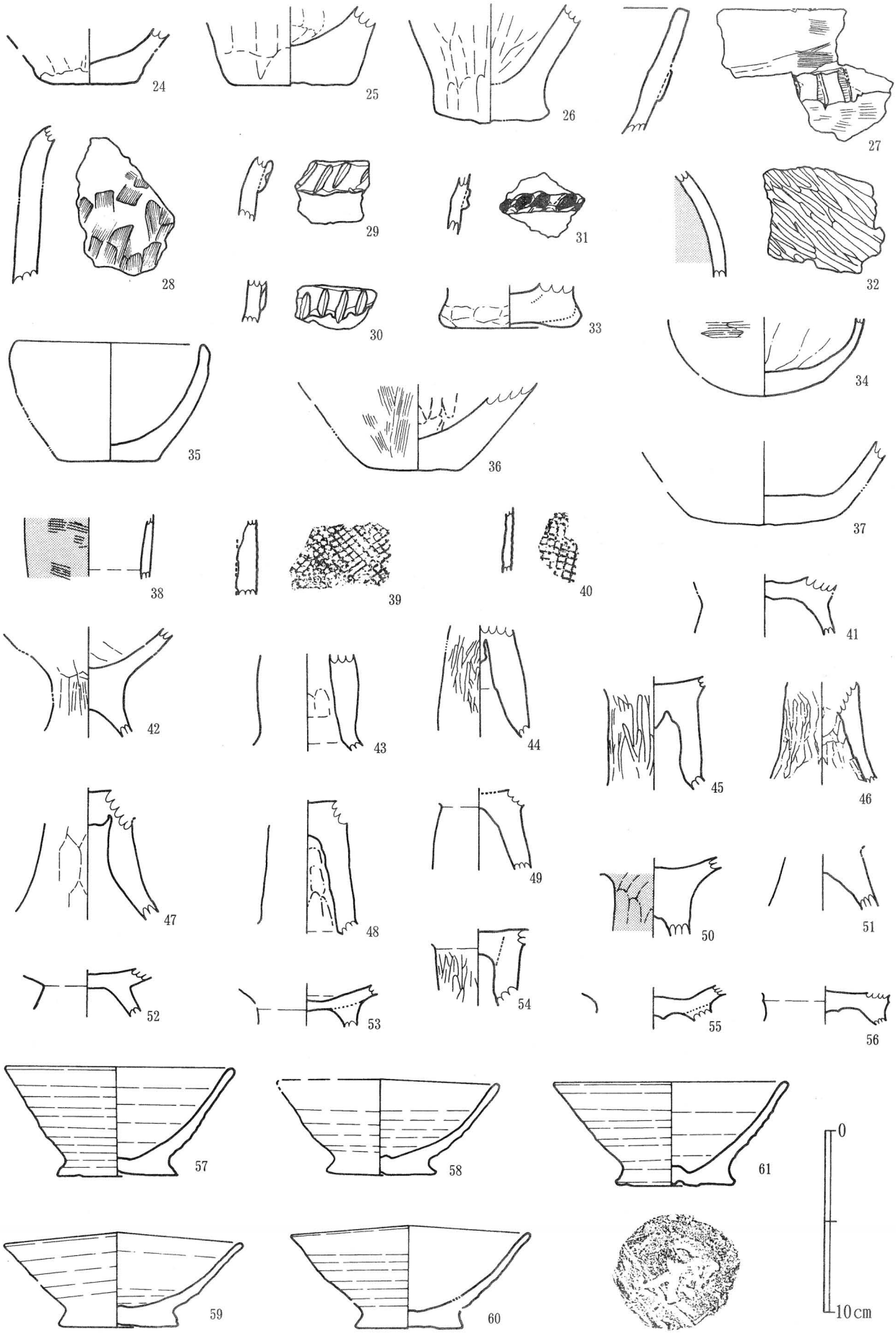
ＳＫ-04（第22図）

Ⅲ区の中央南端で検出した、１辺６ｍ前後の竪穴状遺構であるが、後世の開墾により、基底部しか遺存していない。遺構は焼失したらしく、炭片と焼土が多くみられた。北側の掘り肩から40～60㎝に位置する直径28㎝前後・深さ６～15㎝の小柱穴が底面で検出された。

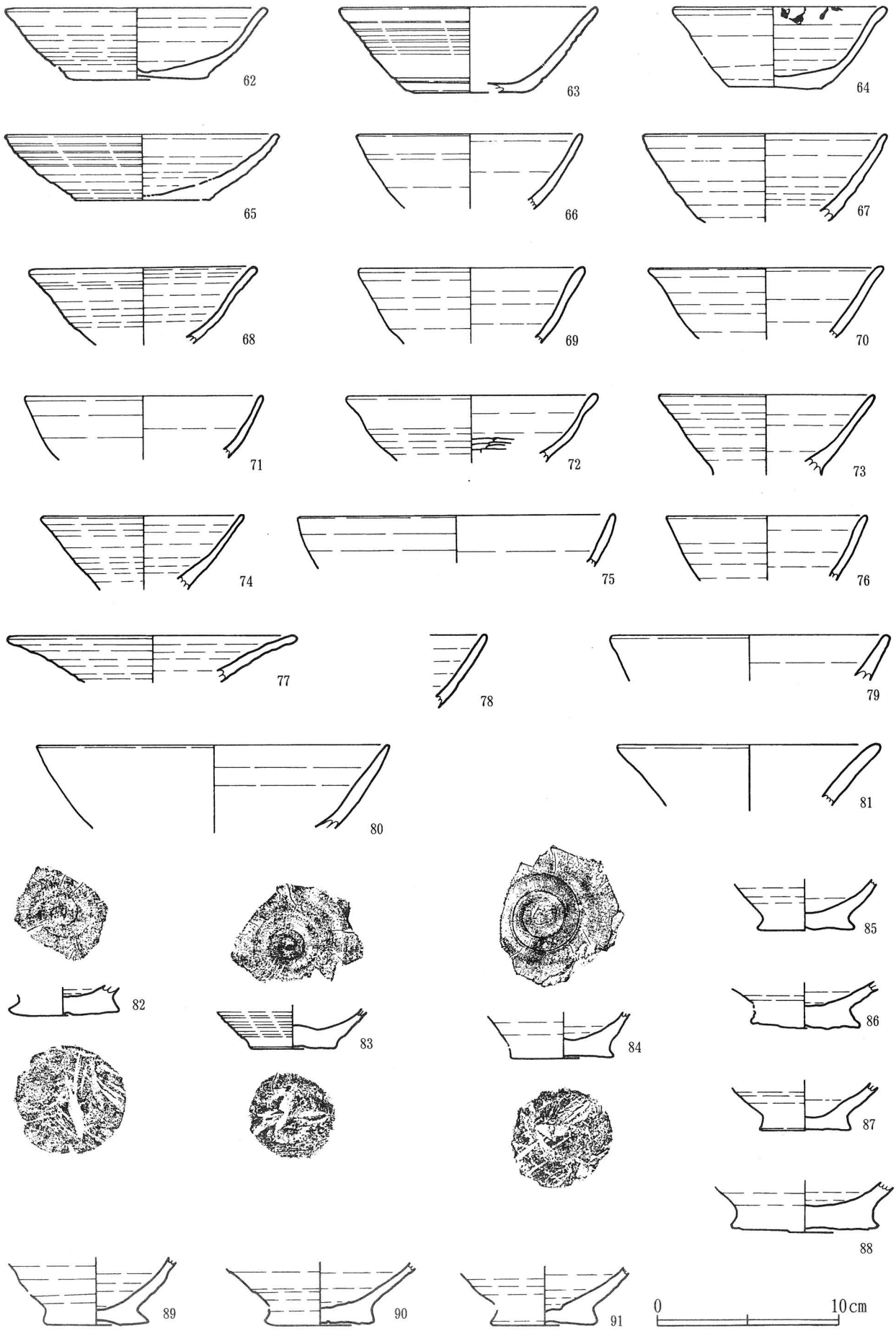
遺構覆土より、15世紀頃と推定される。



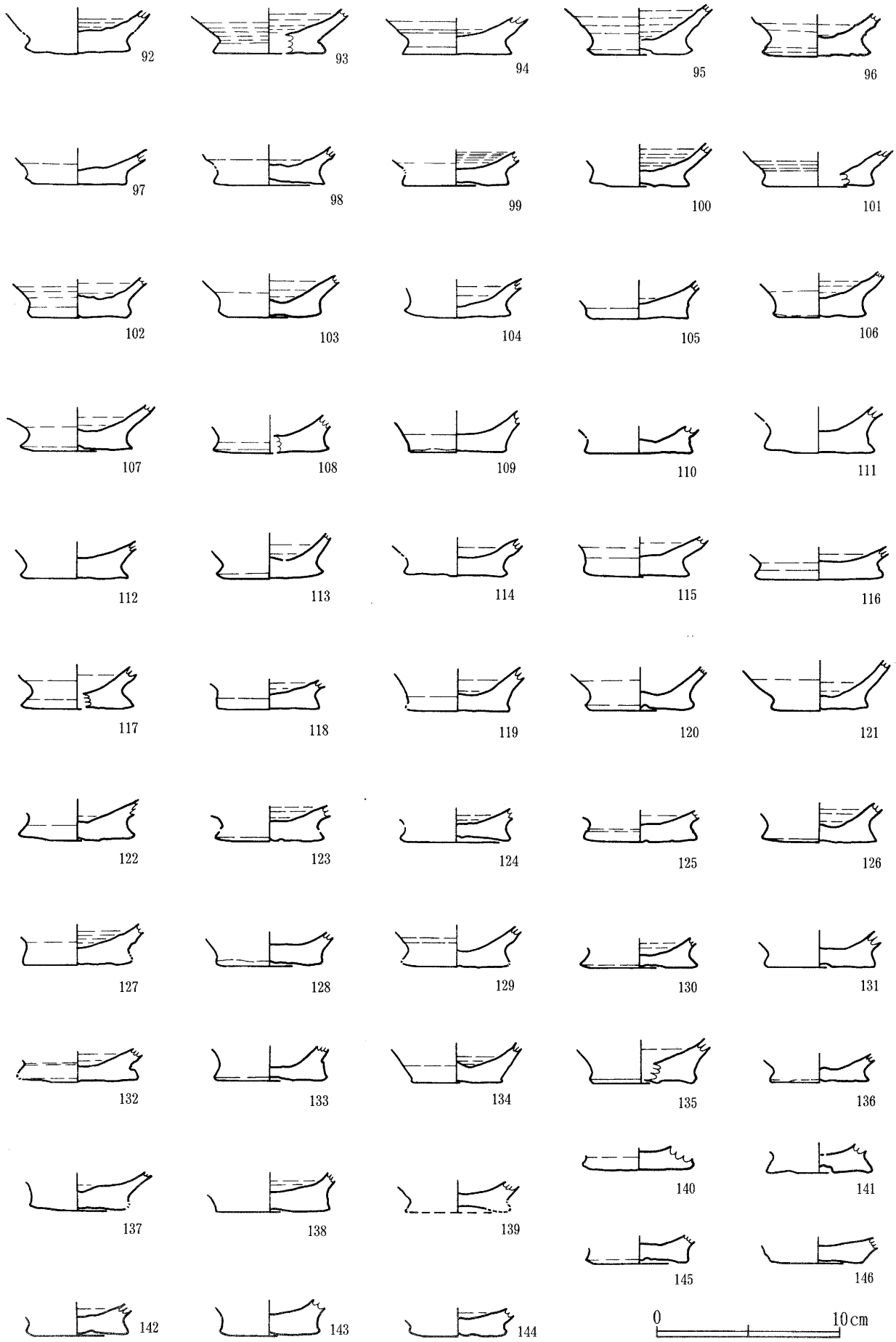
第26図　ＳＸ-01　出土遺物実測図（１）　　縄文・弥生土器



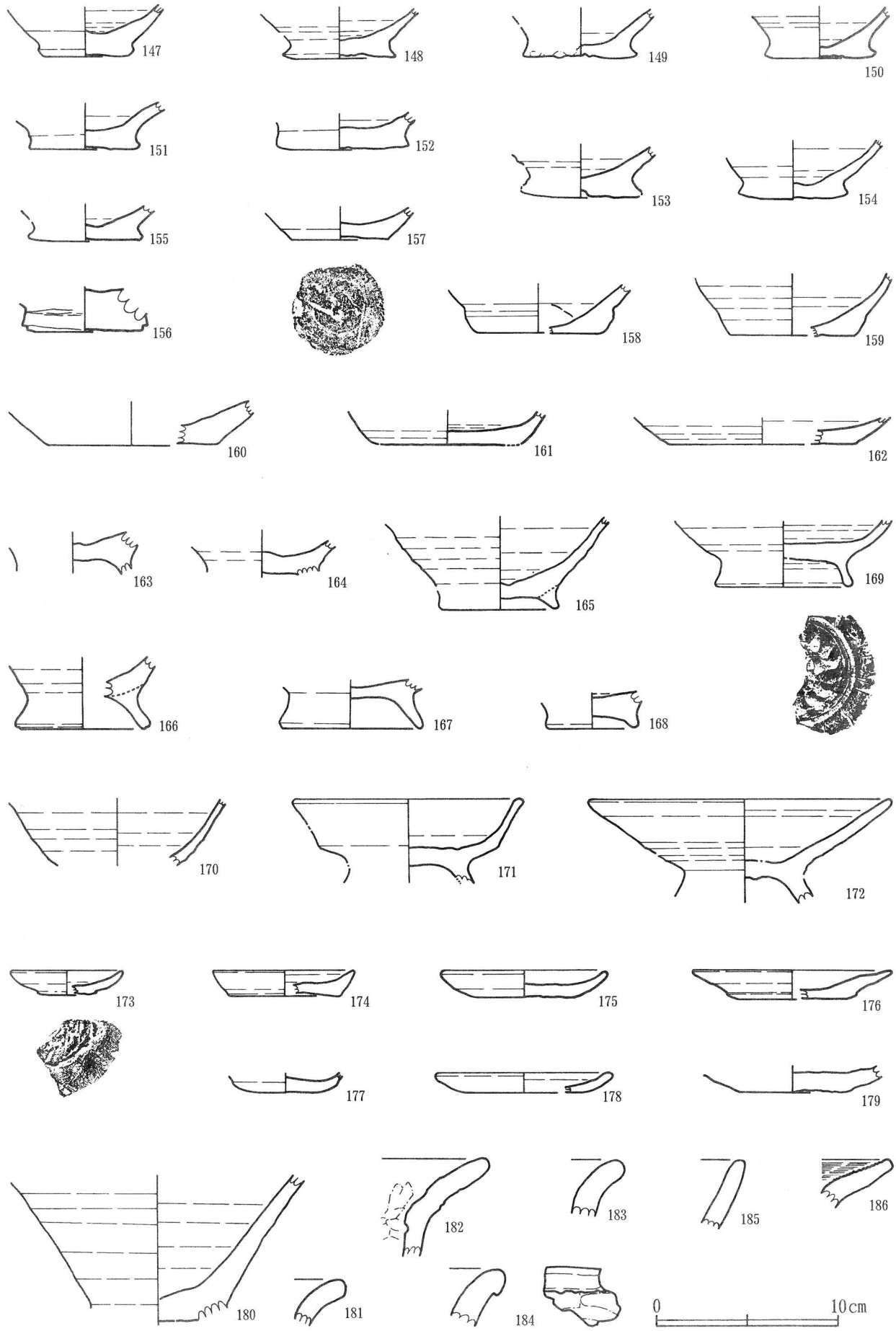
第27図　ＳＸ-01　出土遺物実測図（２）　　土師器（１）



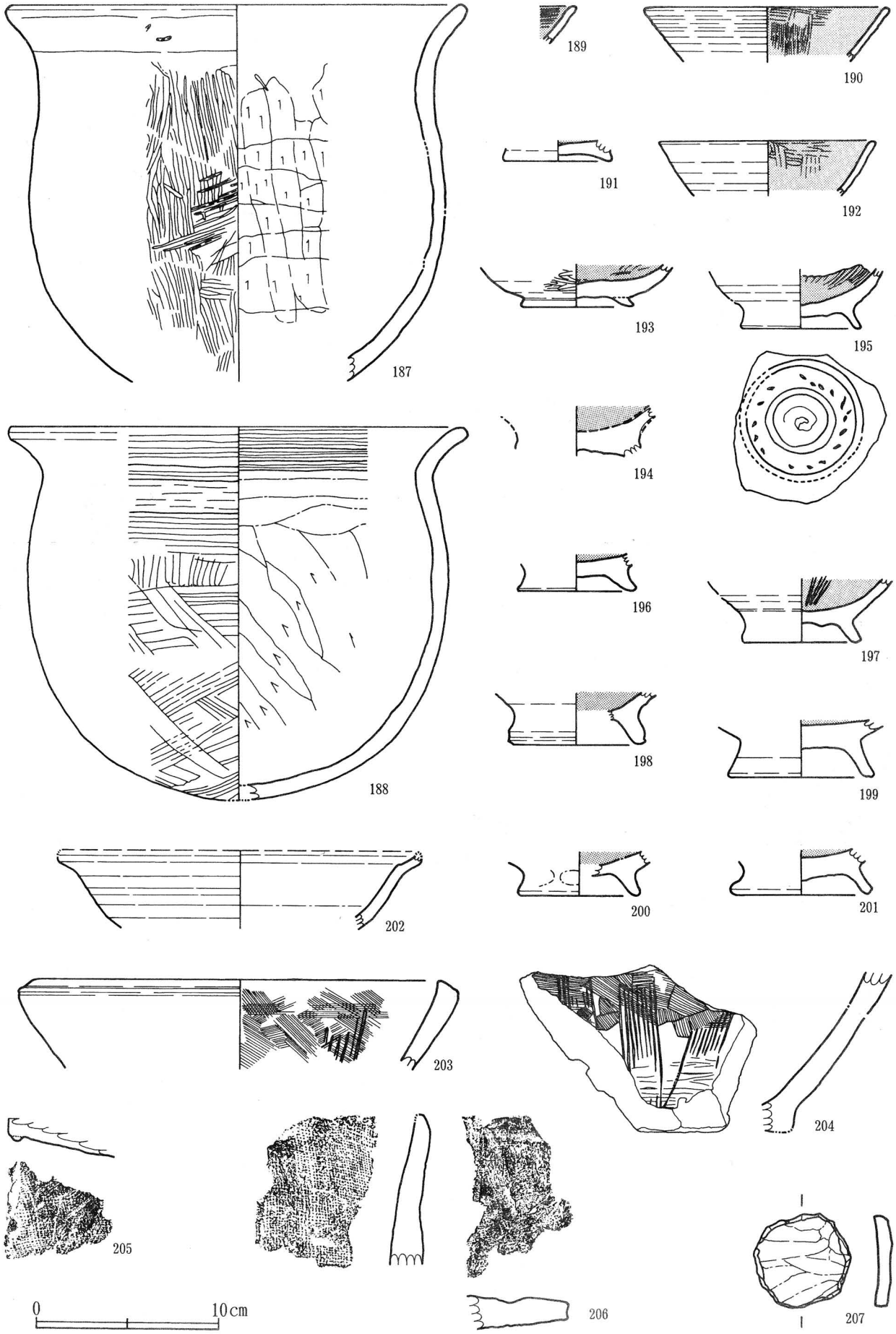
第28図　ＳＸ-01　出土遺物実測図（３）　　土師器（２）



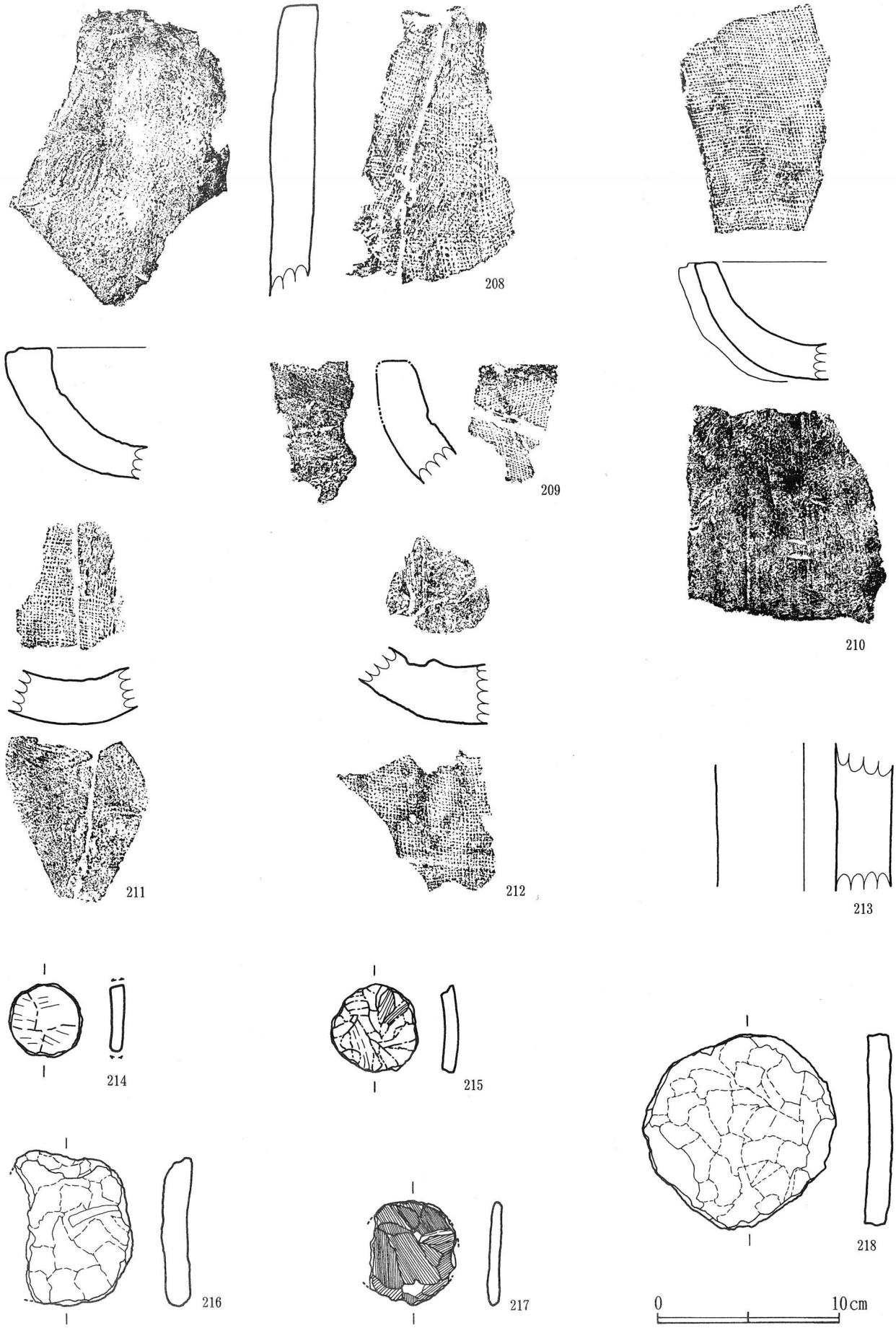
第29図　ＳＸ-01　出土遺物実測図（４）　　土師器（３）



第30図　ＳＸ-01　出土遺物実測図（５）　　土師器（４）　　174・175は糸切り



第31図　ＳＸ-01　出土遺物実測図（６）　　土師器・黒色土器・灰釉陶器・擂り鉢・布目瓦・土器片円盤



第32図　ＳＸ-01　出土遺物実測図（７）　　布目瓦（２）・鞴の羽口・土器片円盤

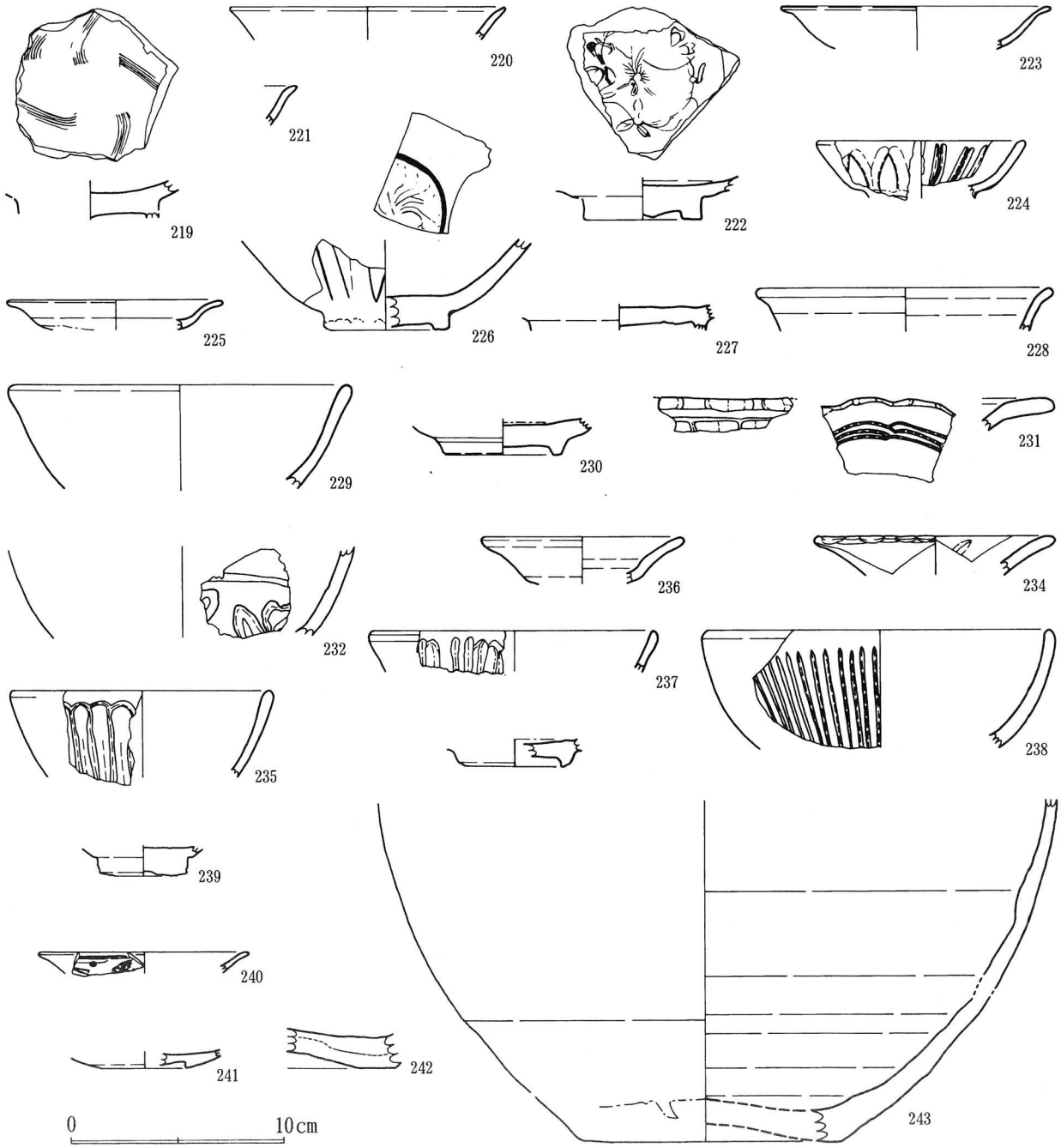
ＳＫ-25（第22図）

Ⅱ区の北東部で検出した、長さ2.3ｍ以上、幅1.8ｍ前後の土坑で、深さは42cmを測る。底面の東側は、幅26cm前後・深さ２～３cmの溝状掘り込みがある。

西側には、被熱した人頭大の礫と炭片が集中していた。骨片は発見されなかったが、火葬施設の可能性があると思われる。覆土より、16～17世紀頃の遺構と推定する。

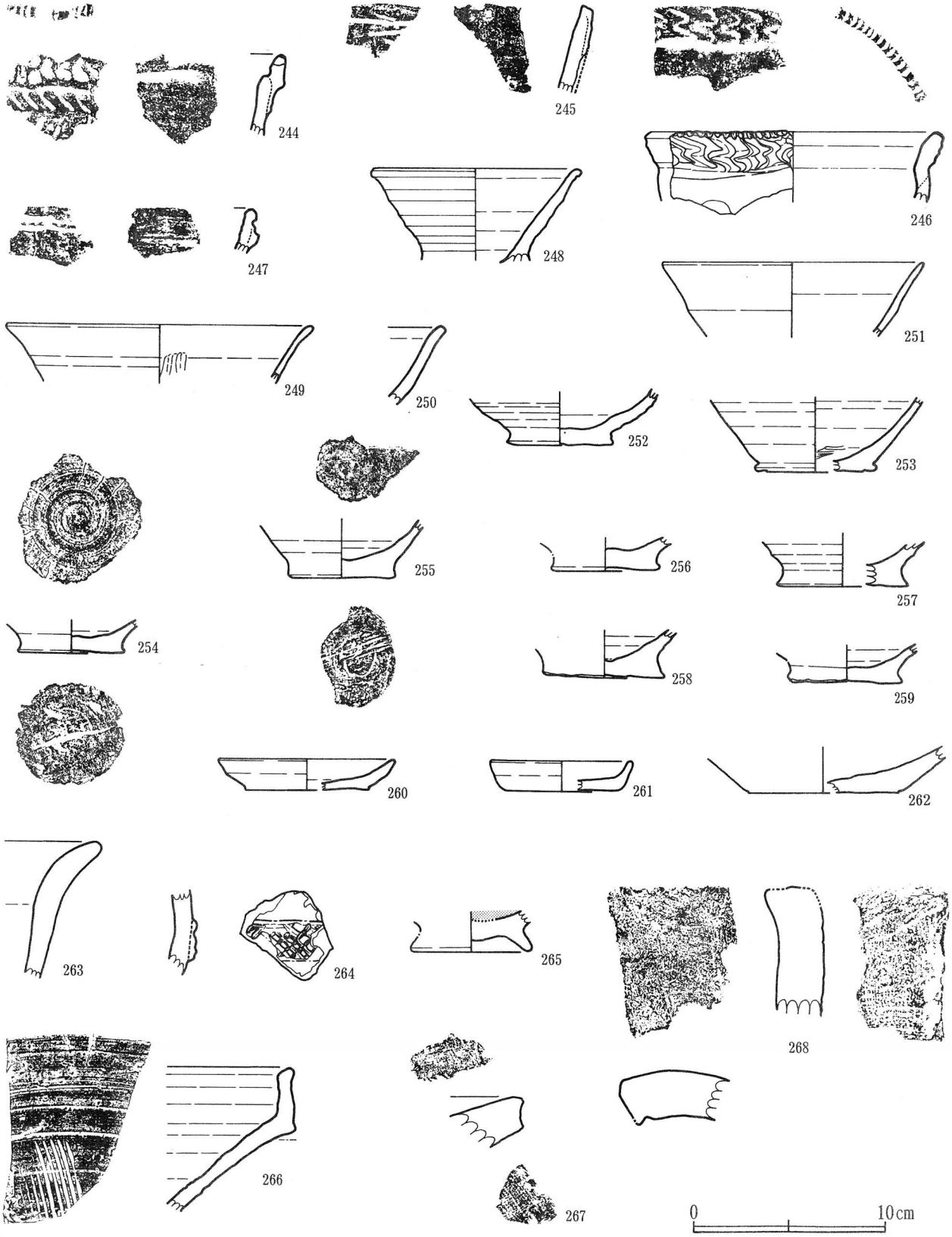
ＳＫ-01（第23図）

Ⅰ区の東端中央部で検出した、長径１ｍ、短径60～70cmの不整楕円形を呈する土坑で、最深部は21cmを測る。底面は凹凸が激しく、粗掘りのままである。底面中央寄りにおいて、銅銭22枚が撚り



第33図　ＳＸ-01出土遺物実測図（８）　輸入陶磁器

紐で纏められ、木箱に収めたと思われる状態で出土した。主軸が北向きであること、上部数10cmが削平されており本来は70～80cmの深さが想定されることなどから、土壙墓であると思われる。銭貨の最も新しいものは洪武通宝であり、14世紀後半頃の構築と推定される。



第34図　Ⅰ区　Ⅱ～Ⅳa層出土遺物実測図